

平成29年度  
第1回若者版県政モニターアンケート調査  
結果報告書

平成29年7月実施

岐阜県

# 目 次

I	調査概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査の経緯	1
1. 3	モニター応募資格	1
1. 4	調査時期	1
1. 5	回収結果	1
1. 6	報告書の見方	1
1. 7	対象者の属性	2
F-1	性別	2
F-2	年代	2
F-3	居住圏域（8分類）	3
F-4	職業	4
F-5	婚姻の状況	4
II	調査結果	5
問1	岐阜県の住みやすさ	5
問1-2	住みやすいを選んだ理由	8
問1-3	住みにくいを選んだ理由	14
問2	今後の暮らしの中で重視したいこと	20
問3	岐阜県への愛着や親しみ	26
問4	岐阜県の魅力	29
問5	岐阜県のイメージ	35
問6	将来岐阜県で就職したいか	41
問7	将来岐阜県に住みたいか	44
問8	岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと	47
問9	県の仕事への関心の有無	53
問9-2	岐阜県の仕事に関心がない理由	56
問10	社会への貢献	59
問11	「清流の国ぎふ」の認知度	63
問12	岐阜県の地方創生への進め方	66
問13	施策や事業についての情報の入手方法	69
問14	県公式ホームページの利用頻度	75
問14-2	県公式ホームページの利用目的	81
問14-3	県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと	87
問15	岐阜県行政に対するご意見・ご要望	93

# I 調査概要

## 1. 1 調査の目的

県に所縁のある若者の意識を把握するとともに、県行政に対する若者の関心を調査し、県政推進の基礎資料とする。

## 1. 2 調査の経緯

平成29年度より実施

## 1. 3 モニター応募資格

- ・18～29歳の方（平成29年5月1日現在）
- ・県内に居住、通勤もしくは通学されている方、または岐阜県出身で県外在住の方
- ・インターネットにより、アンケートに回答できる方

## 1. 4 調査時期

平成29年7月27日～8月28日

## 1. 5 回収結果

	調査時期	モニター数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
第1回 (平成29年度)	平成29年 7、8月	249	193	193	77.5%	77.5%

## 1. 6 報告書の見方

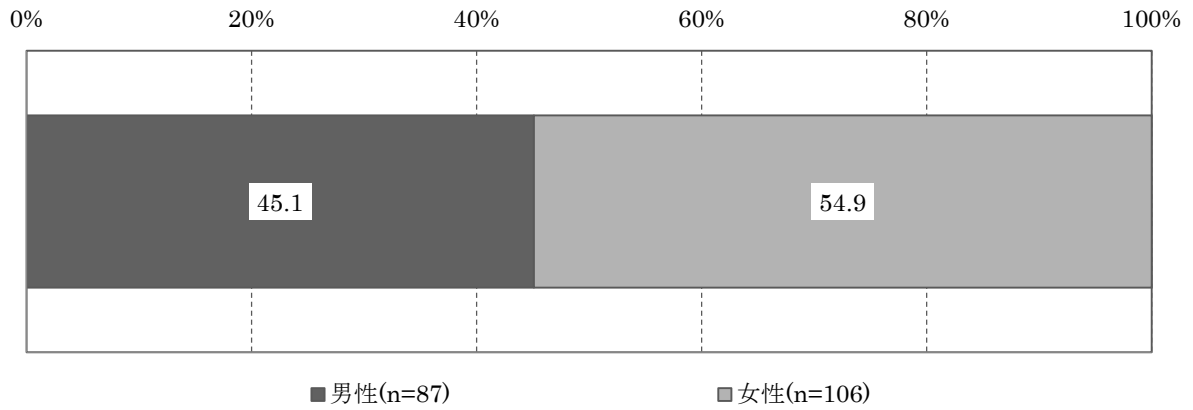
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ、及び本文中で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

## 1. 7 対象者の属性

### F-1 性別

図 F-1 性別

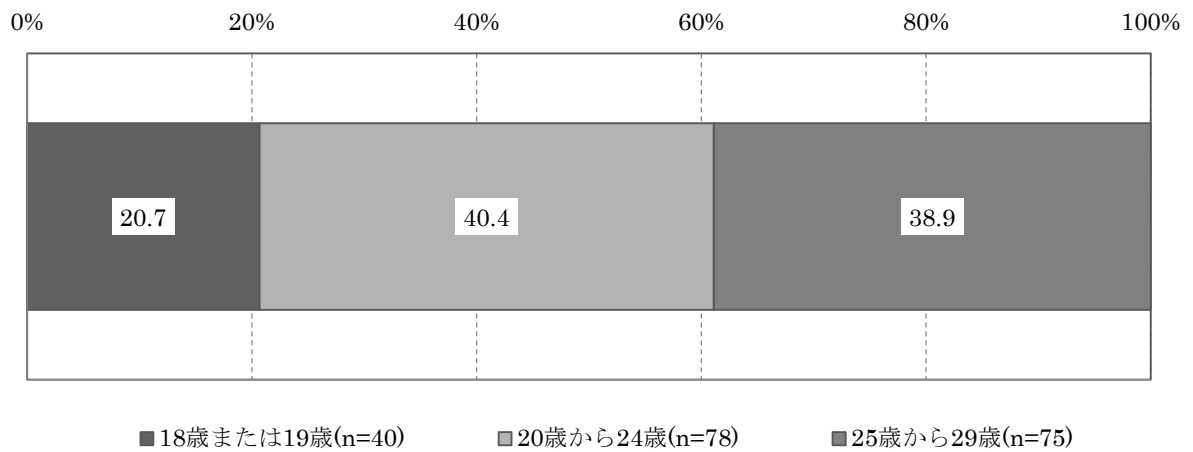
回答者数(n=193)



### F-2 年代

図 F-2 年代

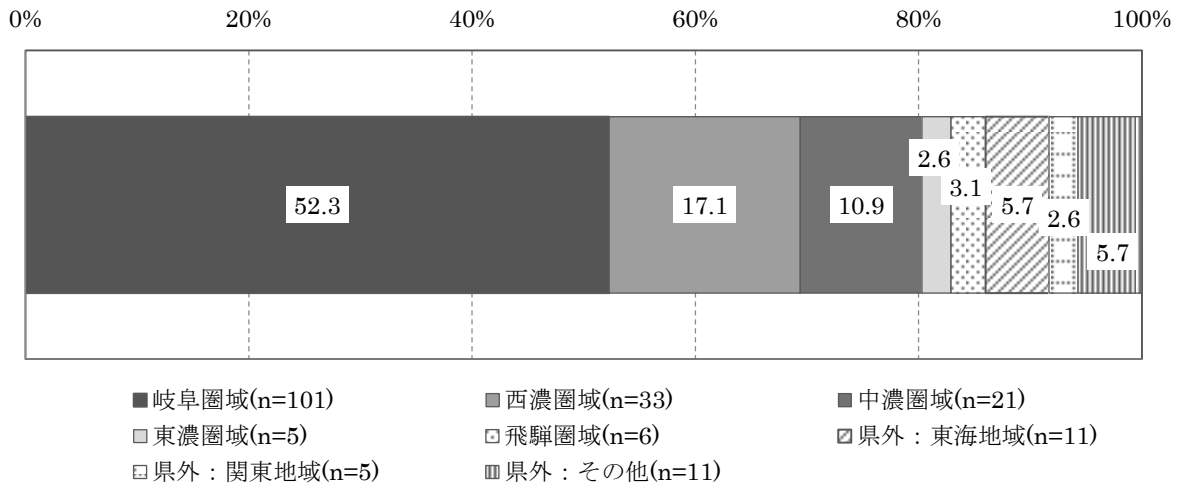
回答者数(n=193)



F-3 居住圏域（8分類）

図 F-3 居住圏域（8分類）

回答者数(n=193)



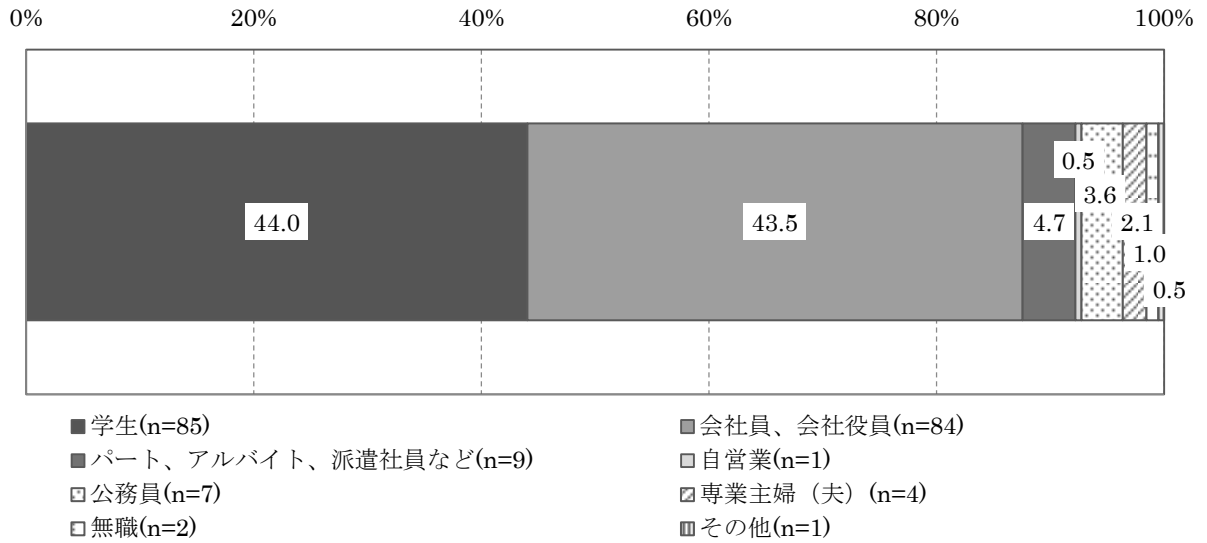
岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）  
 西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・  
 揖斐川町・大野町・池田町）  
 中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八  
 百津町・白川町・東白川村・御嵩町）  
 東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）  
 飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）  
 県外：東海地域（愛知県、三重県）  
 県外：関東地域（東京都、神奈川県など）

- ※ 「東濃圏域」、「飛騨圏域」について、回答者が少ないため、「Ⅱ 調査結果」中においては、「岐阜圏域」、「西濃圏域」、「中濃圏域」、「東濃圏域」、「飛騨圏域」の5項目をまとめて「県内」として集計している。
- ※ 「県外：東海地域」、「県外：関東地域」、「県外：その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ 調査結果」中においては、3項目をまとめて「県外」として集計している。

F-4 職業

図 F-4 職業

回答者数(n=193)

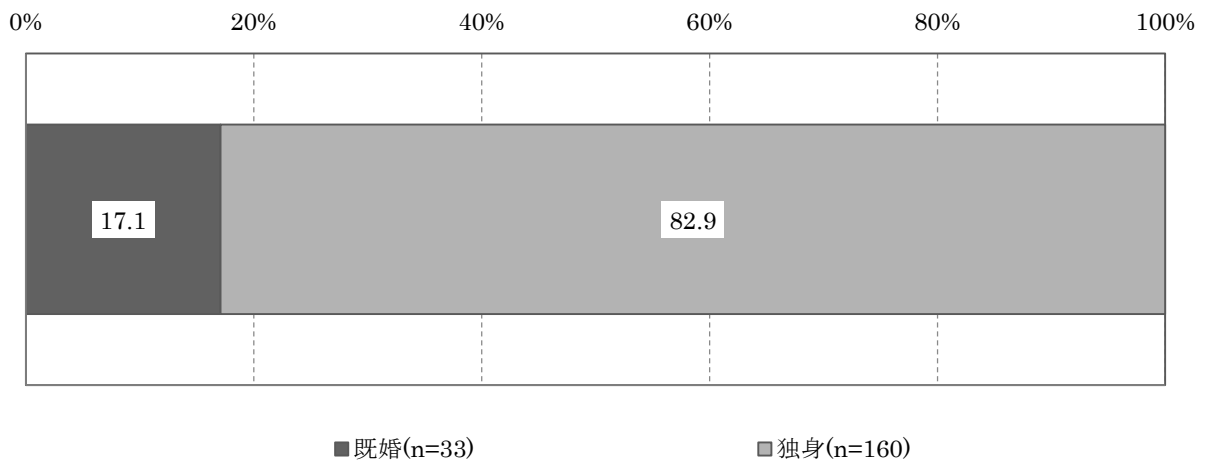


※「パート、アルバイト、派遣社員など」、「自営業」、「公務員」、「専業主婦 (夫)」、「無職」、「その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、6項目をまとめて「その他の職業」として集計している。

F-5 婚姻の状況

図 F-5 婚姻の状況

回答者数(n=193)



## Ⅱ 調査結果

### 問1 岐阜県の住みやすさ

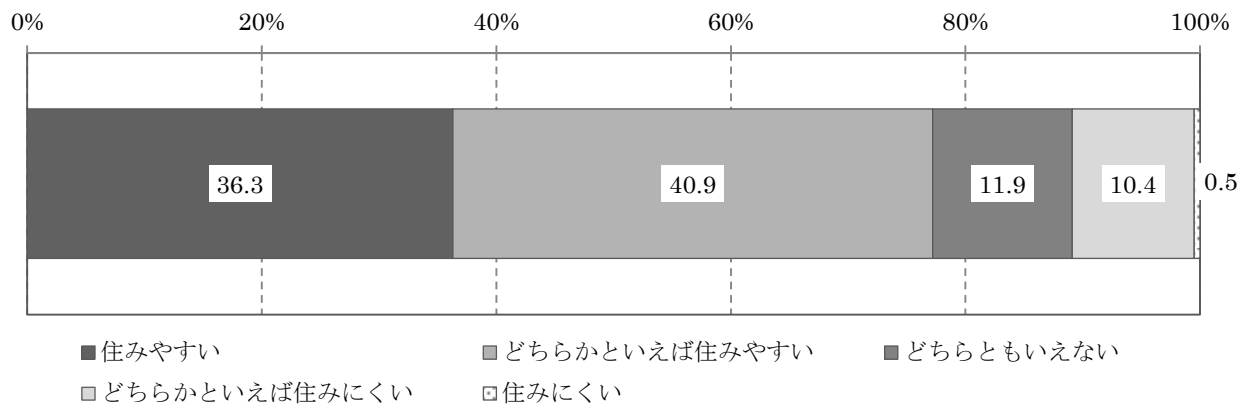
問1 あなたは、岐阜県の住みやすさについてどうお考えですか。  
 (現在、県外にお住まいの方は、岐阜県に住んでいた当時の印象でお答えください。)  
 (1つだけ)

全体(図1-1)で見ると、「どちらかといえば住みやすい」が40.9%と最も高く、次いで「住みやすい」が36.3%、「どちらともいえない」が11.9%の順となっている。

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が77.2%となっている。

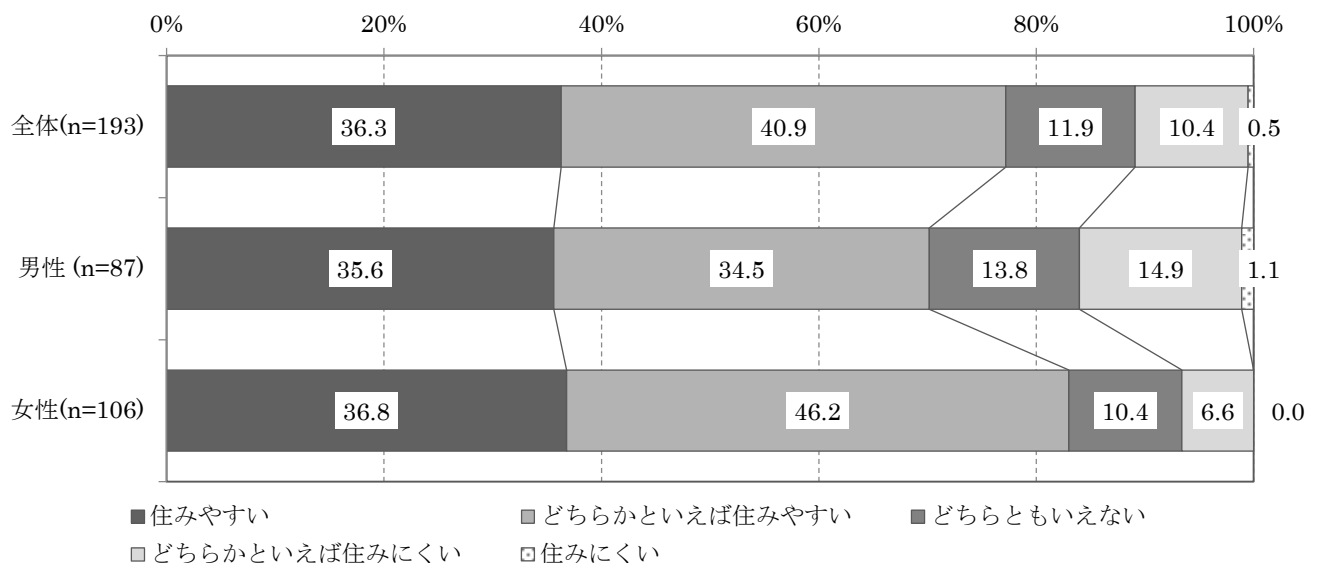
図1-1 岐阜県の住みやすさ

回答者数(n=193)



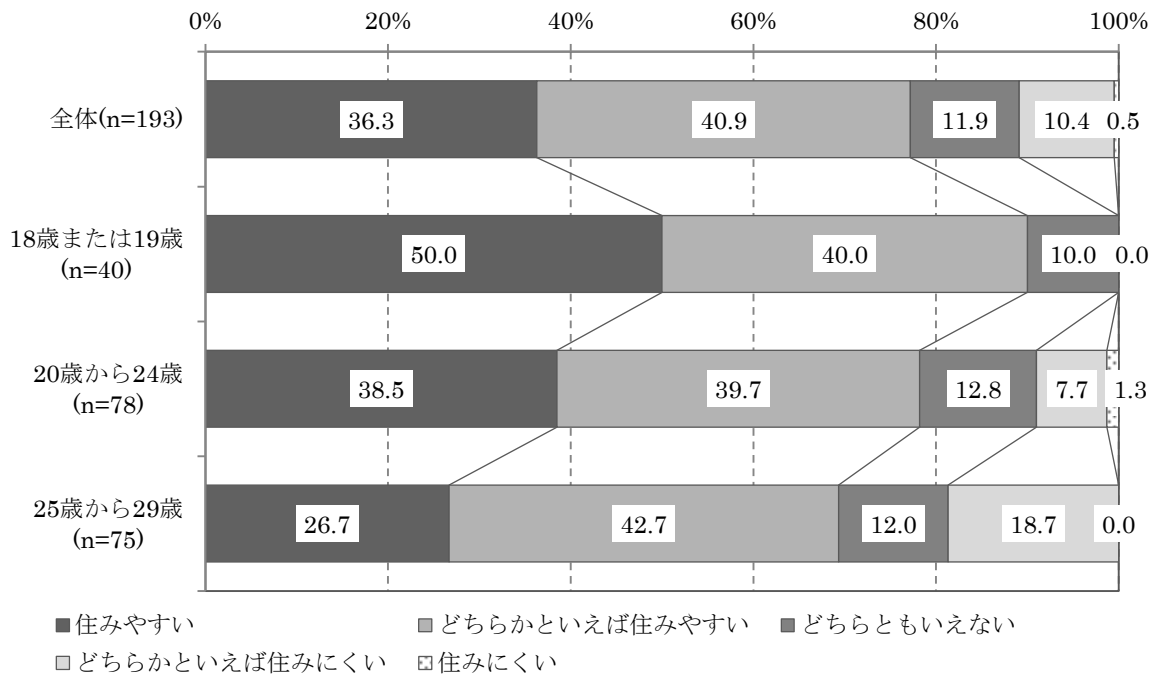
性別(図1-2)で見ると、男性は「住みやすい」が35.6%と最も高く、女性は「どちらかといえば住みやすい」が46.2%と最も高くなっている。

図1-2 【性別】岐阜県の住みやすさ



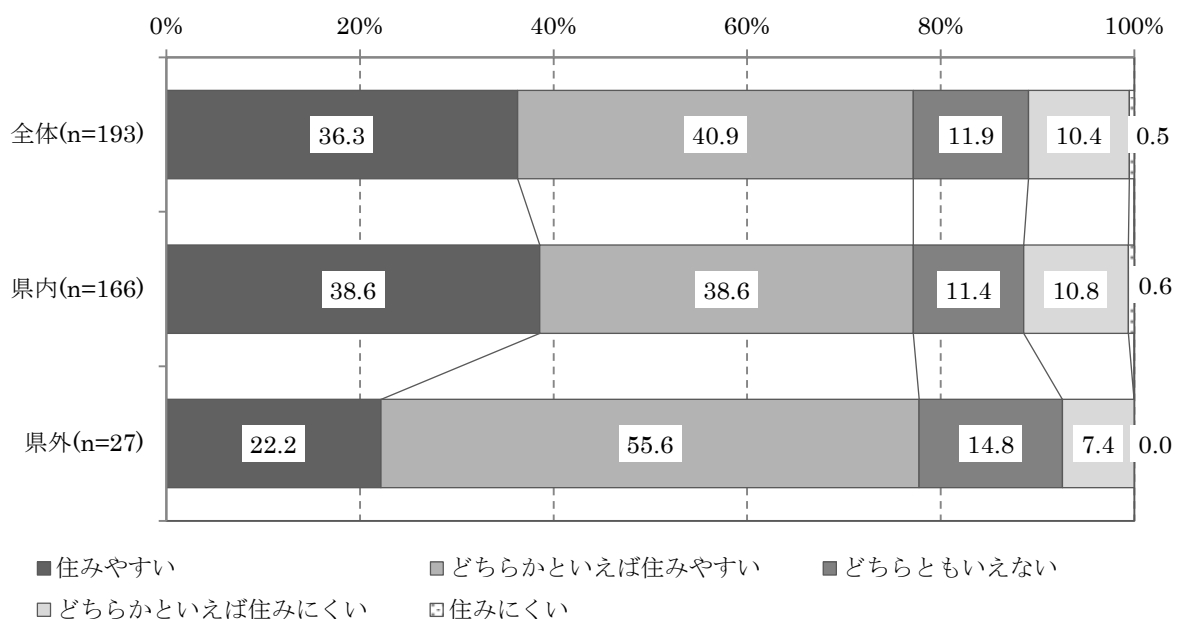
年代別（図 1-3）で見ると、18 または 19 歳は「住みやすい」が 50.0% と最も高くなっている。20 歳から 29 歳は「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、20 歳から 24 歳は 39.7%、25 歳から 29 歳は 42.7% となっている。

図 1-3 【年代別】 岐阜県の住みやすさ



居住圏域別（図 1-4）で見ると、県内は「住みやすい」が 38.6% と最も高く、県外は「どちらかといえば住みやすい」が 55.6% と最も高くなっている。県内、県外ともに「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が約 77% となっている。

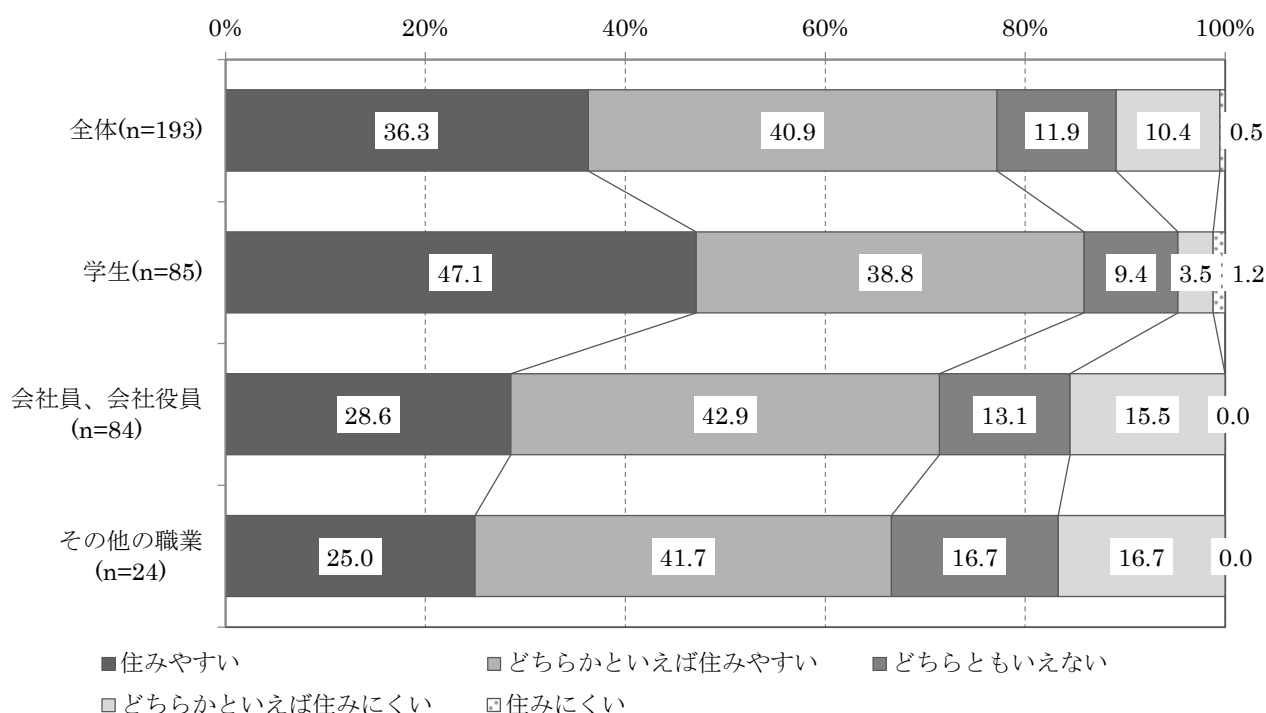
図 1-4 【居住圏域別】 岐阜県の住みやすさ





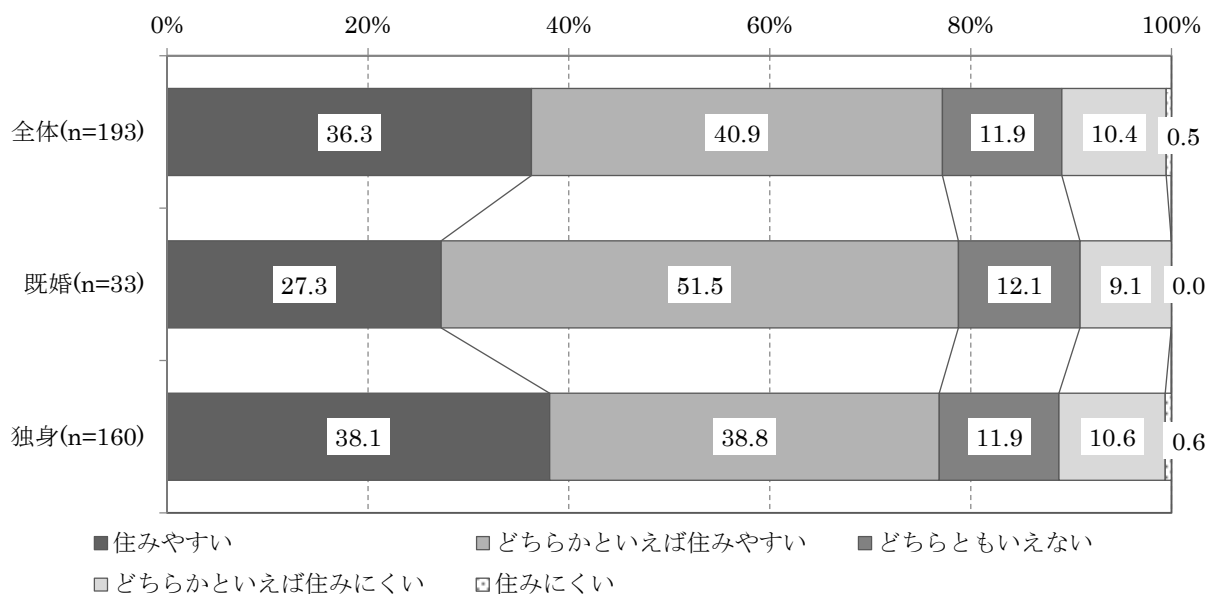
職業別（図 1-5）で見ると、学生においては「住みやすい」が47.1%と最も高くなっている。会社員、会社役員とその他の職業は「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は42.9%と最も高くなっている。

図 1-5 【職業別】 岐阜県の住みやすさ



婚姻の状況別（図 1-6）で見ると、既婚、独身ともに「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、そのうち既婚は51.5%と最も高くなっている。

図 1-6 【婚姻の状況別】 岐阜県の住みやすさ



## 問1-2 住みやすいを選んだ理由

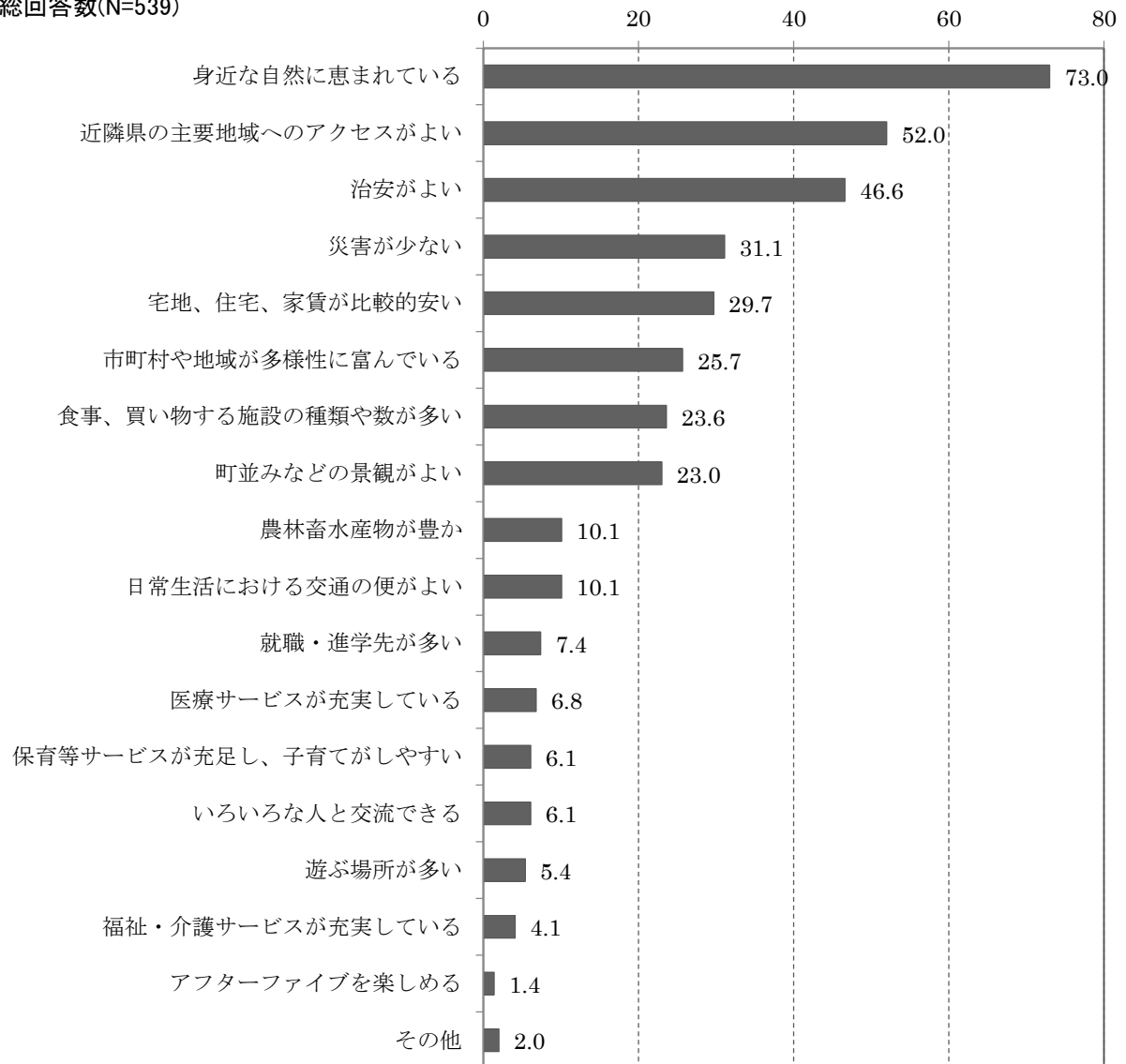
問1-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方にお尋ねします。  
その理由はなんですか。(いくつでも)

全体（図1-2-1）で見ると、「身近な自然に恵まれている」が73.0%と最も高く、次いで「近隣県の主要地域へのアクセスがよい」が52.0%、「治安がよい」が46.6%の順となっている。

図1-2-1 住みやすいを選んだ理由

回答者数(n=148)※

総回答数(N=539)



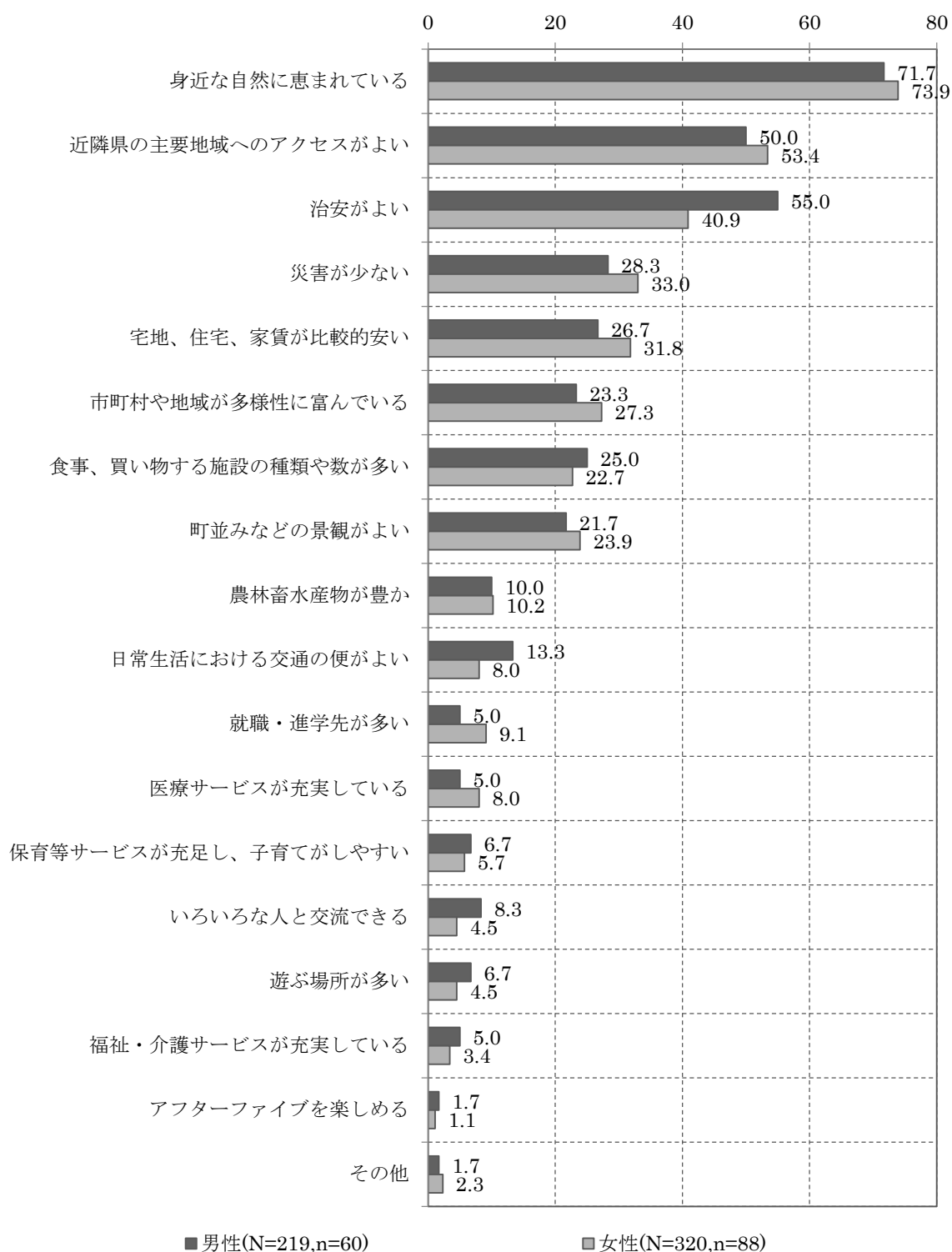
※問1で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を選んだ方（149人）のみ  
「無回答」が1人いるため、回答者数は148人

※「その他」の内容

- ・都心部に比べ、人口が少なく混雑がない。
- ・湧き水がある。手軽な温泉が多い。

性別（図 1-2-2）でみると、男女ともに「身近な自然に恵まれている」が最も高く、男性は71.7%、女性は73.9%となっている。次いで男性は「治安がよい」が55.0%、女性は「近隣県の主要地域へのアクセスがよい」が53.4%の順となっている。

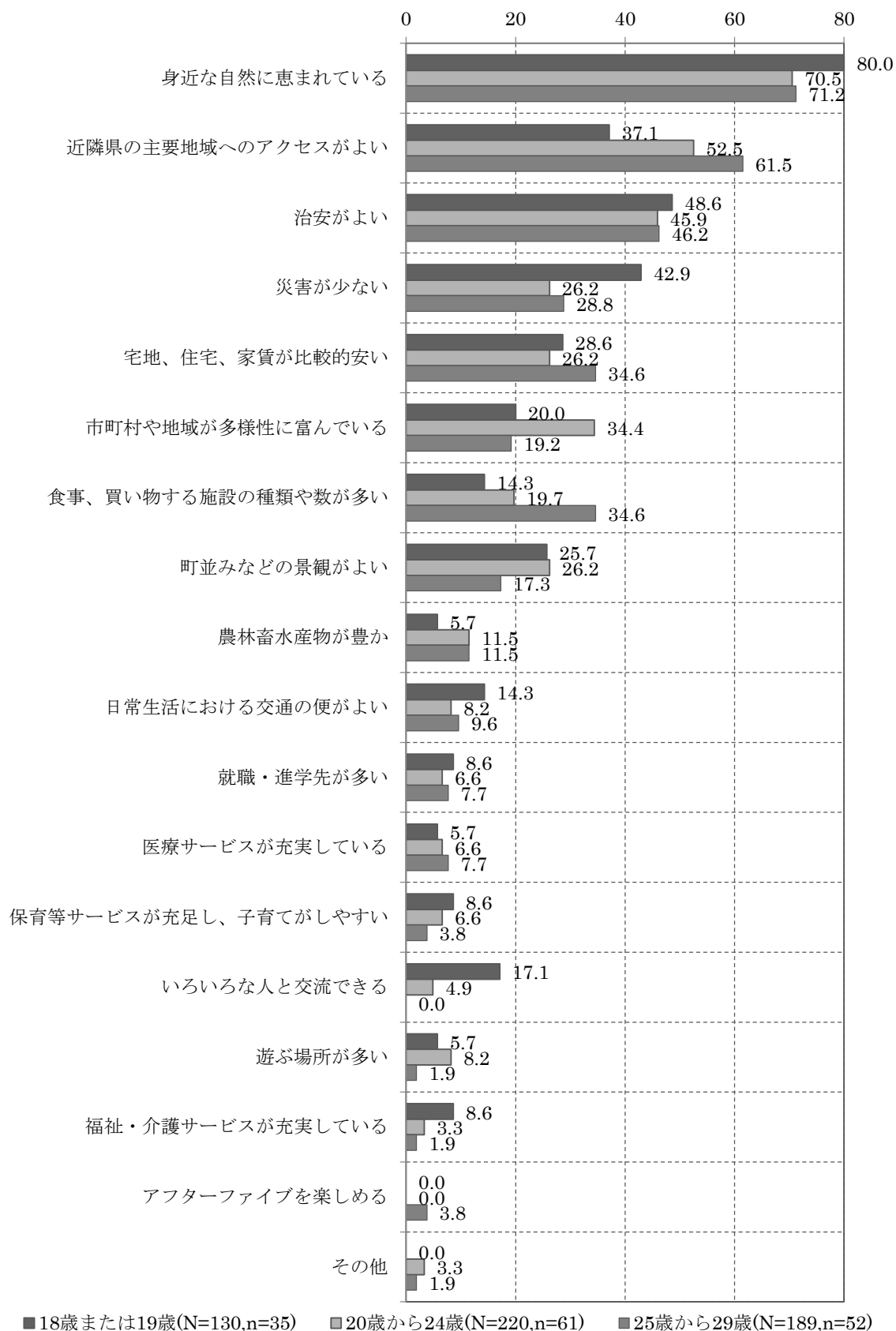
図 1-2-2 【性別】 住みやすいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-3）で見ると、いずれの年代においても「身近な自然に恵まれている」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 80.0%と最も高くなっている。

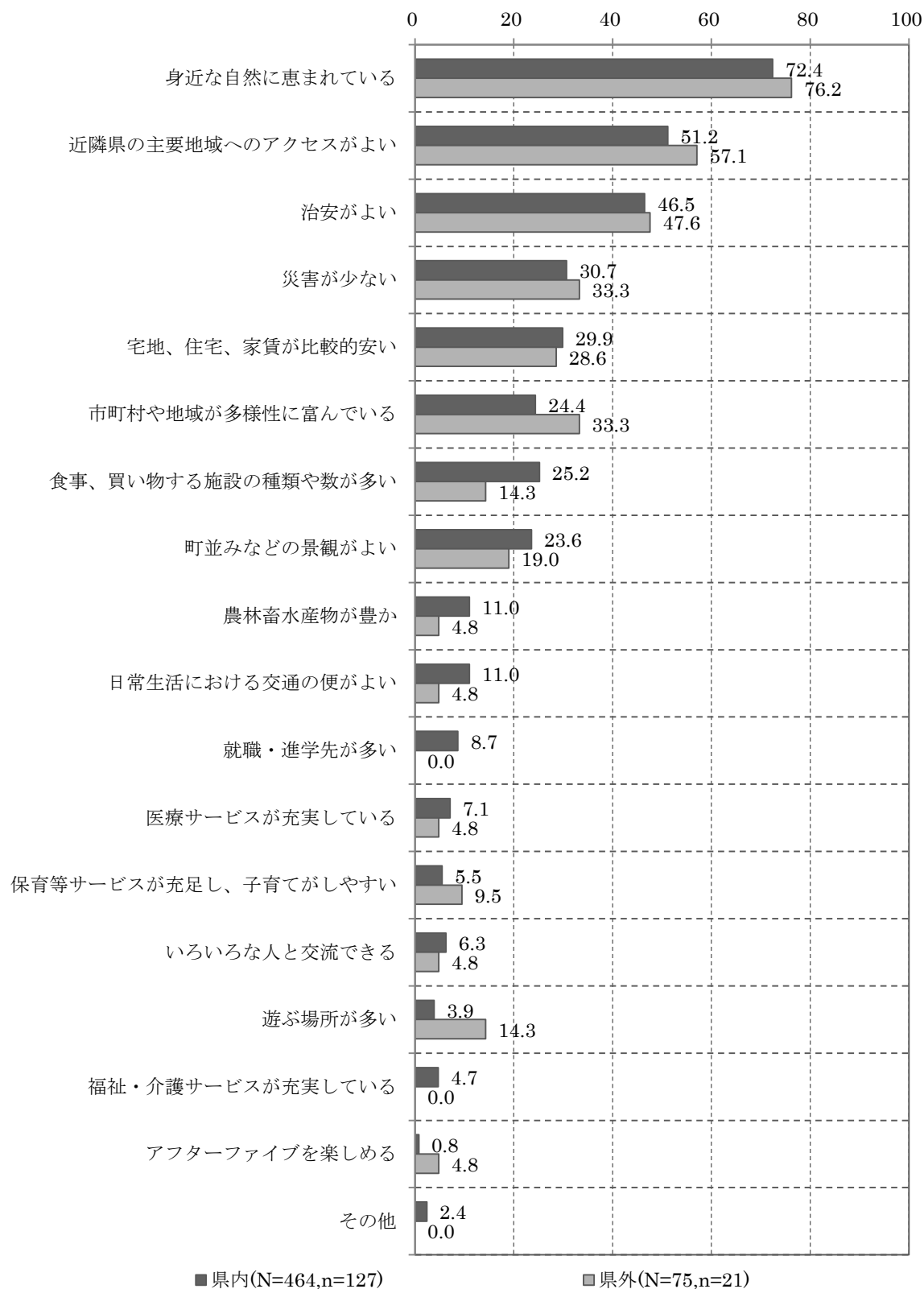
図 1-2-3 【年代別】住みやすいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-4）で見ると、いずれの居住圏域においても「身近な自然に恵まれている」が最も高く、県内は72.4%、県外は76.2%となっている。

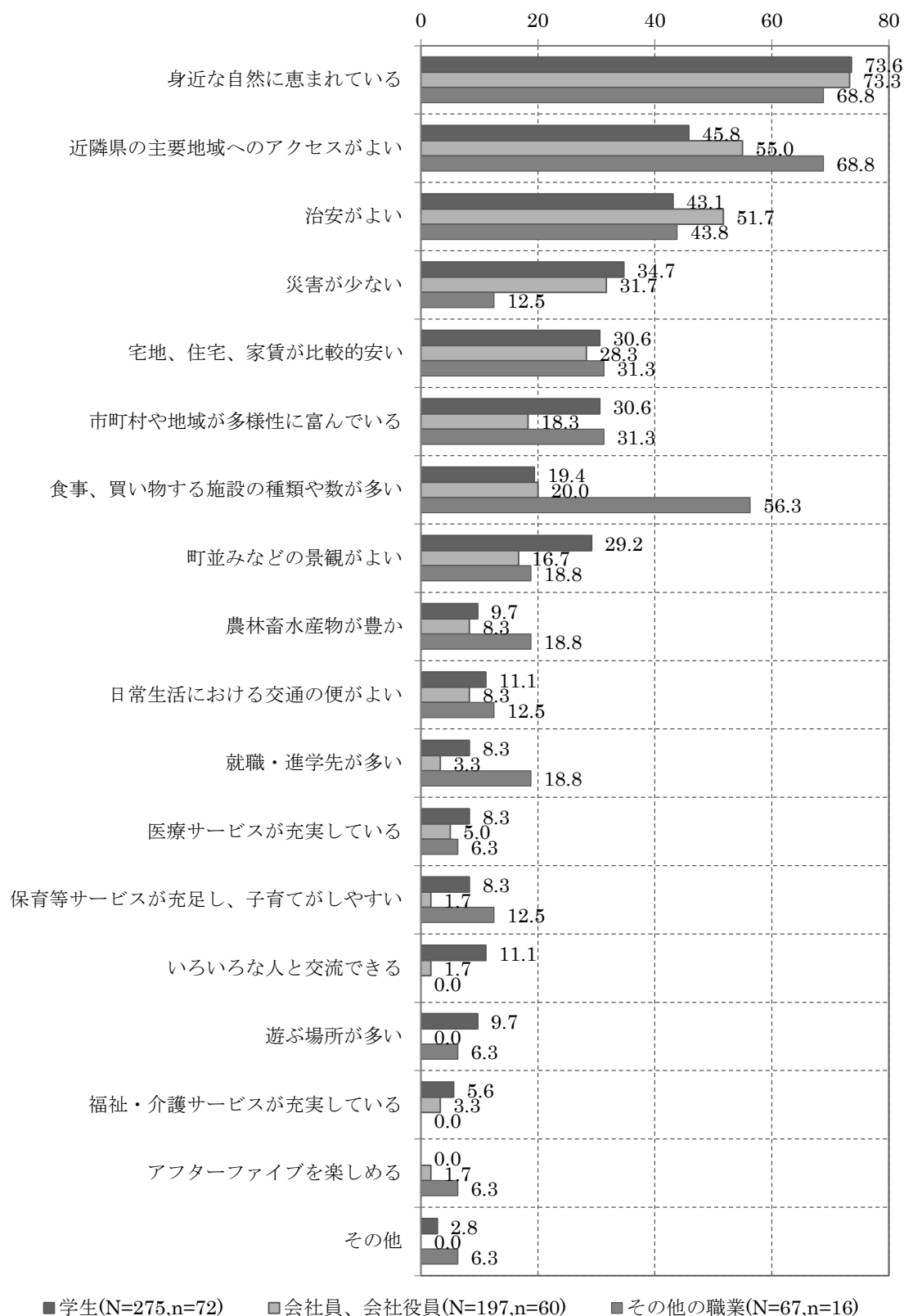
図 1-2-4 【居住圏域別】住みやすいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-5）でみると、いずれの職業においても「身近な自然に恵まれている」が最も高く、そのうち学生は73.6%と最も高くなっている。

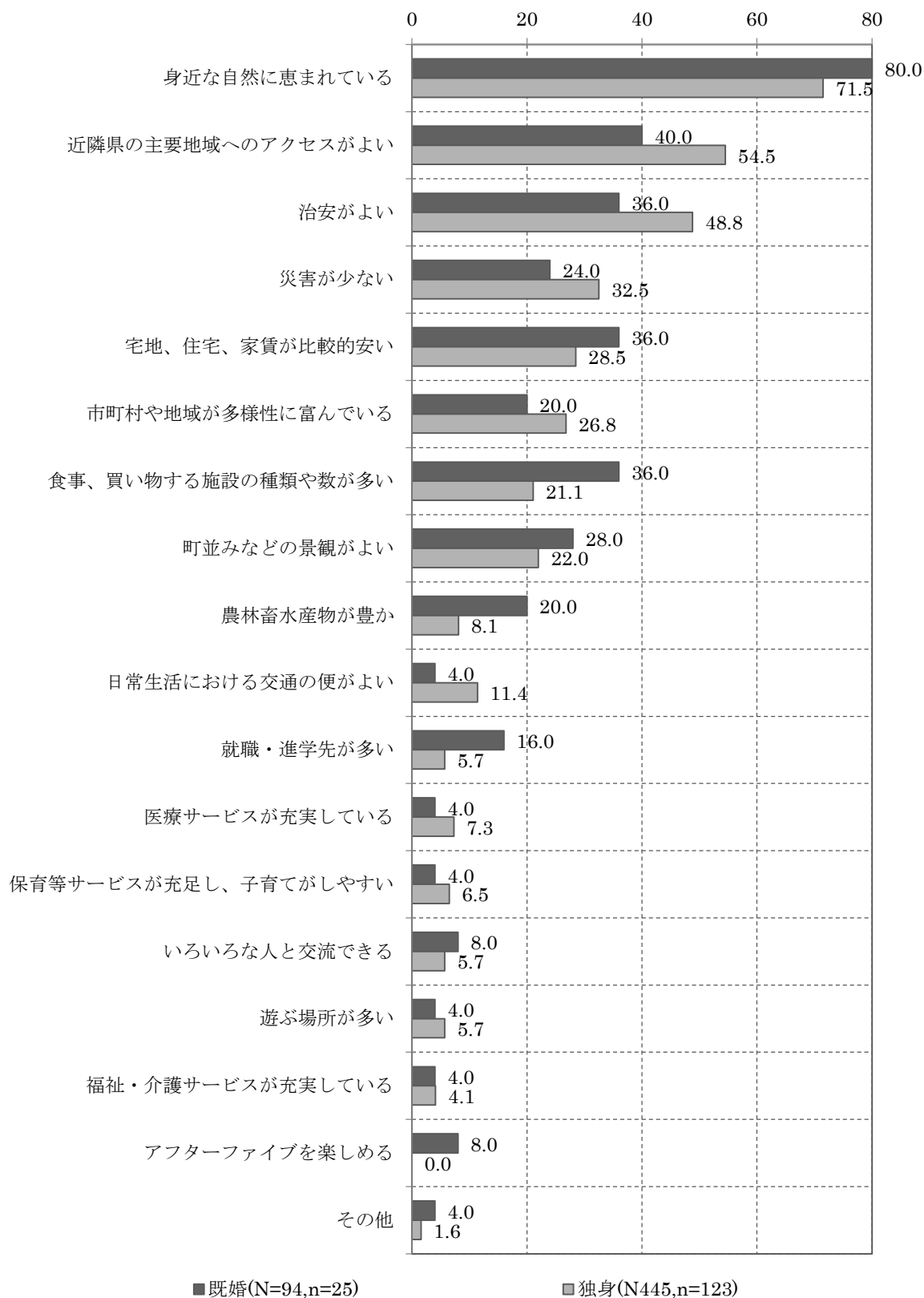
図 1-2-5 【職業別】 住みやすいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 1-2-6）でみると、既婚、独身ともに「身近な自然に恵まれている」が最も高く、そのうち既婚は80.0%と最も高くなっている。

図 1-2-6 【婚姻の状況別】 住みやすいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

### 問1-3 住みにくいを選んだ理由

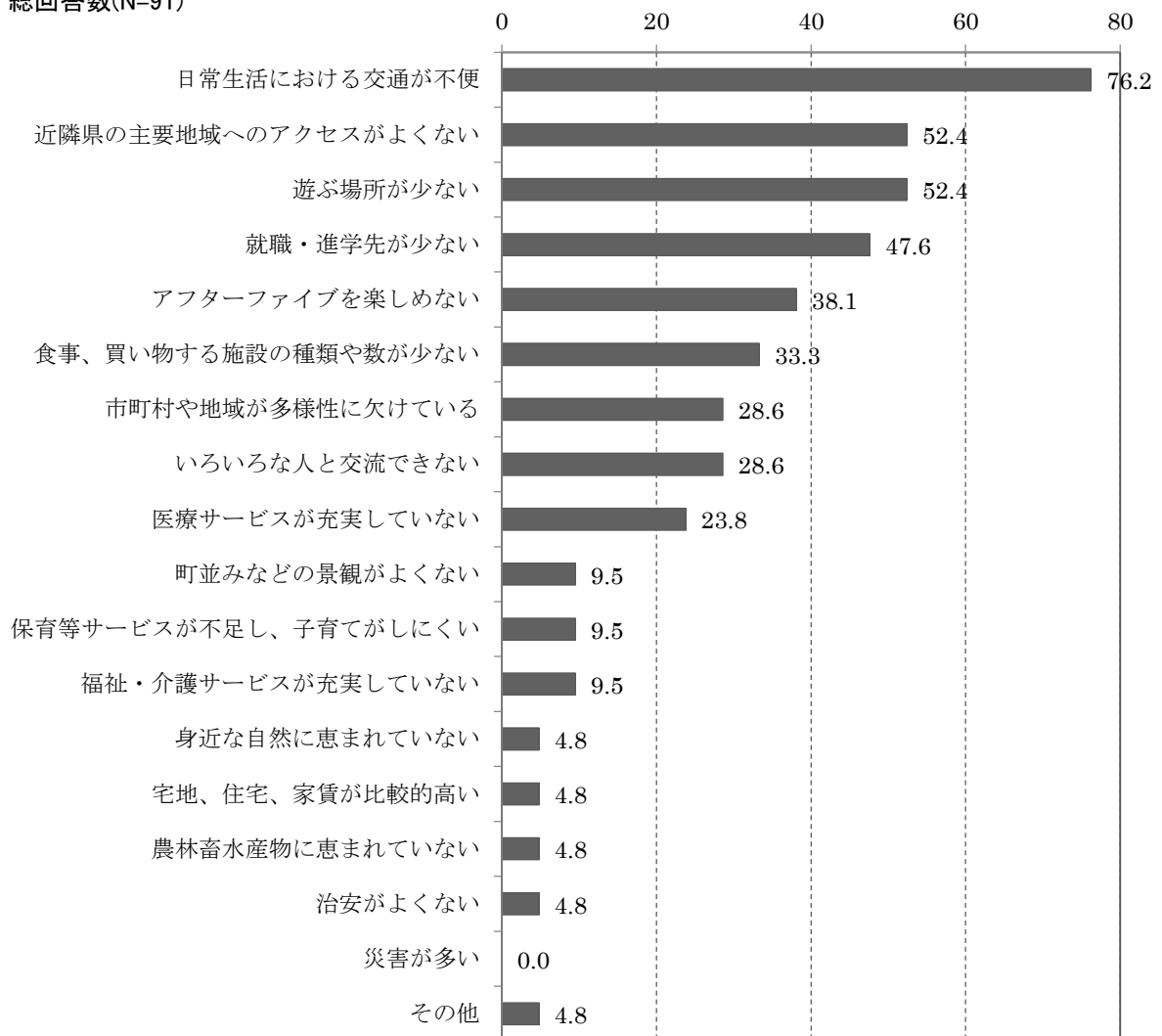
問1-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ方にお尋ねします。  
その理由はなんですか。(いくつでも)

全体(図1-3-1)で見ると、「日常生活における交通が不便」が76.2%と最も高く、次いで、「近隣県の主要地域へのアクセスが良くない」が52.4%、「遊ぶ場所が少ない」が52.4%の順となっている。

図1-3-1 住みにくいを選んだ理由

回答者数(n=21)※

総回答数(N=91)



※問1で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ方のみ

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・市町村や地域が多様性(都市的な面と農村的な面、近代的な面と伝統的な面など)に欠けている……市町村や地域が多様性に欠けている

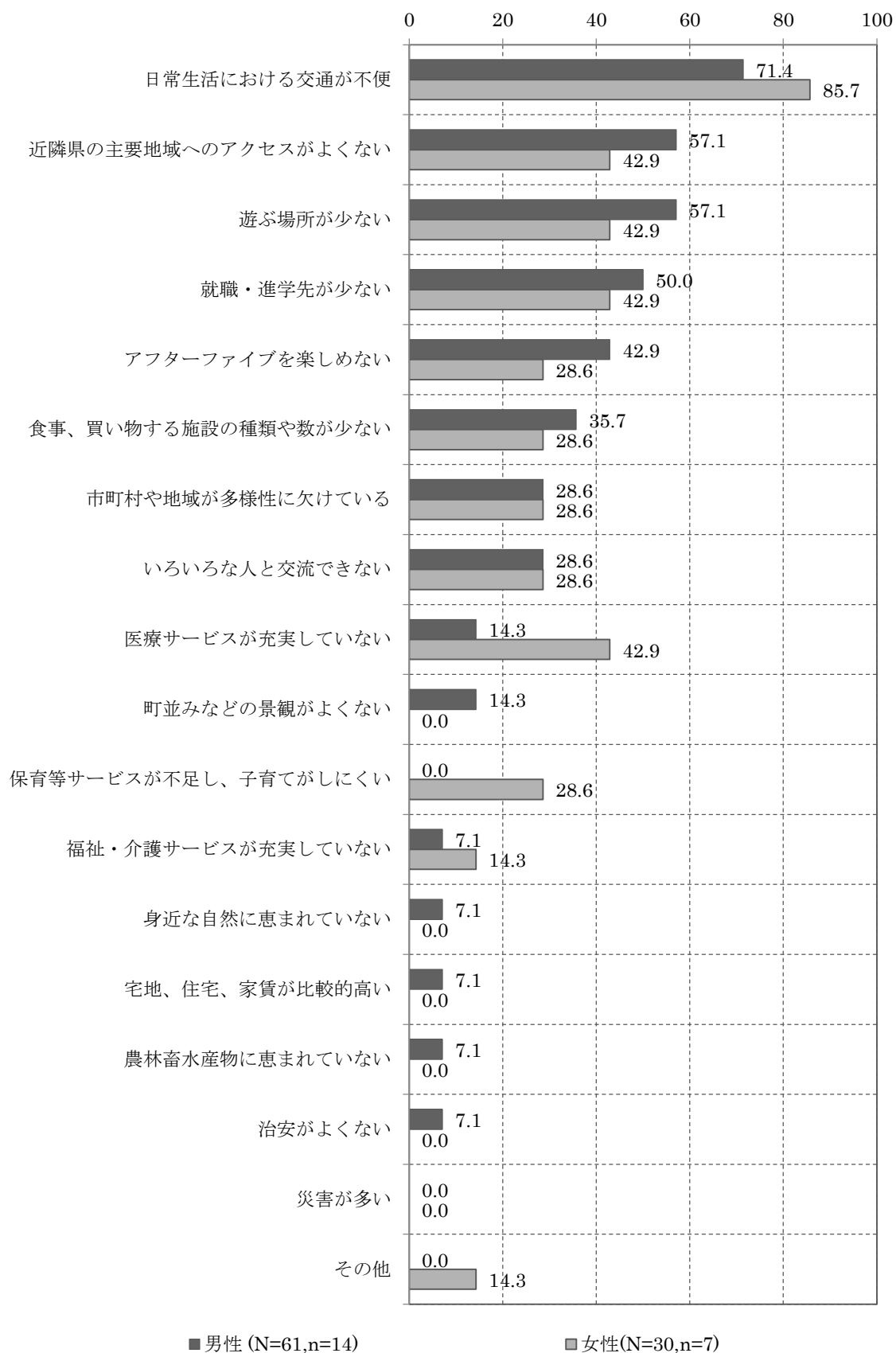
※「その他」の内容

- ・他県の出身者だと分かると態度を変える地元民が多く、疎外感がある。(たまに、温かく接してくれる人もいますが。)



性別（図 1-3-2）でみると、男女ともに「日常生活における交通が不便」が最も高く、男性は 71.4%、女性は 85.7%となっている。

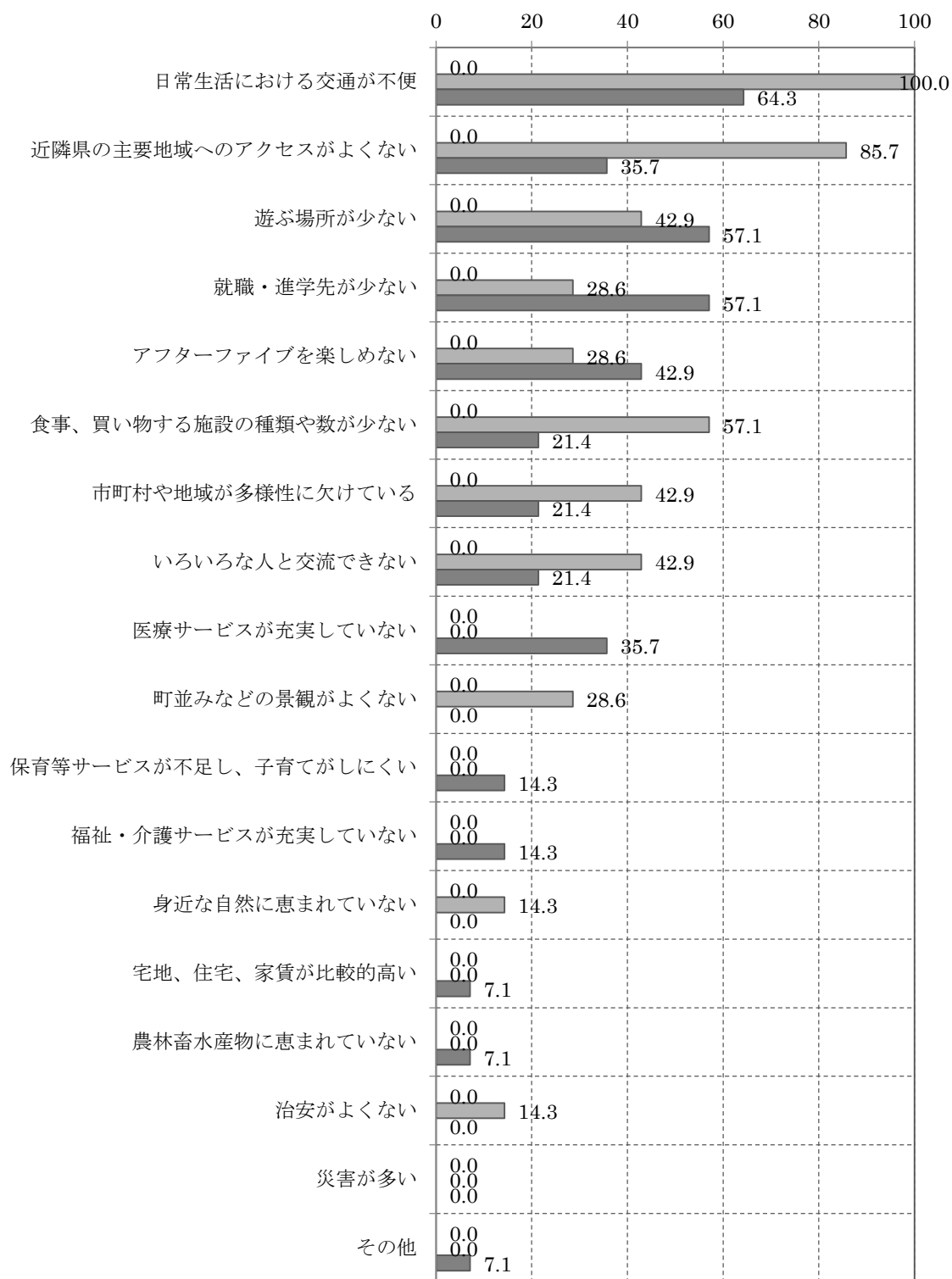
図 1-3-2 【性別】住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-3-3）で見ると、20 歳から 29 歳は「日常生活における交通が不便」が最も高くなっている（20 歳から 24 歳では 100.0%、25 歳から 29 歳では 64.3%）。なお、18 歳または 19 歳で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を選んだ人はいない。

図 1-3-3 【年代別】住みにくいを選んだ理由

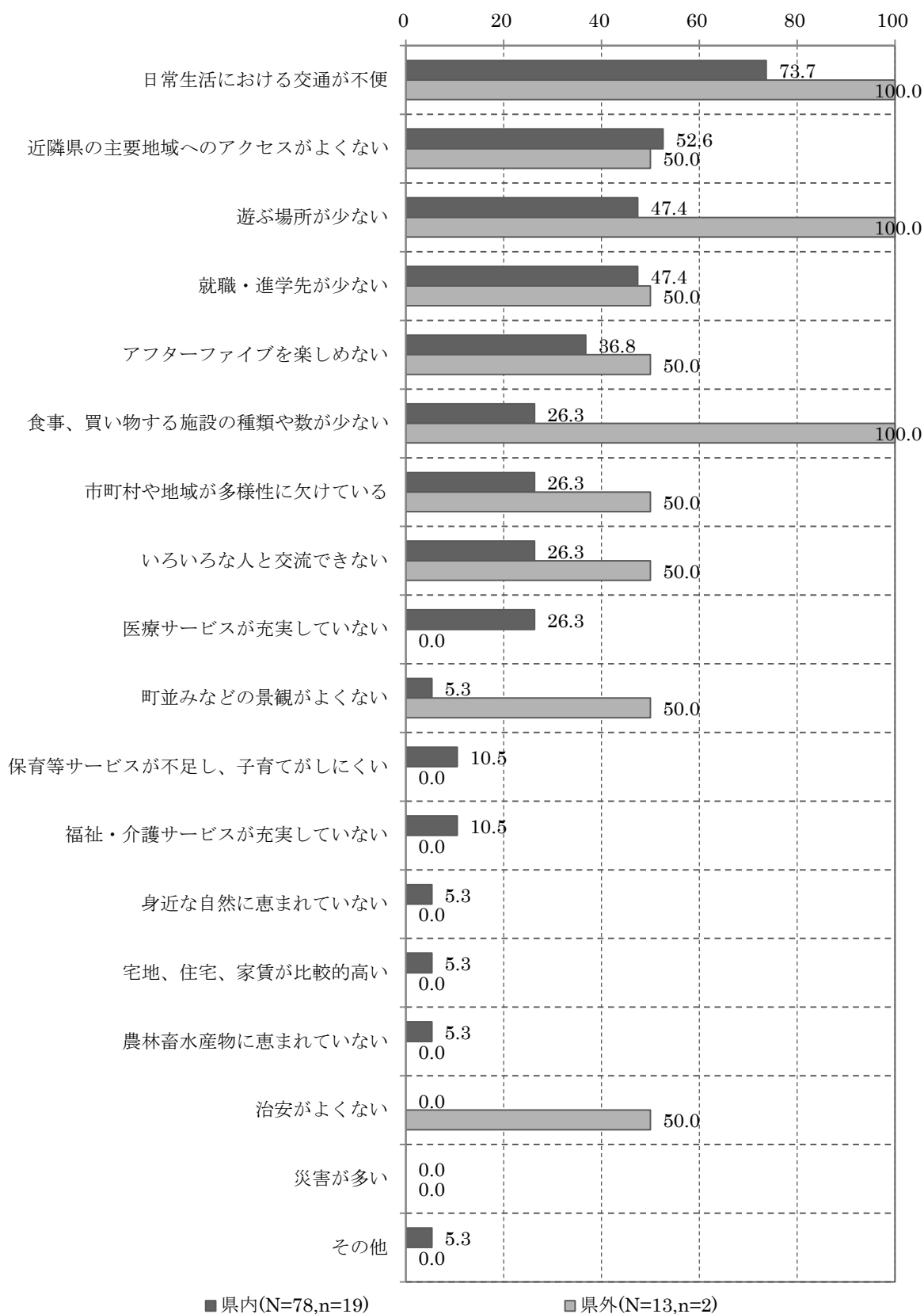


■ 18歳または19歳(N=0,n=0) ■ 20歳から24歳(N=34,n=7) ■ 25歳から29歳(N=57,n=14)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-3-4）で見ると、県内、県外ともに「日常生活における交通が不便」が最も高く、県内は73.7%、県外は100.0%となっている。県外は「遊ぶ場所が少ない」、「食事、買い物する施設の種類の数が少ない」も100.0%と最も高くなっている。

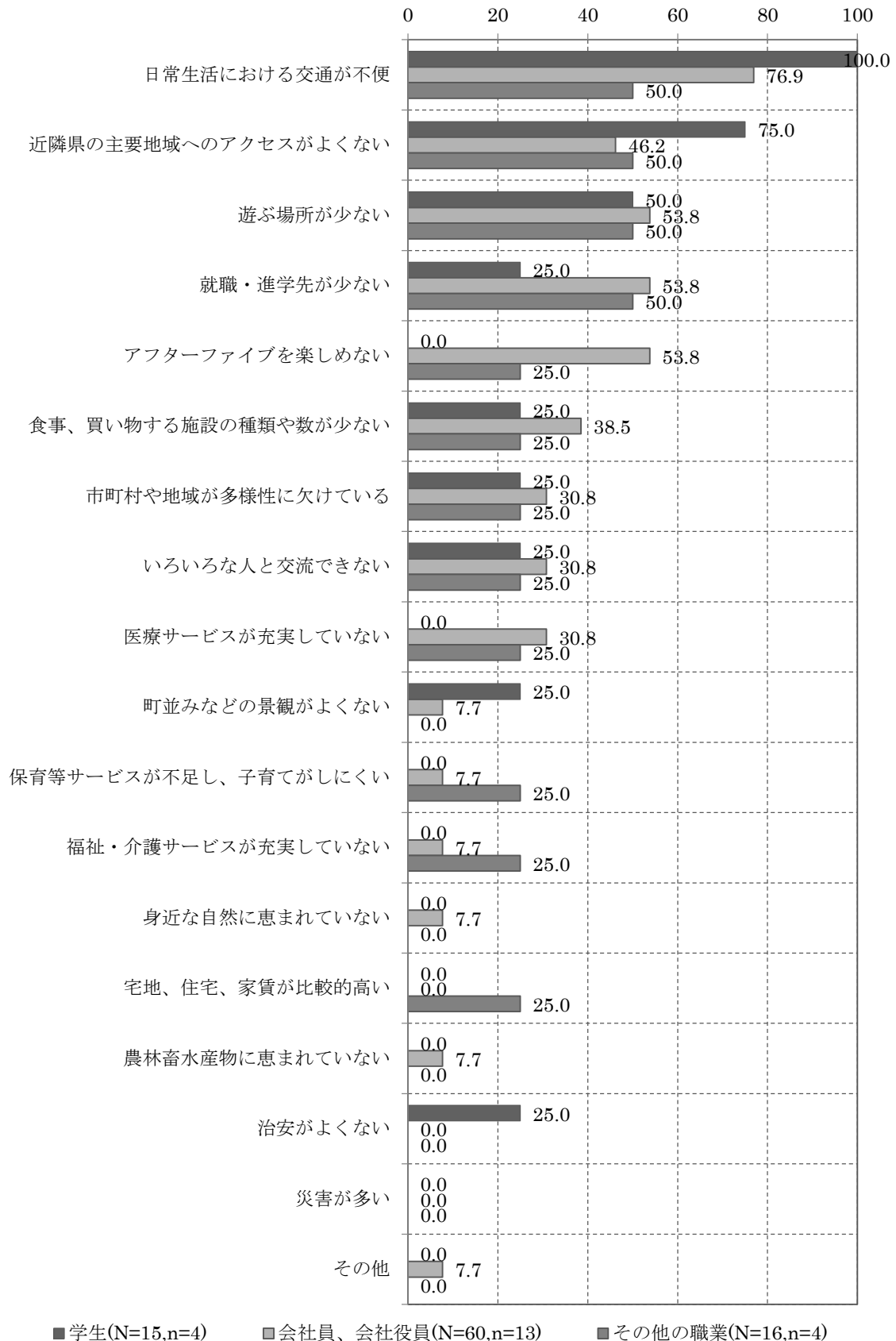
図 1-3-4 【居住圏域別】住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-3-5）でみると、いずれの職業においても「日常生活における交通が不便」が最も高く、そのうち学生は 100.0%と最も高くなっている。

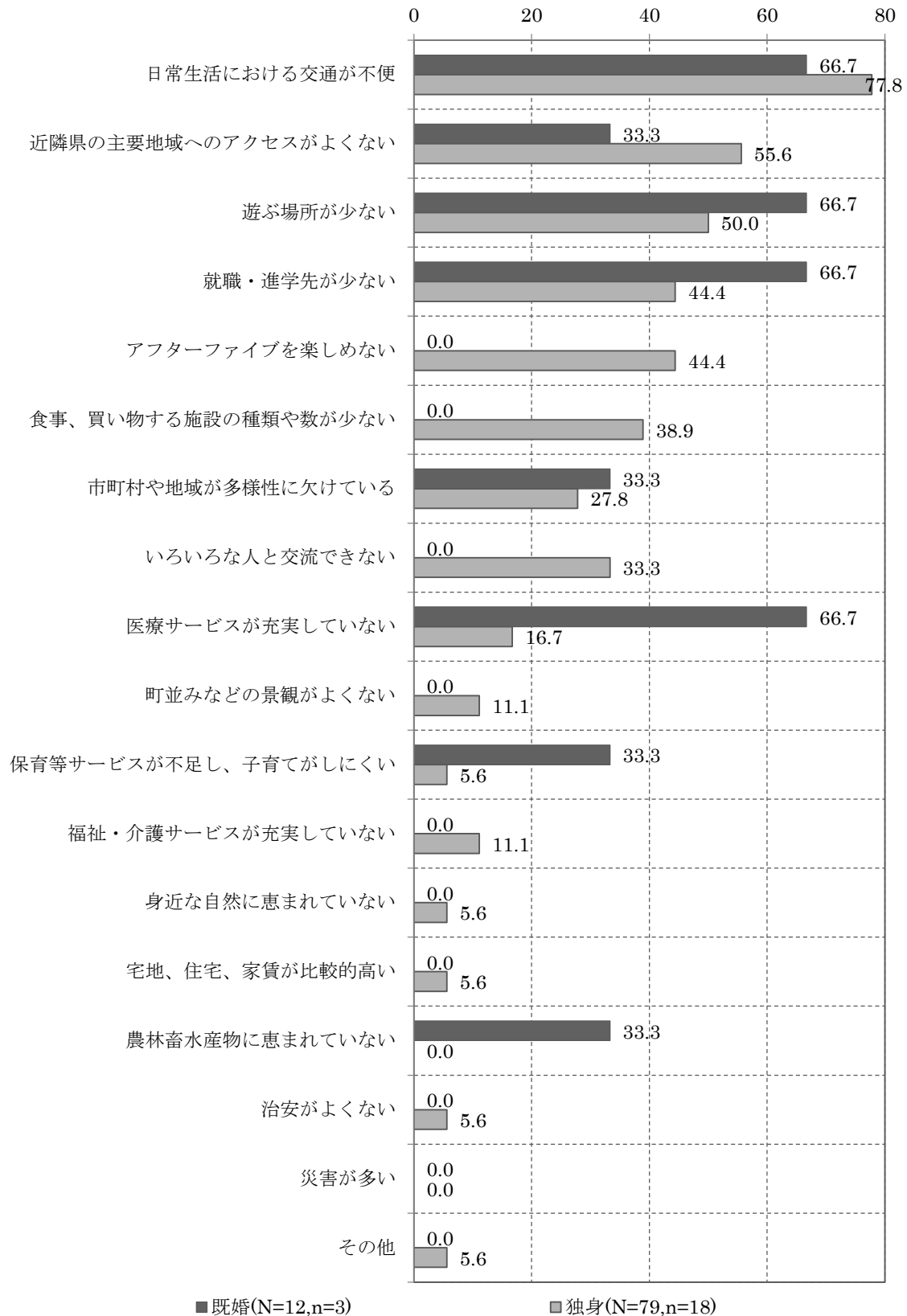
図 1-3-5 【職業別】 住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 1-3-6）でみると、既婚、独身ともに「日常生活における交通が不便」が最も高く、そのうち独身は77.8%と最も高くなっている。

図 1-3-6 【婚姻の状況別】住みにくいを選んだ理由



※ N=総回答数 n=回答者数

## 問2 今後の暮らしの中で重視したいこと

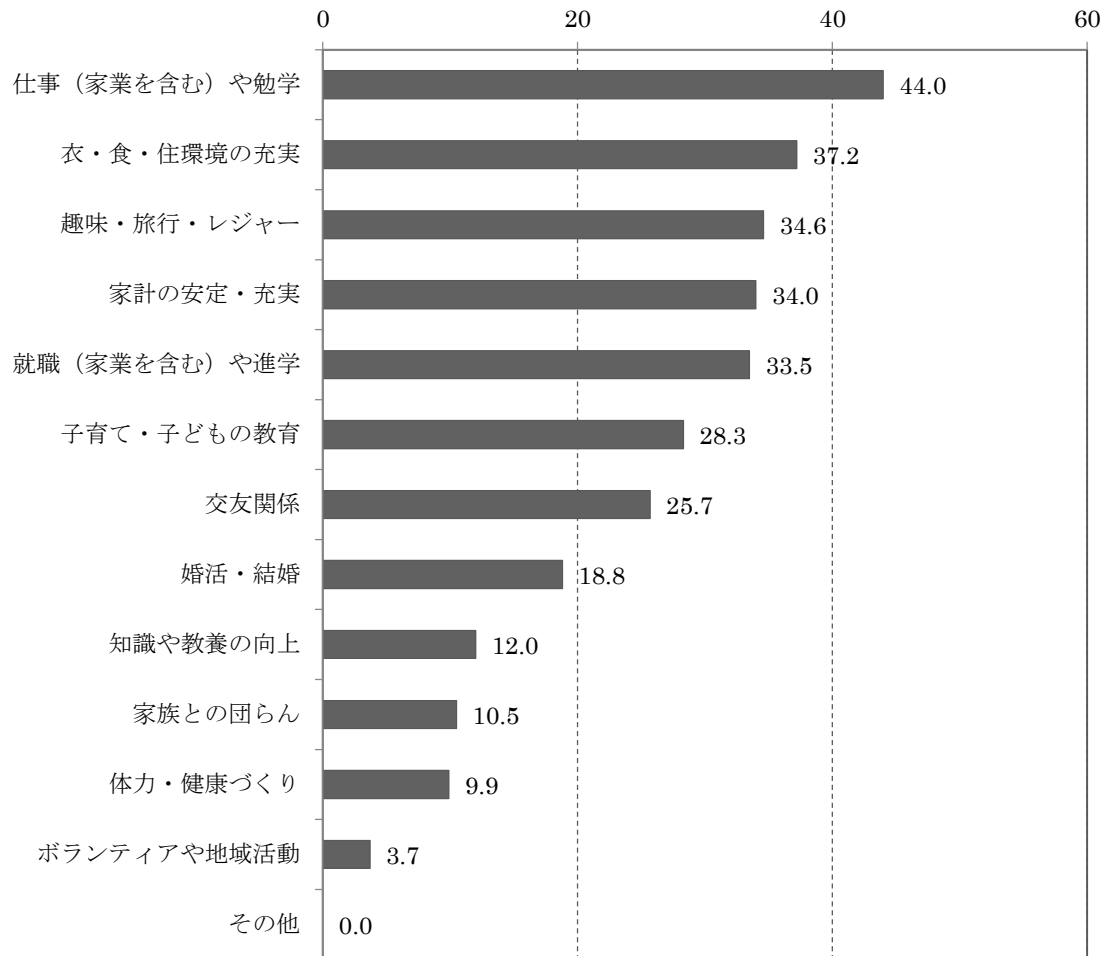
問2 あなたが、今後の暮らしの中で重視したいと思うことは何ですか。  
(3つまで)

全体(図2-1)で見ると、「仕事(家業を含む)や勉強」が44.0%と最も高く、次いで「衣・食・住環境の充実」が37.2%、「趣味・旅行・レジャー」が34.6%の順となっている。

図2-1 今後の暮らしの中で重視したいこと

回答者数(n=191)※

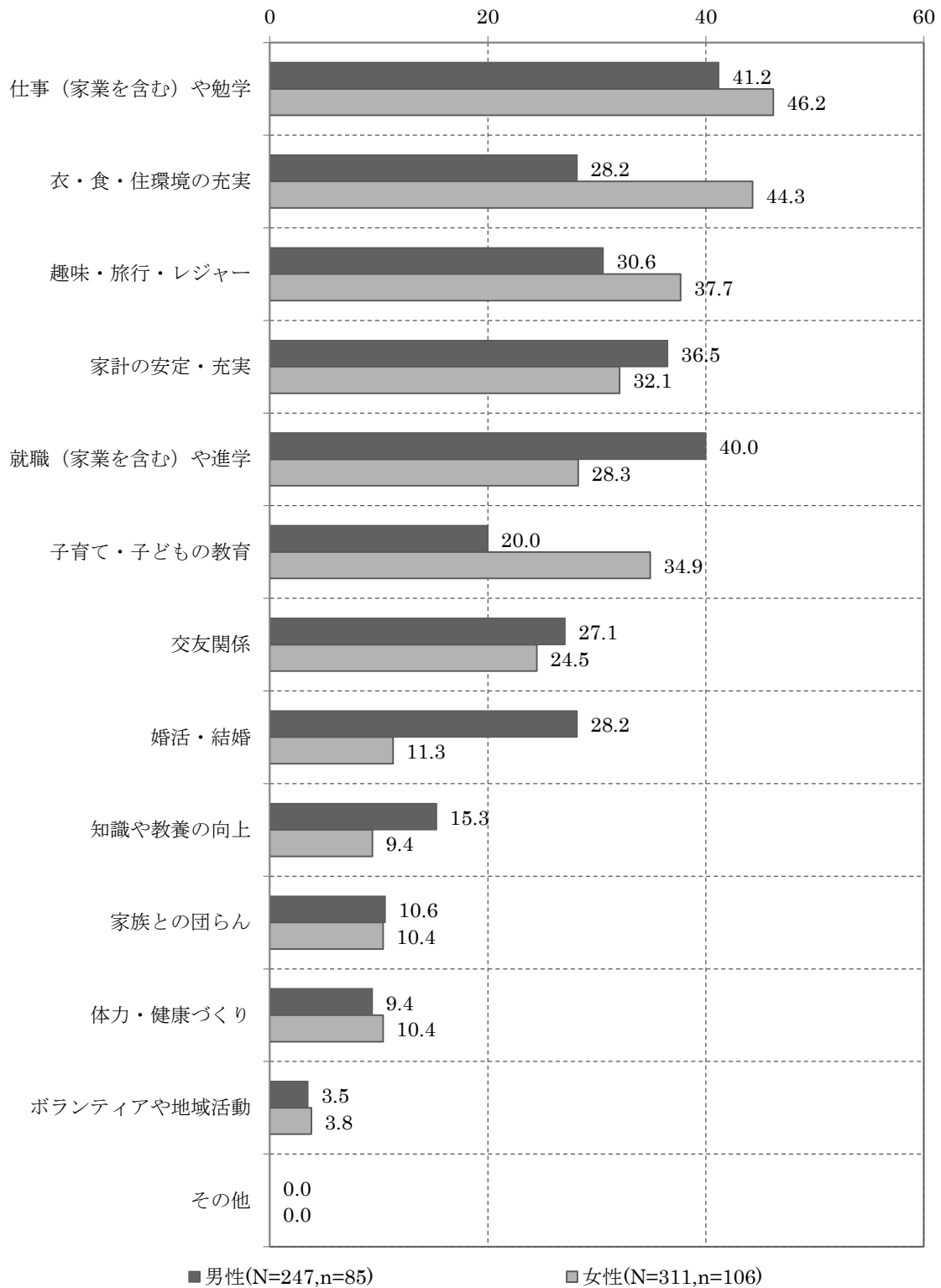
総回答数(N=558)



※「無回答」が2人いるため、回答者数は191人

性別（図 2-2）で見ると、男女ともに「仕事（家業を含む）や勉強」が最も高く、男性は 41.2%、女性は 46.2%となっている。

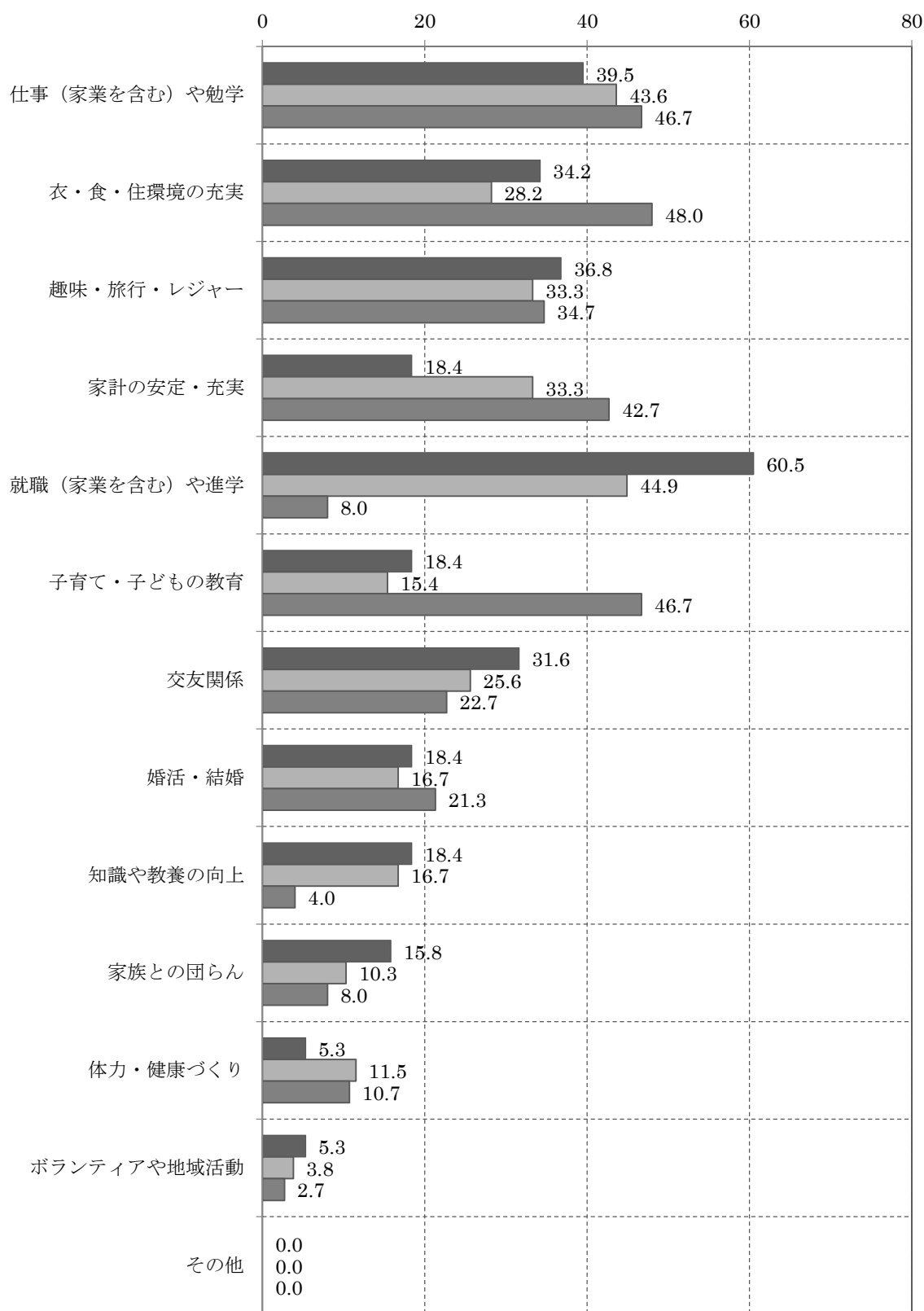
図 2-2 【性別】 今後の暮らしの中で重視したいこと



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 2-3）で見ると、18 歳から 24 歳は「就職（家業を含む）や進学」が最も高くなっており、18 歳または 19 歳は 60.5%、20 歳から 24 歳は 44.9%となっている。25 歳から 29 歳は「衣・食・住環境の充実」が 48.0%と最も高くなってきている。

図 2-3 【年代別】 今後の暮らしの中で重視したいこと



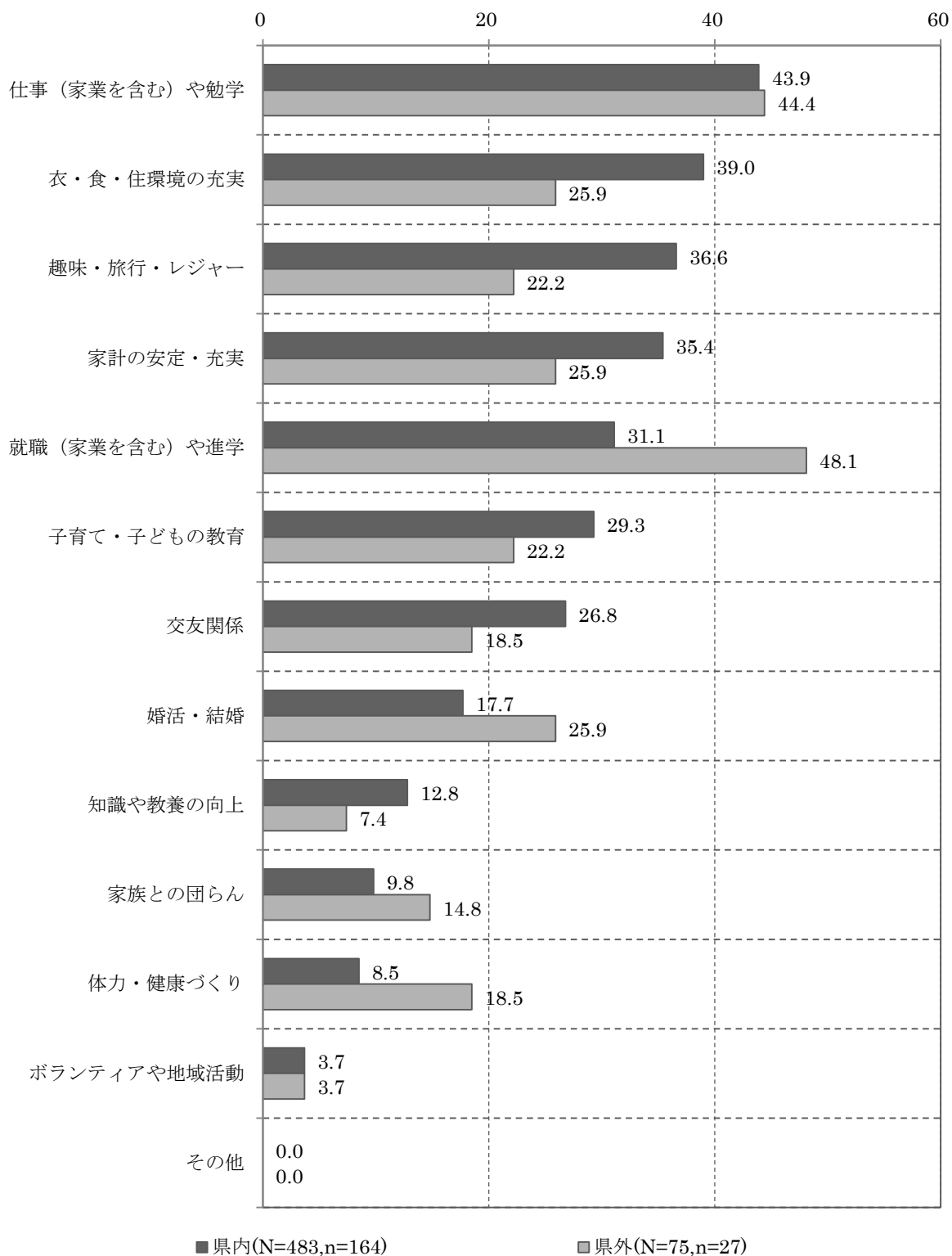
■ 18歳または19歳(N=115,n=38)    ■ 20歳から24歳(N=221,n=78)    ■ 25歳から29歳(N=222,n=75)

※ N=総回答数 n=回答者数



居住圏域別（図 2-4）で見ると、県内は「仕事（家業を含む）や勉学」が 43.9%と最も高くなっている。県外は「就職（家業を含む）や進学」が 48.1%と最も高くなっている。

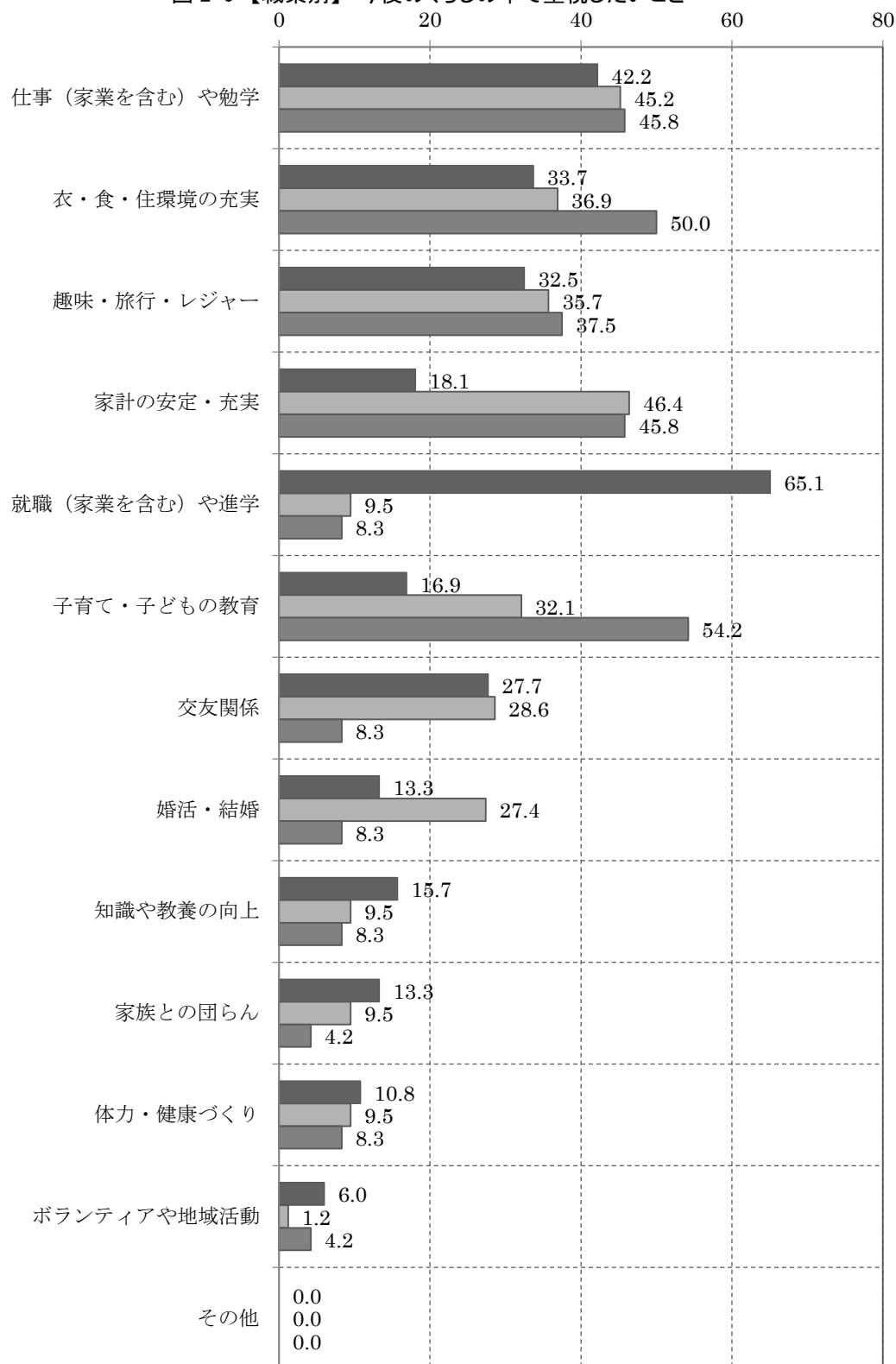
図 2-4 【居住圏域別】 今後の暮らしの中で重視したいこと



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図2-5）でみると、学生は「就職（家業を含む）や進学」が65.1%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「家計の安定・充実」が46.4%と最も高くなっている。その他の職業は「子育て・子どもの教育」が54.2%と最も高くなっている。

図2-5 【職業別】 今後の暮らしの中で重視したいこと

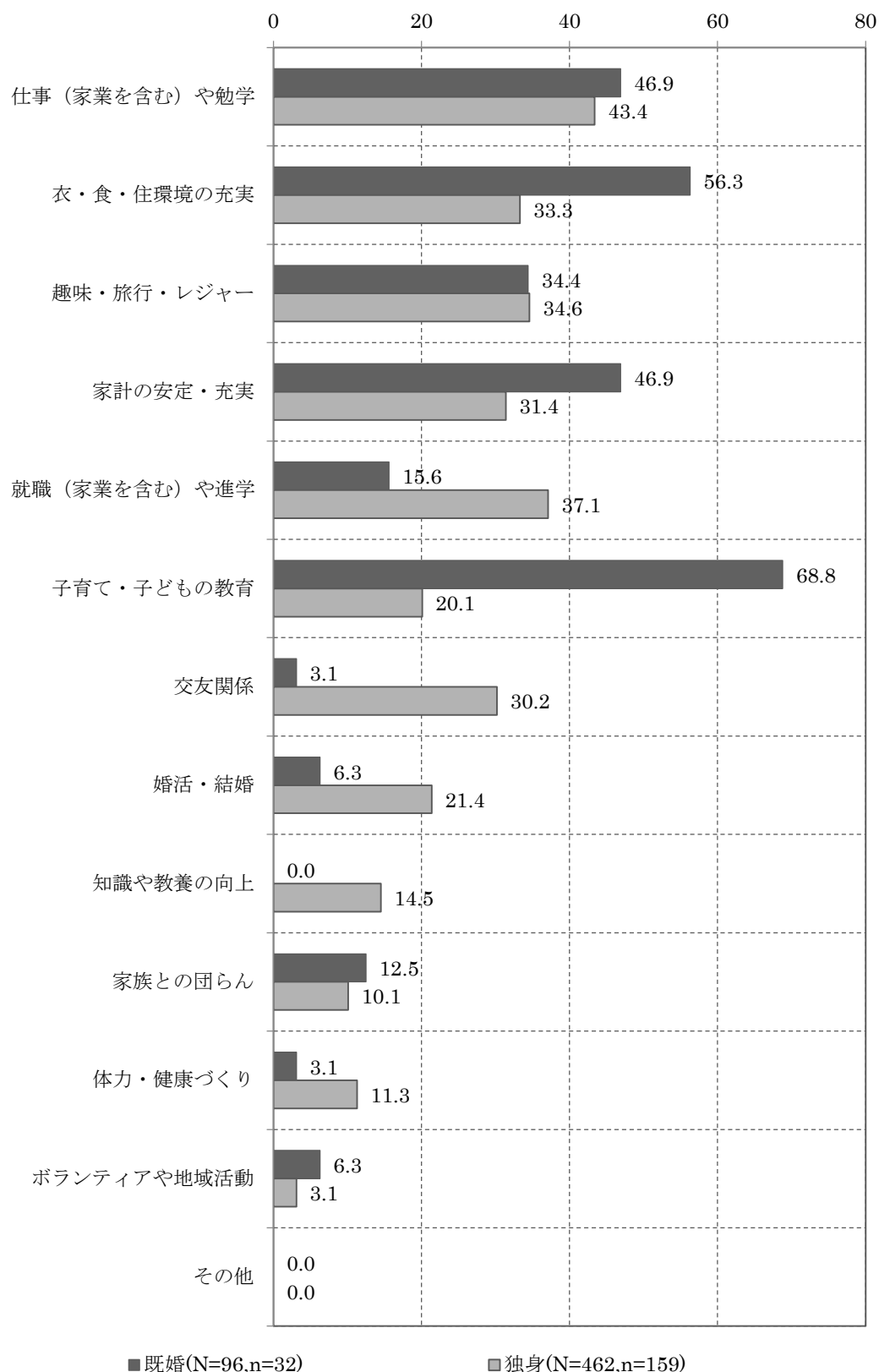


■ 学生(N=245,n=83)    □ 会社員、会社役員(N=245,n=84)    ■ その他の職業(N=68,n=24)

※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 2-6）で見ると、既婚は「子育て・子どもの教育」が 68.8%と最も高くなっている。独身は「仕事（家業を含む）や勉強」が 43.4%と最も高くなっている。

図 2-6 【婚姻の状況別】 今後の暮らしの中で重視したいこと



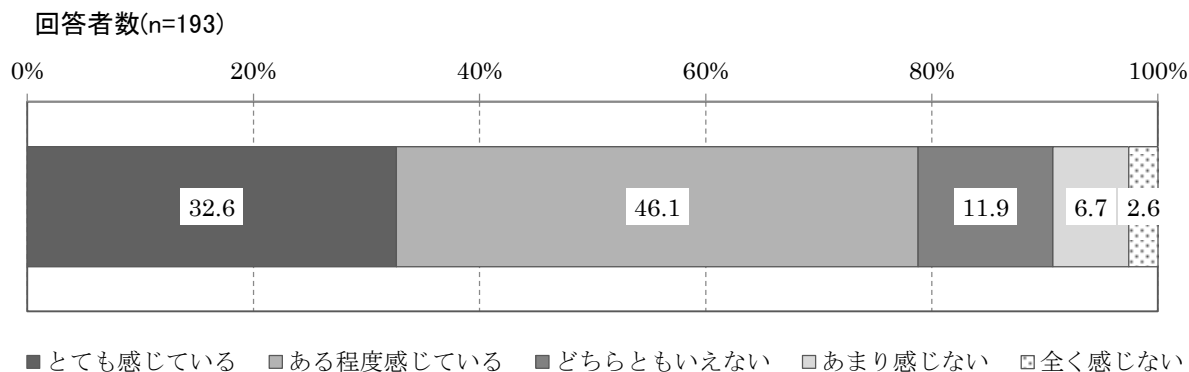
※ N=総回答数 n=回答者数

### 問3 岐阜県への愛着や親しみ

問3 あなたは、岐阜県に愛着や親しみ、誇りを感じていますか。  
 (現在、県外にお住まいの方は、岐阜県に住んでいた当時の印象でお答えください。)  
 (1つだけ)

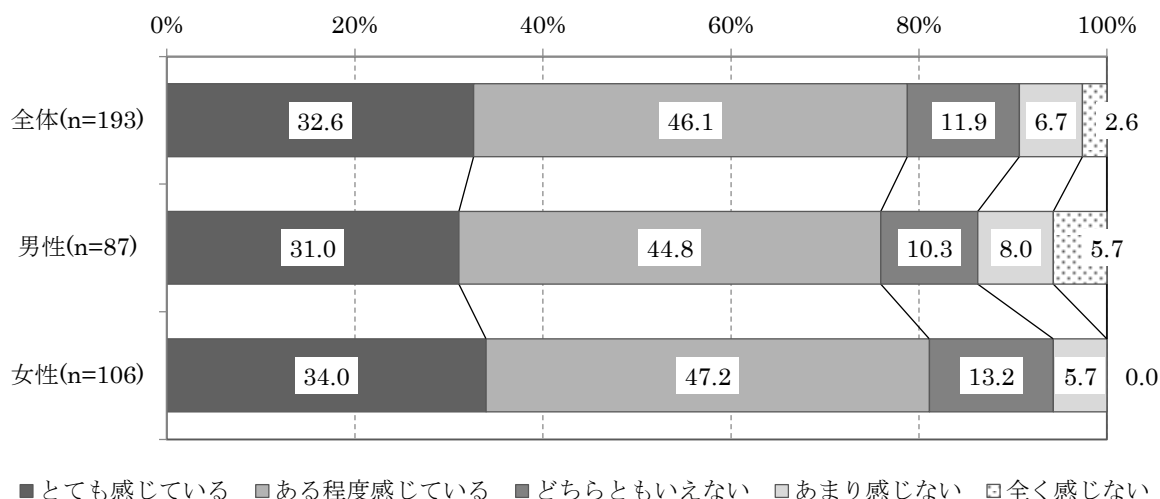
全体（図 3-1）で見ると、「ある程度感じている」が46.1%と最も高く、次いで「とても感じている」が32.6%、「どちらともいえない」が11.9%の順となっている。

図 3-1 岐阜県への愛着や親しみ



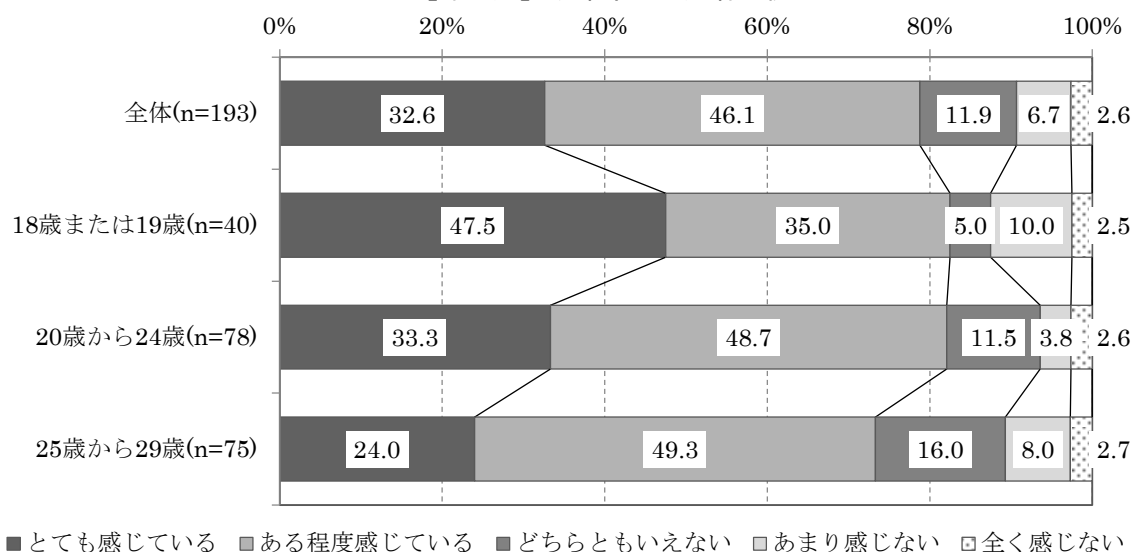
性別（図 3-2）で見ると、男女ともに「ある程度感じている」が最も高く、男性は44.8%、女性は47.2%となっている。次いで男女ともに「とても感じている」が高く、男性は31.0%、女性は34.0%となっている。

図 3-2 【性別】 岐阜県への愛着や親しみ



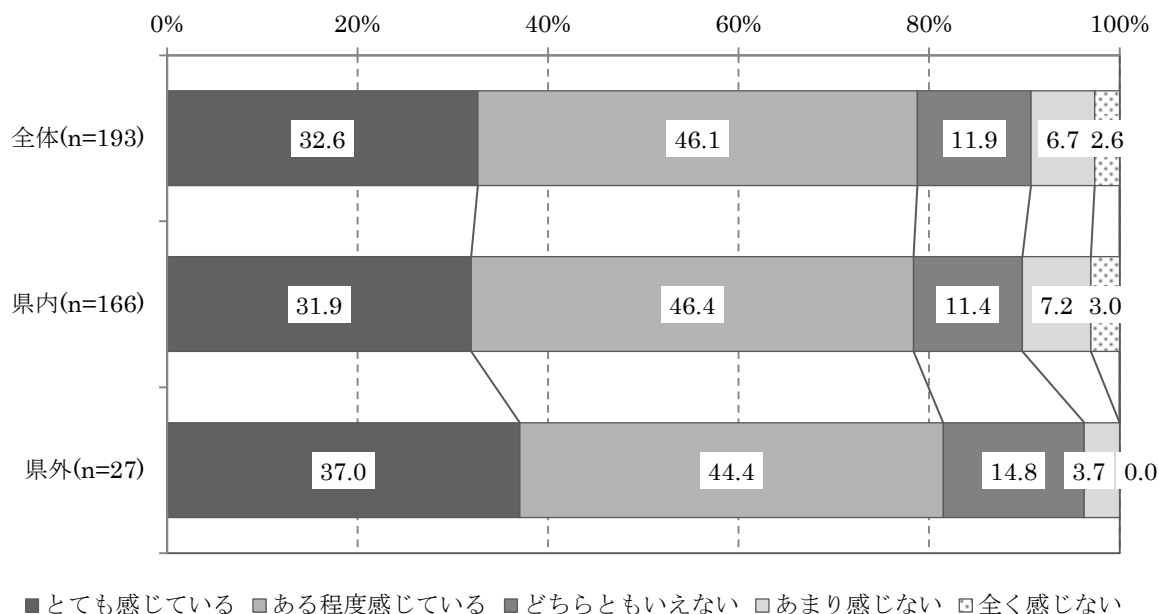
年代別（図 3-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「とても感じている」が 47.5%と最も高くなっている。20 歳から 29 歳は「ある程度感じている」が最も高く、20 歳から 24 歳は 48.7%、25 歳から 29 歳は 49.3%となっている。

図 3-3 【年代別】 岐阜県への愛着や親しみ



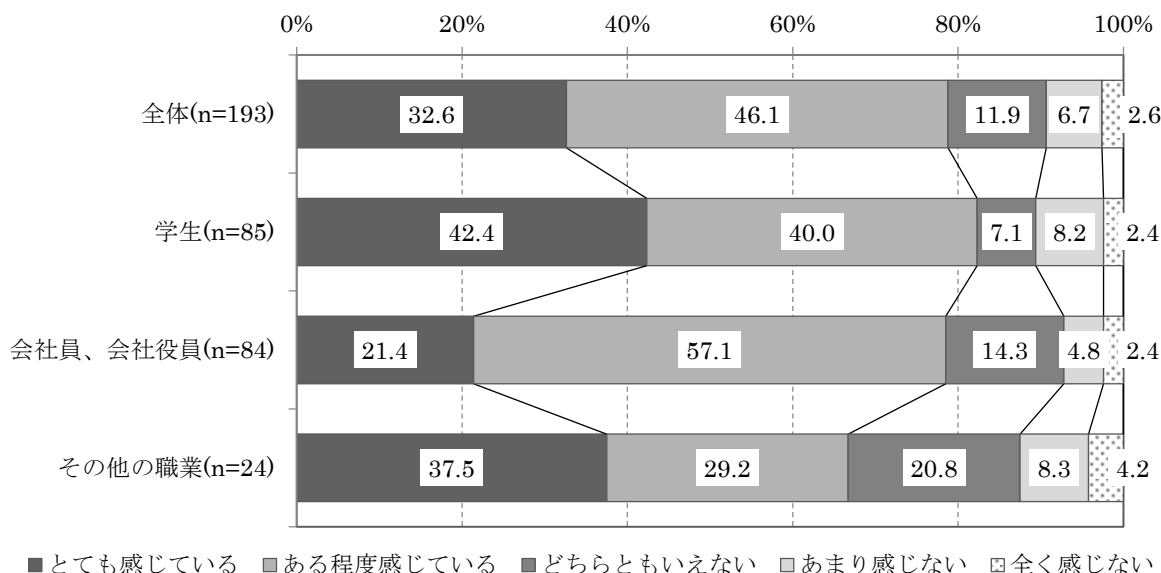
居住圏域別（図 3-4）で見ると、県内、県外ともに「ある程度感じている」が最も高く、県内は 44.6%、県外は 44.4%となっている。次いで県内、県外ともに「とても感じている」が高く、県内は 31.9%、県外は 37.0%となっている。

図 3-4 【居住圏域別】 岐阜県への愛着や親しみ



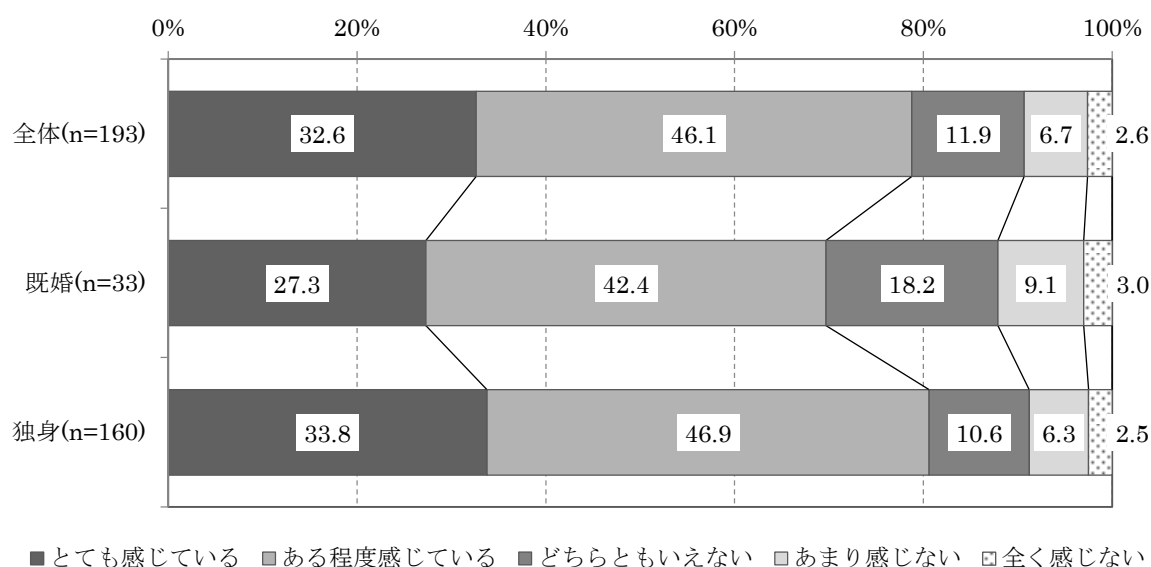
職業別（図 3-5）で見ると、学生、その他の職業は「とても感じている」が最も高く、そのうち学生は42.4%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「ある程度感じている」が57.1%と最も高くなっている。

図 3-5 【職業別】 岐阜県への愛着や親しみ



婚姻の状況別（図 3-6）で見ると、既婚、独身ともに「ある程度感じている」が最も高く、既婚は42.4%、独身は46.9%となっている。次いで既婚、独身ともに「とても感じている」が高く、既婚は27.3%、独身は33.8%となっている。

図 3-6 【婚姻の状況別】 岐阜県への愛着や親しみ



#### 問4 岐阜県の魅力

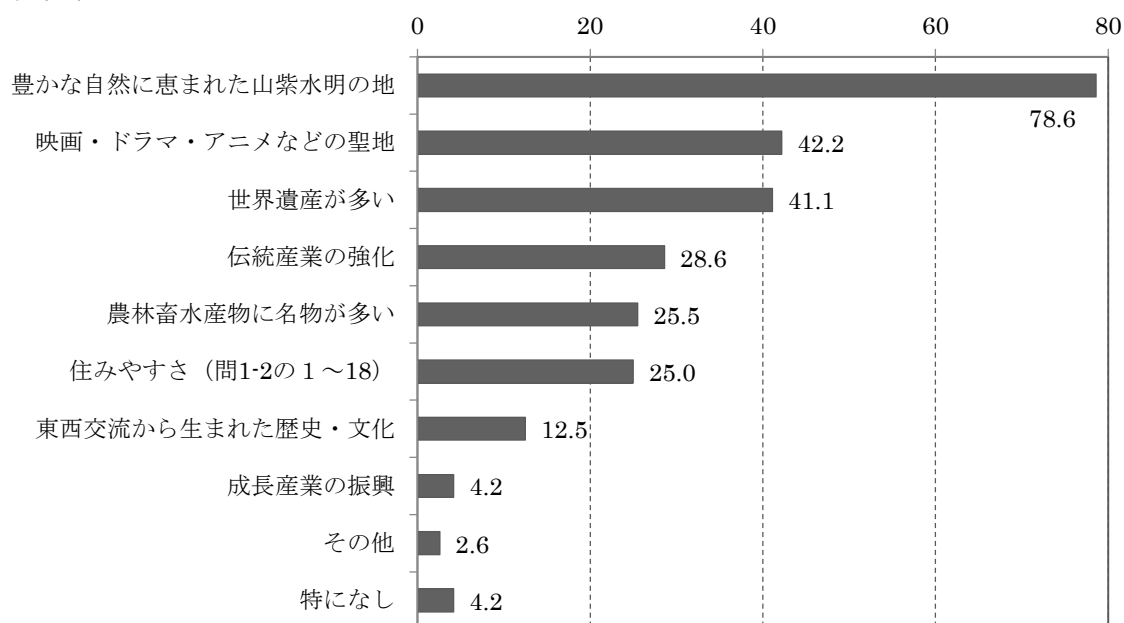
問4 あなたが、岐阜県の魅力として友人や知人に自慢できるものは何ですか。  
(3つまで)

全体（図4-1）でみると、「豊かな自然に恵まれた山紫水明の地」が78.6%と最も高く、次いで「映画・ドラマ・アニメなどの聖地」が42.4%、「世界遺産が多い」が41.1%の順となっている。

図4-1 岐阜県の魅力

回答者数(n=192)※

総回答数(N=508)



※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のものについて括弧書きを略して表示している。

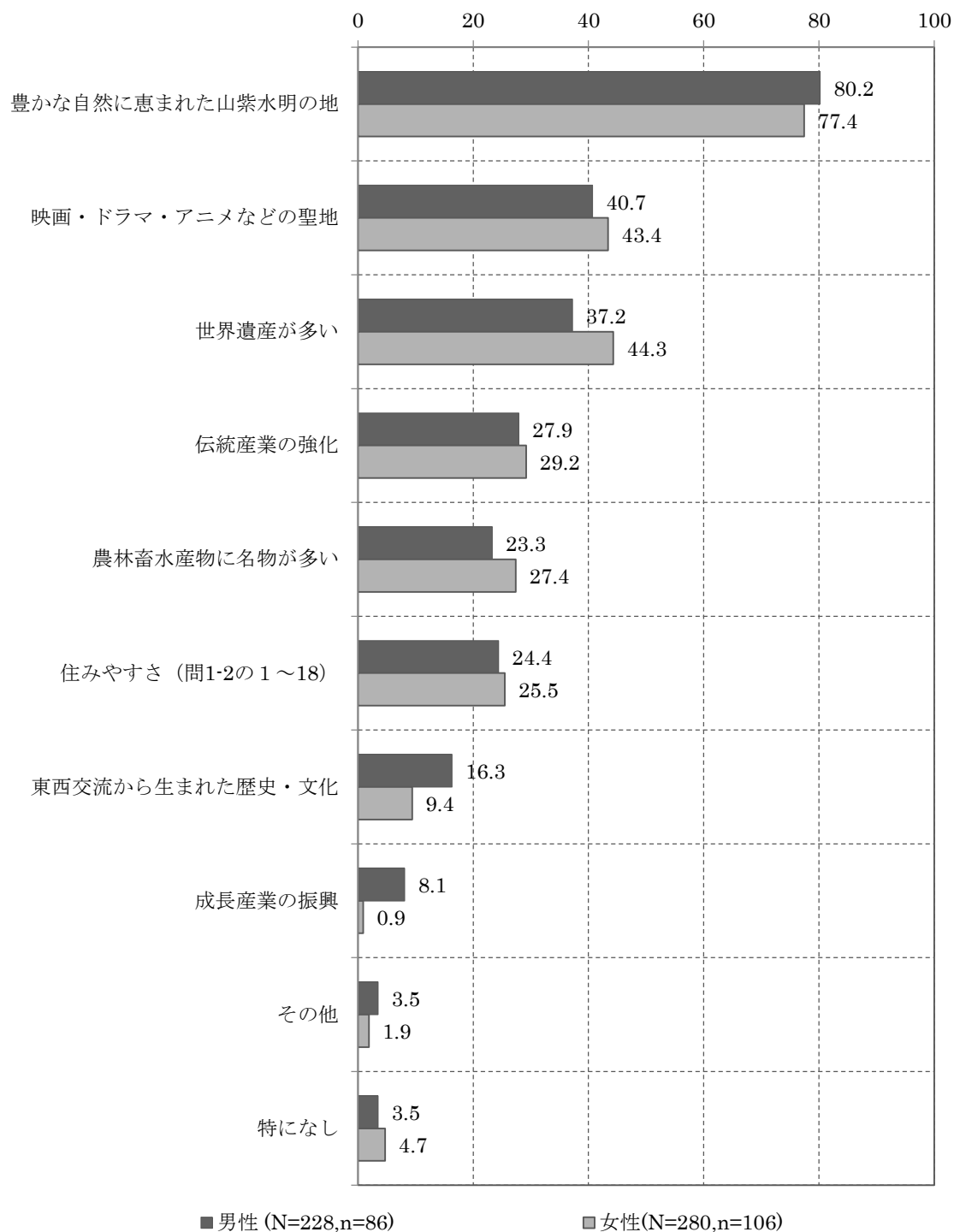
- ・豊かな自然に恵まれた山紫水明の地（北アルプス、木曾三川など）
- ・世界遺産が多い（白川郷合掌造り集落、本美濃紙、山・鉾・屋台行事、清流長良川の鮎、曾代用水）
- ・成長産業の振興（航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、次世代エネルギーなど）
- ・伝統産業の強化（木工、美濃和紙、刃物、陶磁器など）
- ・東西交流から生まれた歴史・文化（古戦場、伝統的町並みなど）
- ・映画・ドラマ・アニメなどの聖地（君の名は。、ルドルフとイッパイアッテナ、聲の形、のうりん、氷菓など）
- ・農林畜水産物に名物が多い（飛騨牛、柿、鮎など）

※「その他」の内容

- ・まちづくり界隈の人材の豊かさなど人の魅力。
- ・愛知県に隣接していることもあり、46都道府県の中でも収入が多い。
- ・大垣の湧き水。
- ・濃尾平野のへりであり、ここから南が海までずっと平らな土地で隅々まで人が住んでいると考えるとワクワクする点。
- ・人が良い。

性別（図 4-2）で見ると、男女ともに「豊かな自然に恵まれた山紫水明の地」が最も高く、男性は 80.2%、女性は 77.4%となっている。次いで男性は「映画・ドラマ・アニメなどの聖地」が 40.7%、女性は「世界遺産が多い」が 44.3%となっている。

図 4-2 【性別】 岐阜県の魅力

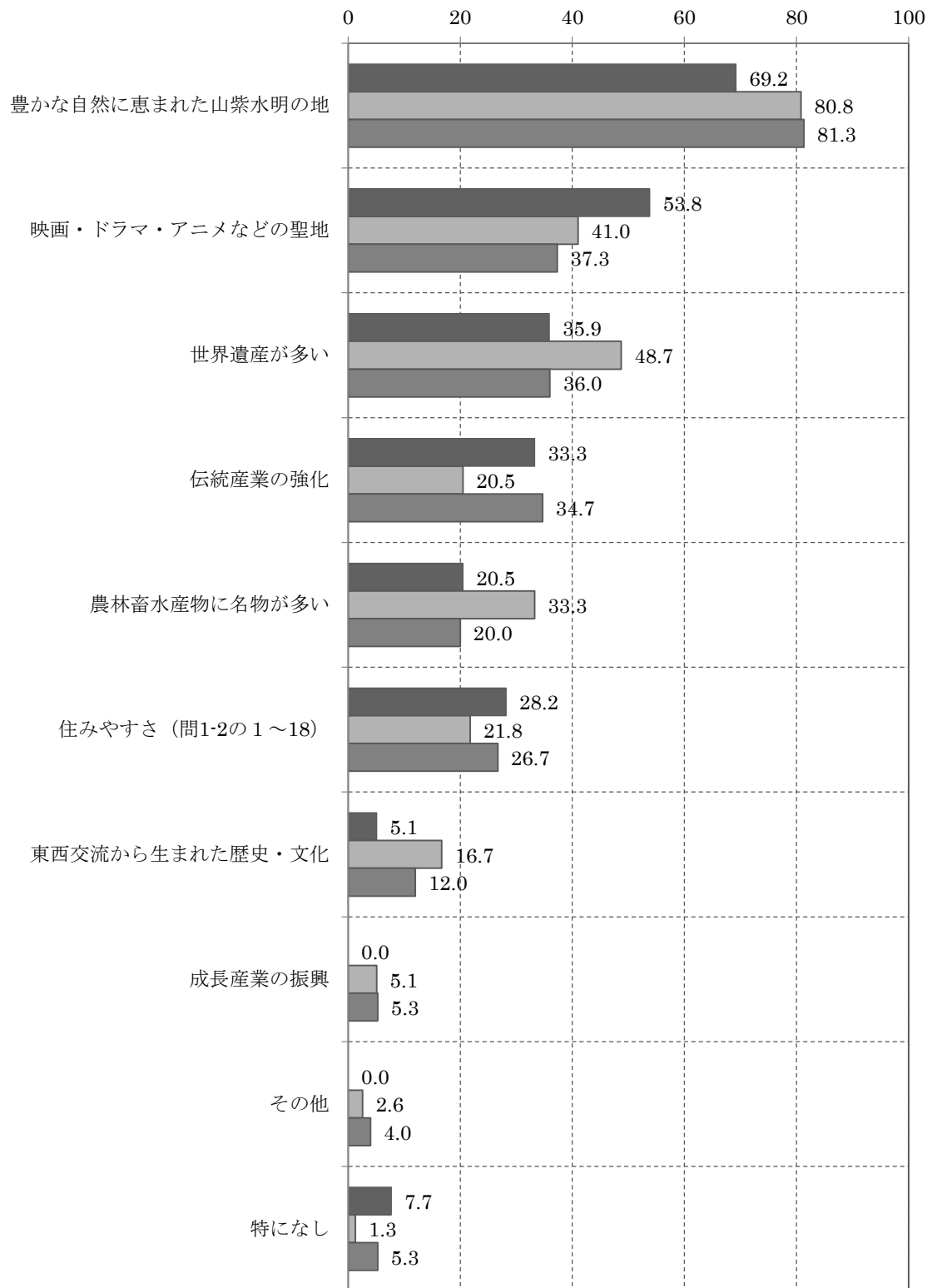


※ N=総回答数 n=回答者数



年代別（図 4-3）で見ると、いずれの年代においても「豊かな自然に恵まれた山紫水明の地」が最も高く、18歳または19歳は69.2%、20歳から24歳は80.8%、25歳から29歳は81.3%となっている。

図 4-3 【年代別】 岐阜県の魅力

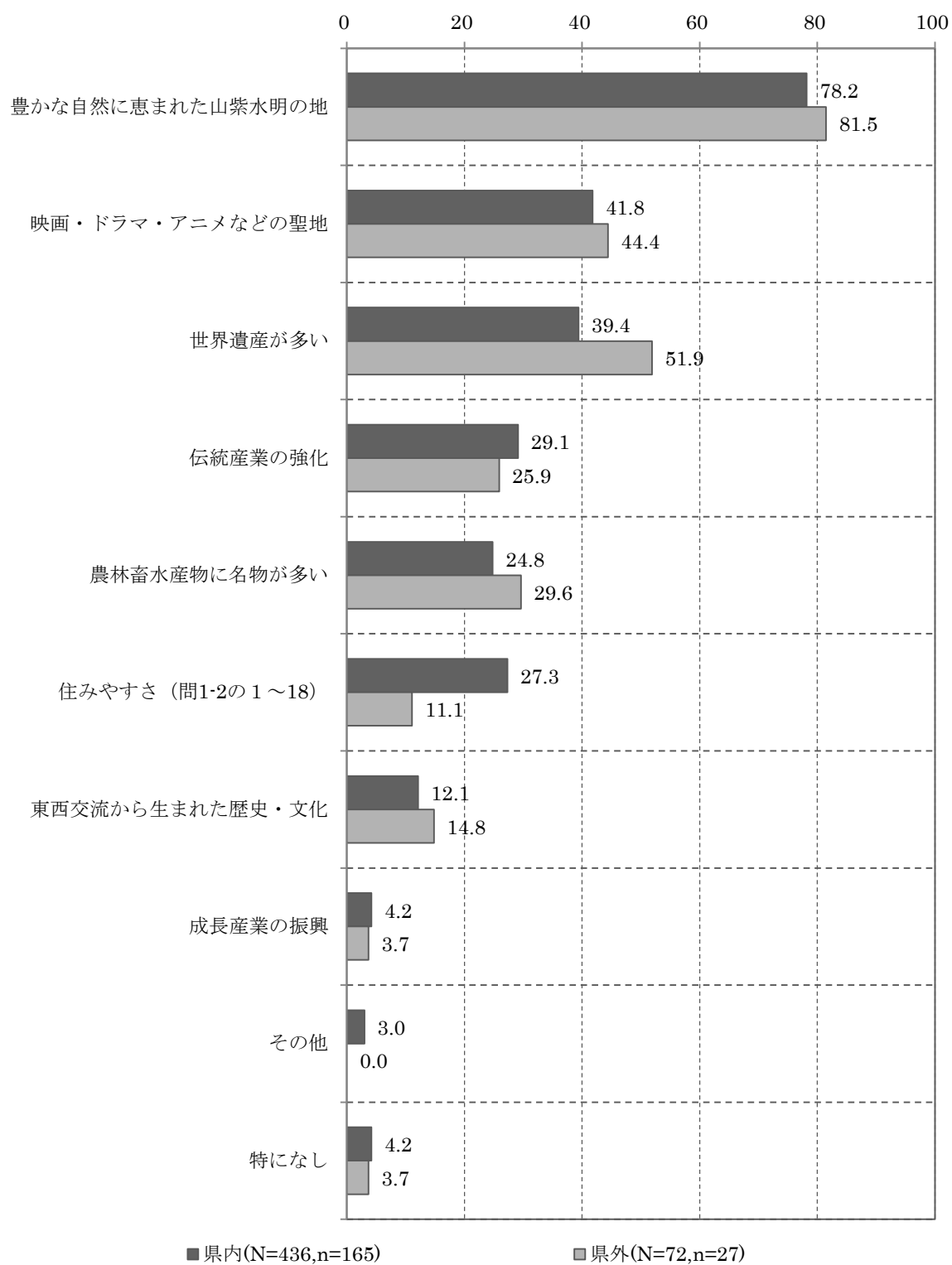


■ 18歳または19歳(N=99,n=39) □ 20歳から24歳(N=212,n=78) ■ 25歳から29歳(N=197,n=75)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 4-4）で見ると、県内、県外ともに「豊かな自然に恵まれた山紫水明の地」が最も高く、県内は78.2%、県外は81.5%となっている。次いで県内は「映画・ドラマ・アニメなどの聖地」が41.8%、県外は「世界遺産が多い」が51.9%となっている。

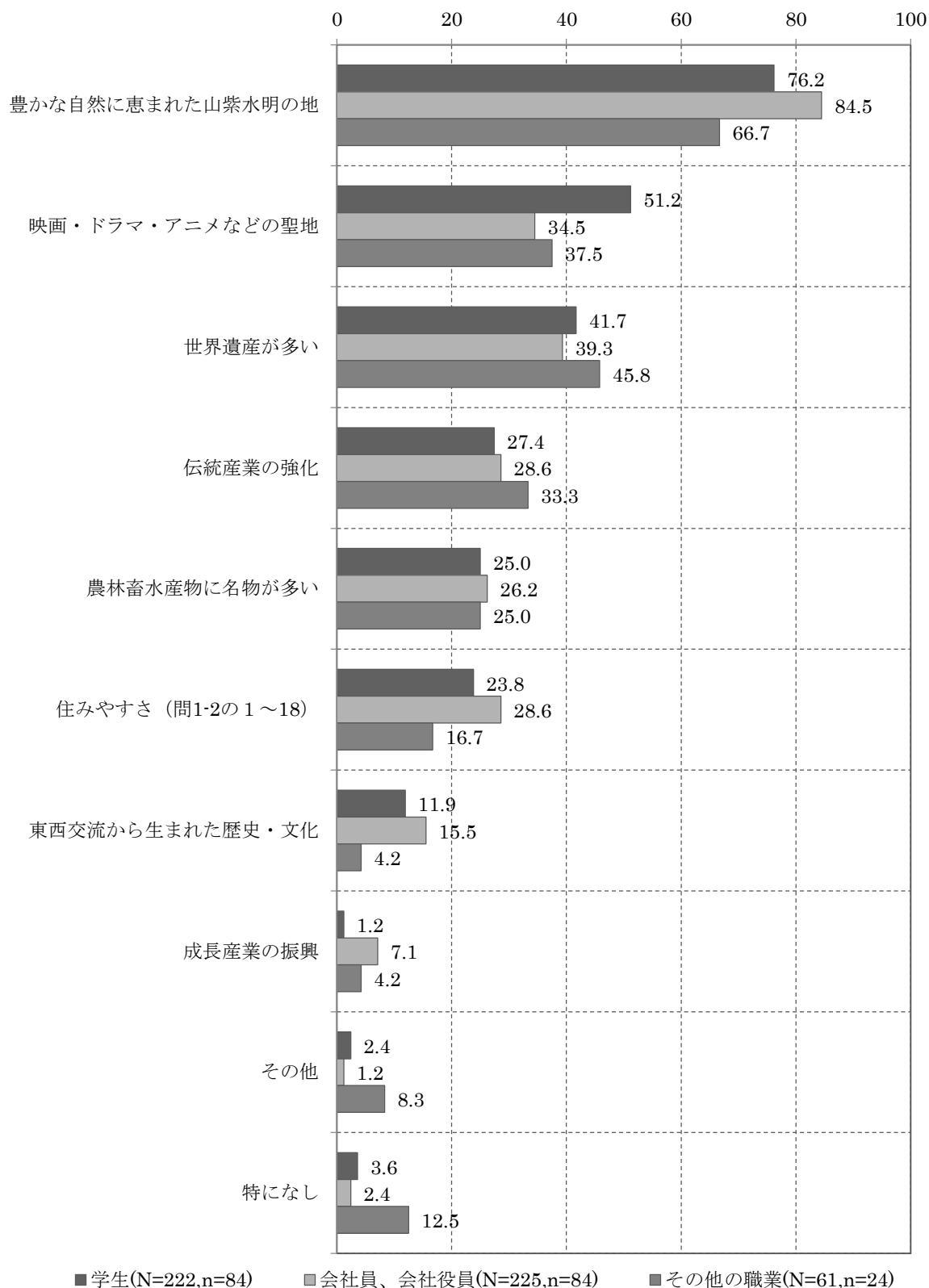
図 4-4 【居住圏域別】 岐阜県の魅力



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 4-5）で見ると、いずれの職業においても「豊かな自然に恵まれた山紫水明の地」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 84.5%と最も高くなっている。

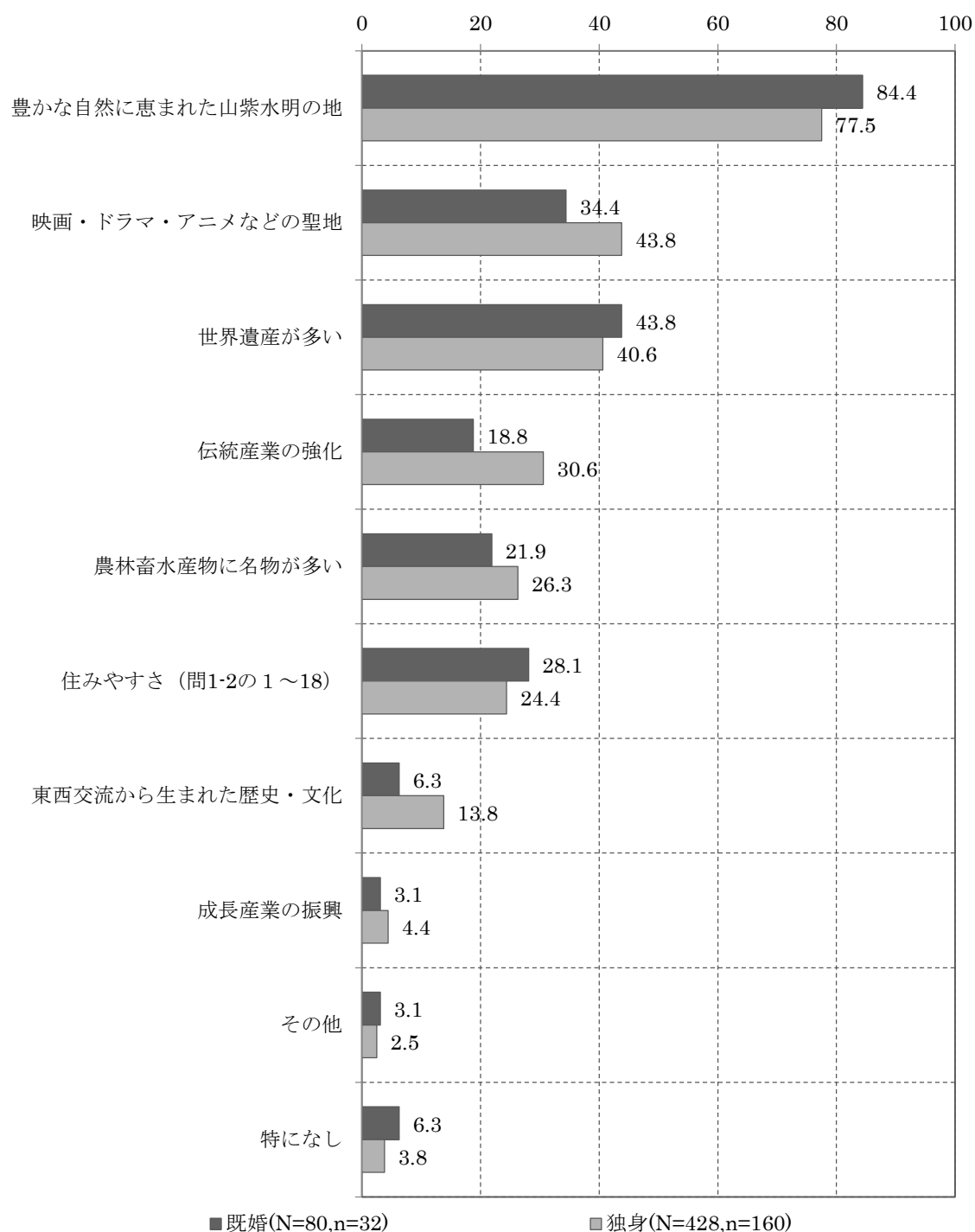
図 4-5 【職業別】 岐阜県の魅力



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 4-6）で見ると、既婚、独身ともに「豊かな自然に恵まれた山紫水明の地」が最も高く、既婚は 84.4%、独身は 77.5%となっている。次いで既婚は「世界遺産が多い」が 43.8%、独身は「映画・ドラマ・アニメなどの聖地」が 43.8%となっている。

図 4-6 【婚姻の状況別】 岐阜県の魅力



※ N=総回答数 n=回答者数

問5 岐阜県のイメージ

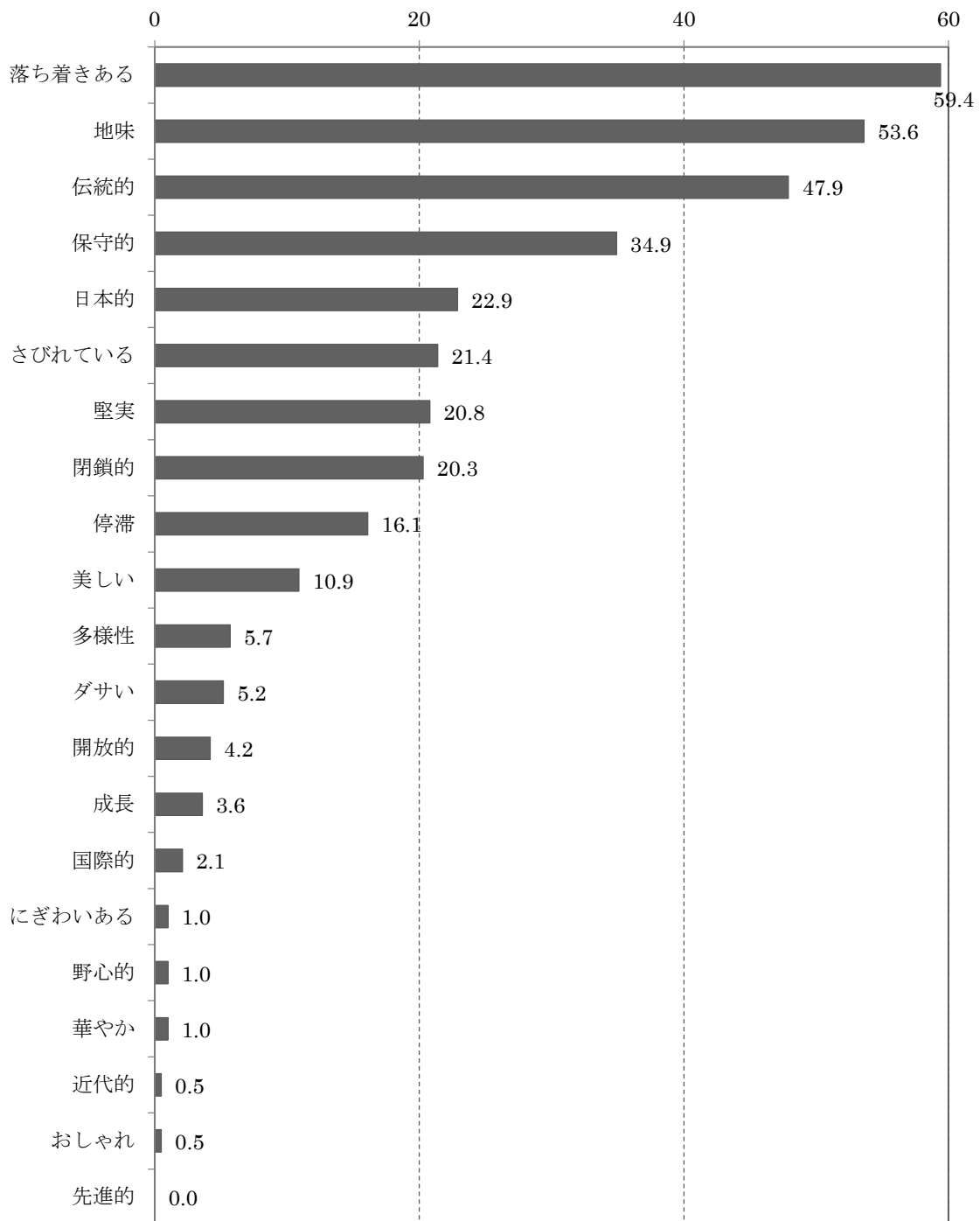
問5 あなたは、岐阜県にどんなイメージをお持ちですか。(いくつでも)

全体(図5-1)で見ると、「落ち着きある」が59.4%と最も高くなっており、次いで「地味」が53.6%、「伝統的」が47.9%となっている。

図5-1 岐阜県のイメージ

回答者数(n=192)※

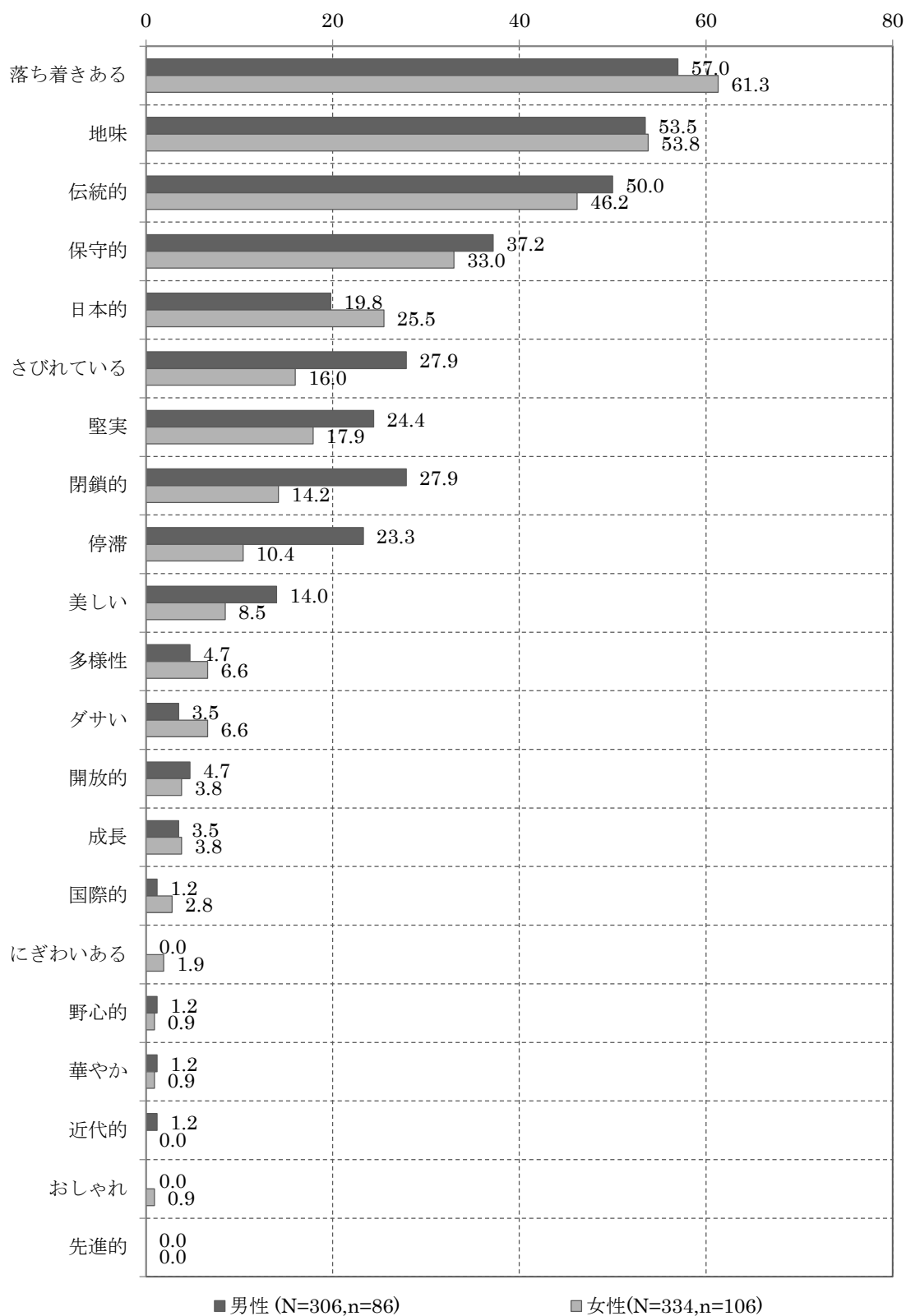
総回答数(N=640)



※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

性別（図 5-2）で見ると、男女ともに「落ち着きある」が最も高く、男性は 57.0%、女性 は 61.3%となっている。次いで男女ともに「地味」が高く、男性は 53.5%、女性 は 53.8%となっている。

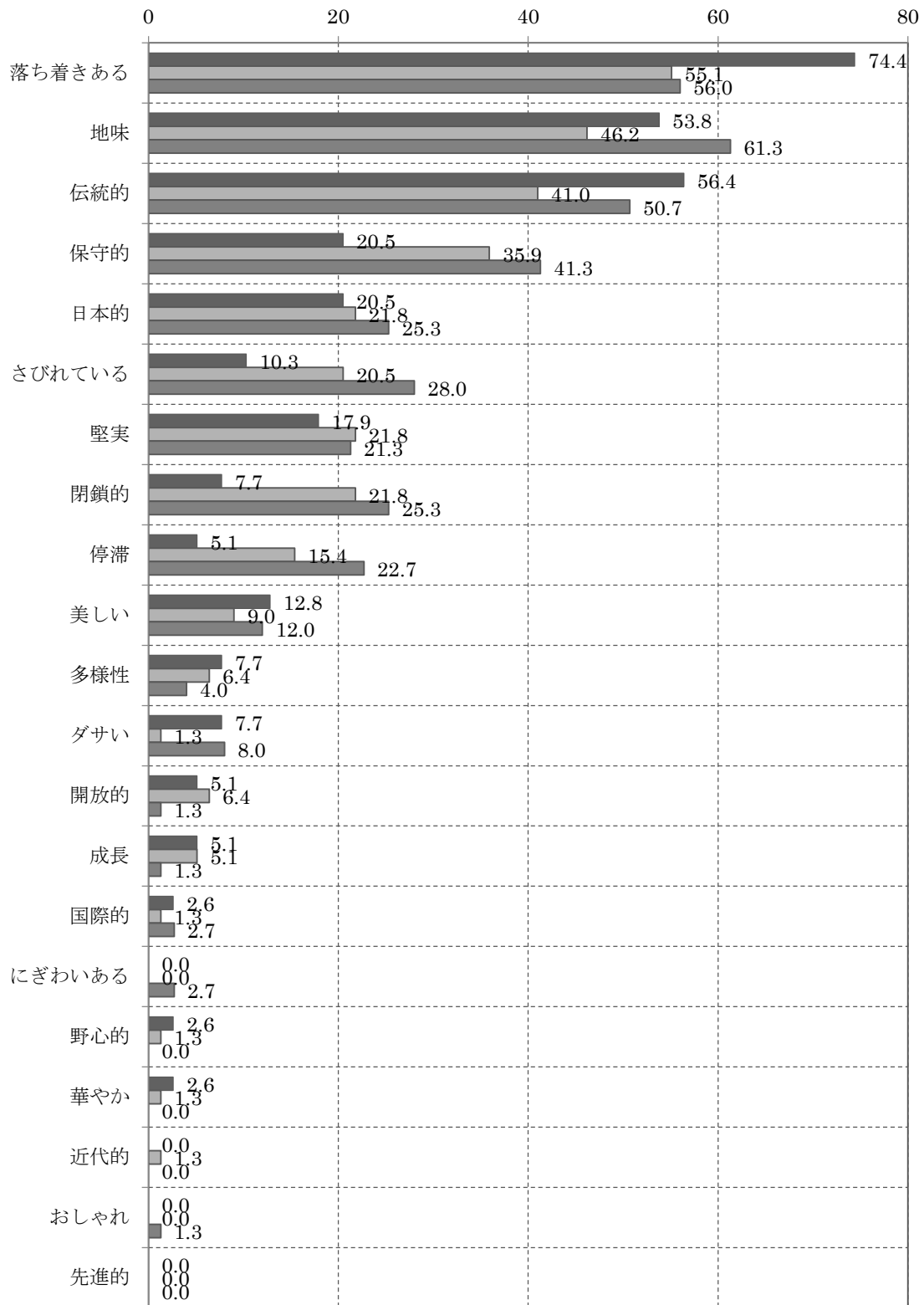
図 5-2 【性別】 岐阜県のイメージ



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 5-3）で見ると、18 歳から 24 歳までは「落ち着きある」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 74.4%と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「地味」が 61.3%と最も高くなっている。

図 5-3 【年代別】 岐阜県のイメージ

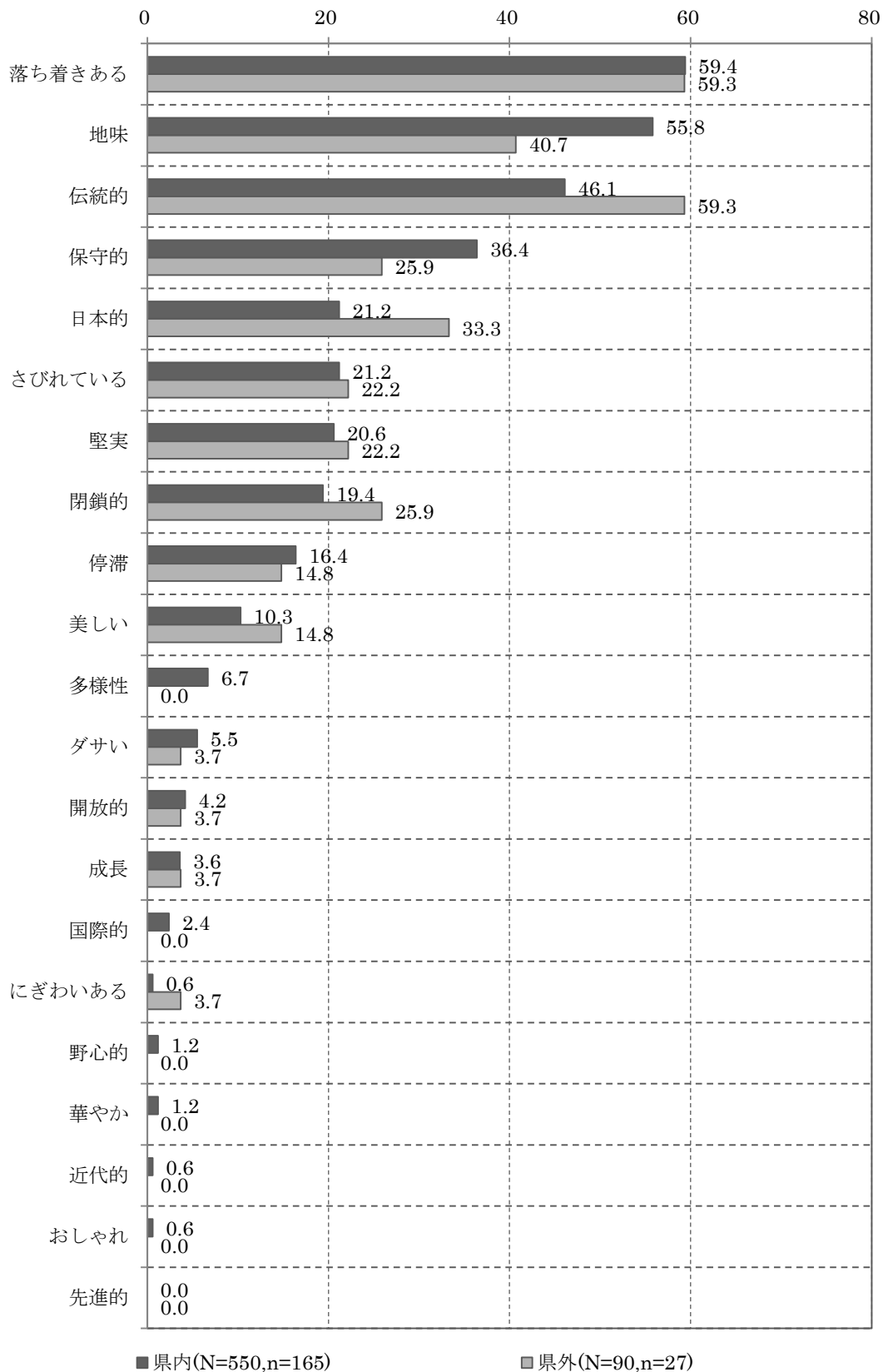


■ 18歳または19歳(N=122,n=39)   ■ 20歳から24歳(N=244,n=78)   ■ 25歳から29歳(N=274,n=75)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 5-4）でみると、県内、県外ともに「落ち着きある」が最も高く、県内は 59.4%、県外は 59.3%となっている。県外は「伝統的」も 59.3%と最も高くなっている。

図 5-4 【居住圏域別】 岐阜県のイメージ

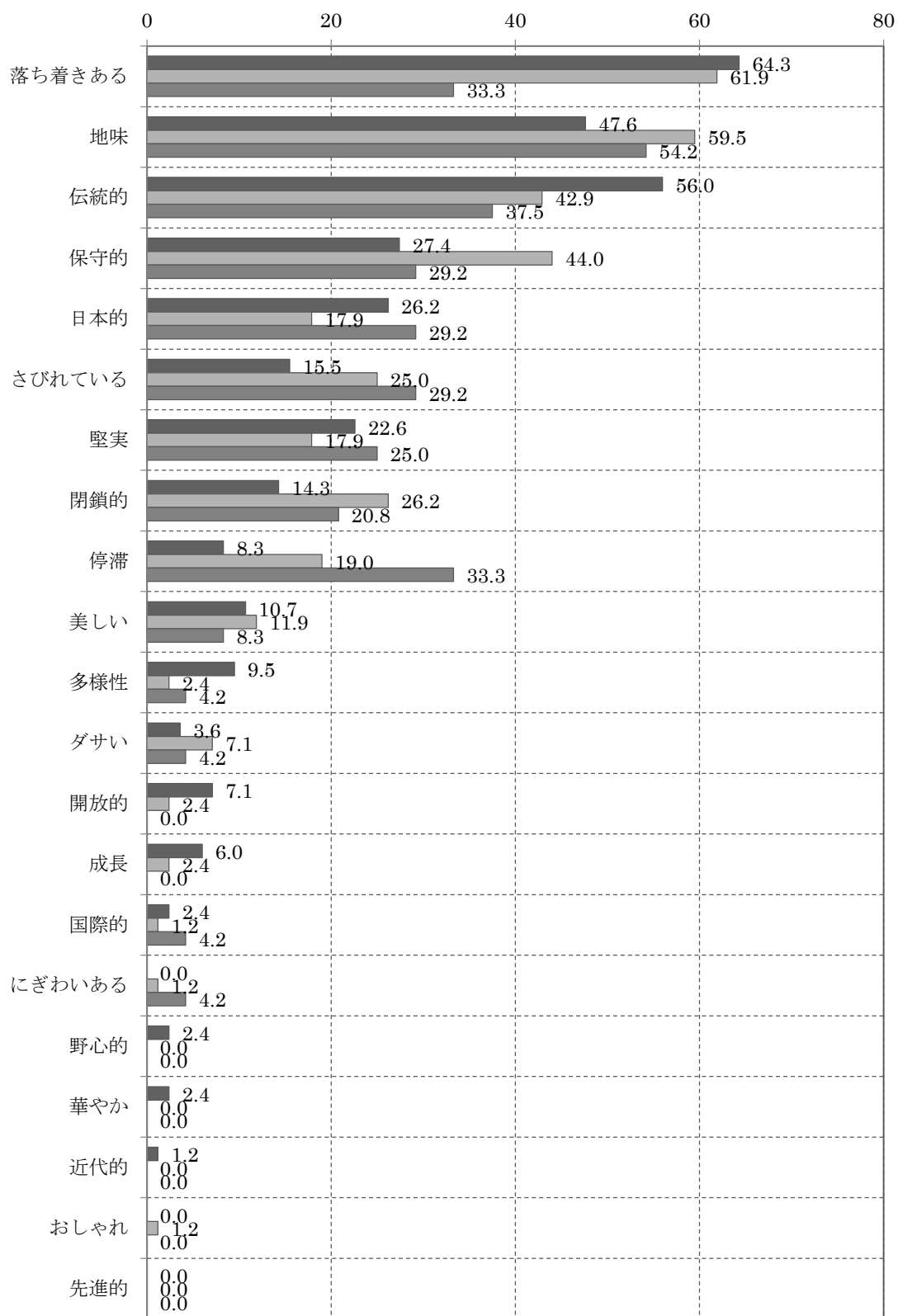


※ N=総回答数 n=回答者数



職業別（図 5-5）でみると、学生、会社員、会社役員は「落ち着きある」が最も高く、学生は 64.3%、会社員、会社役員は 61.9%となっている。その他職業は「地味」が 54.2%と最も高くなっている。

図 5-5 【職業別】 岐阜県のイメージ

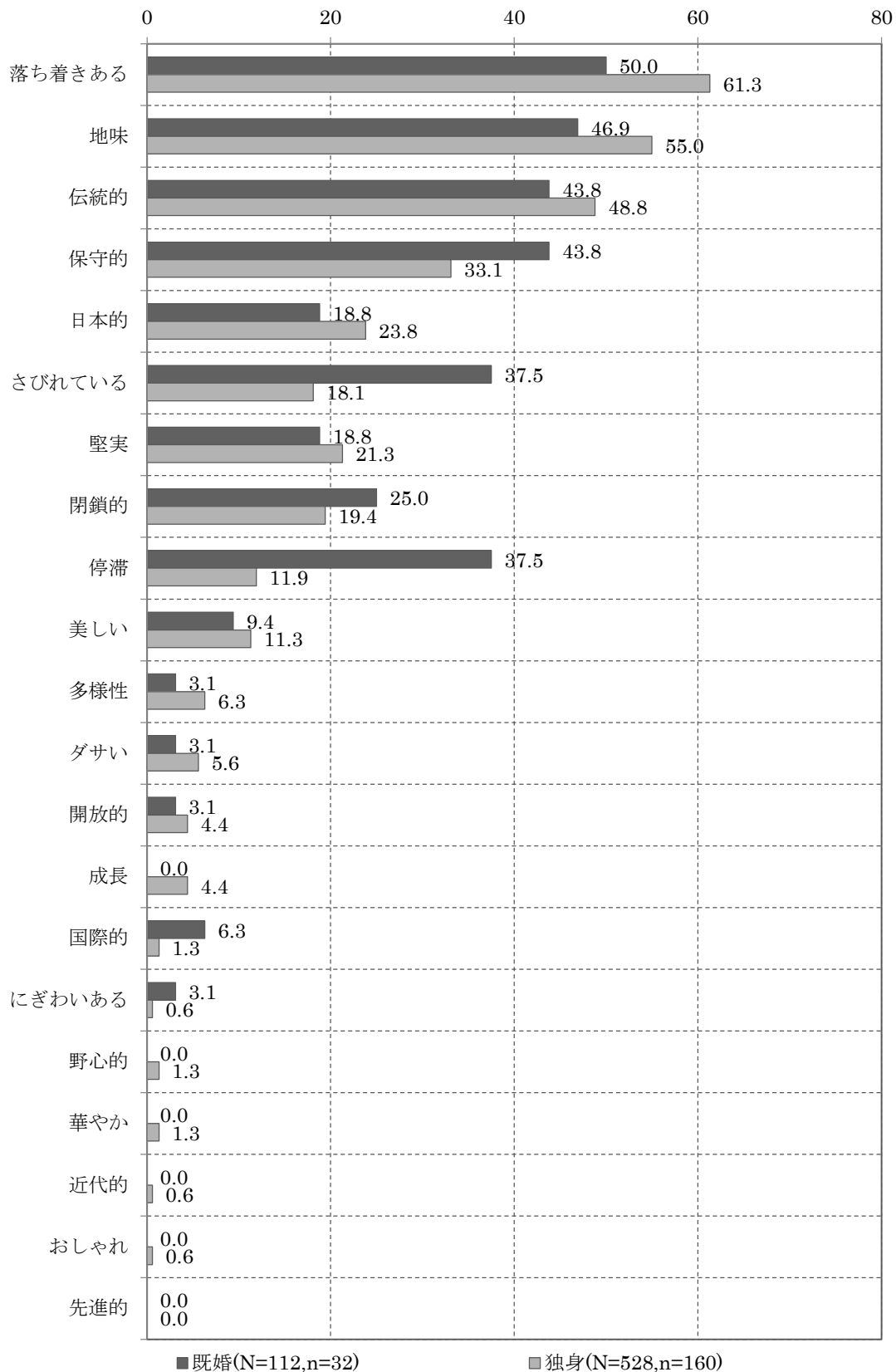


■学生(N=275,n=84) ■会社員、会社役員(N=289,n=84) ■その他の職業(N=76,n=24)

※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 5-6）でみると、既婚、独身ともに「落ち着きある」が最も高く、既婚は 50.0%、独身は 61.3%となっている。

図 5-6 【婚姻の状況別】 岐阜県のイメージ



※ N=総回答数 n=回答者数

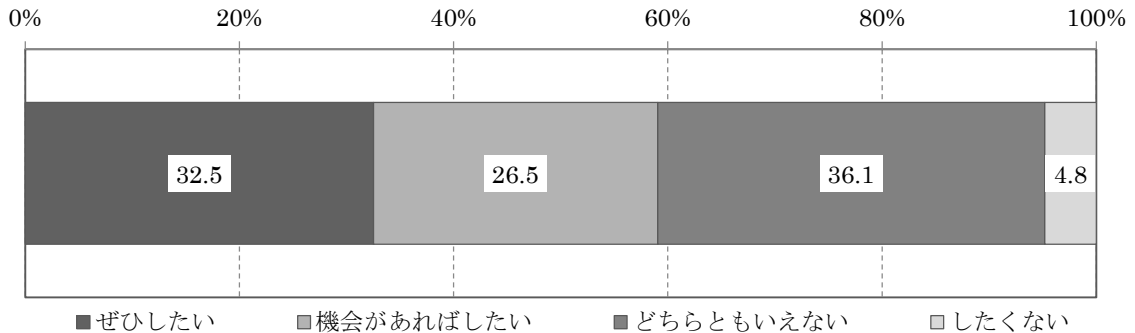
## 問6 将来岐阜県で就職したいか

問6 現在、岐阜県内で就職している方以外にお尋ねします。  
将来岐阜県で就職したいと思いますか。(1つだけ)

全体(図6-1)で見ると、「どちらともいえない」が36.1%と最も高く、次いで「ぜひしたい」が32.5%、「機会があればしたい」が26.5%、「したくない」が4.8%の順となっている。

図6-1 将来岐阜県で就職したいか

回答者数(n=83)

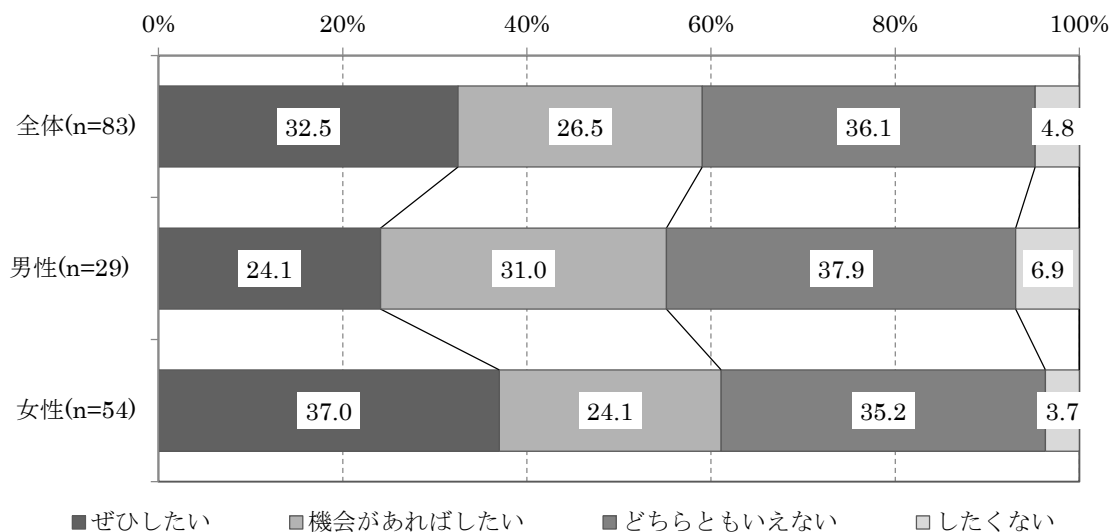


※現在、岐阜県内で就職している方以外のみ  
※「したくない」の理由

- ・自分の就きたい職業の選択肢が少ない。
- ・地元に戻るから。
- ・名古屋の方が人が集まっていて活気がある。
- ・岐阜県より名古屋の方が仕事のやりがいやチャンス、出会いなどが多い気がする。

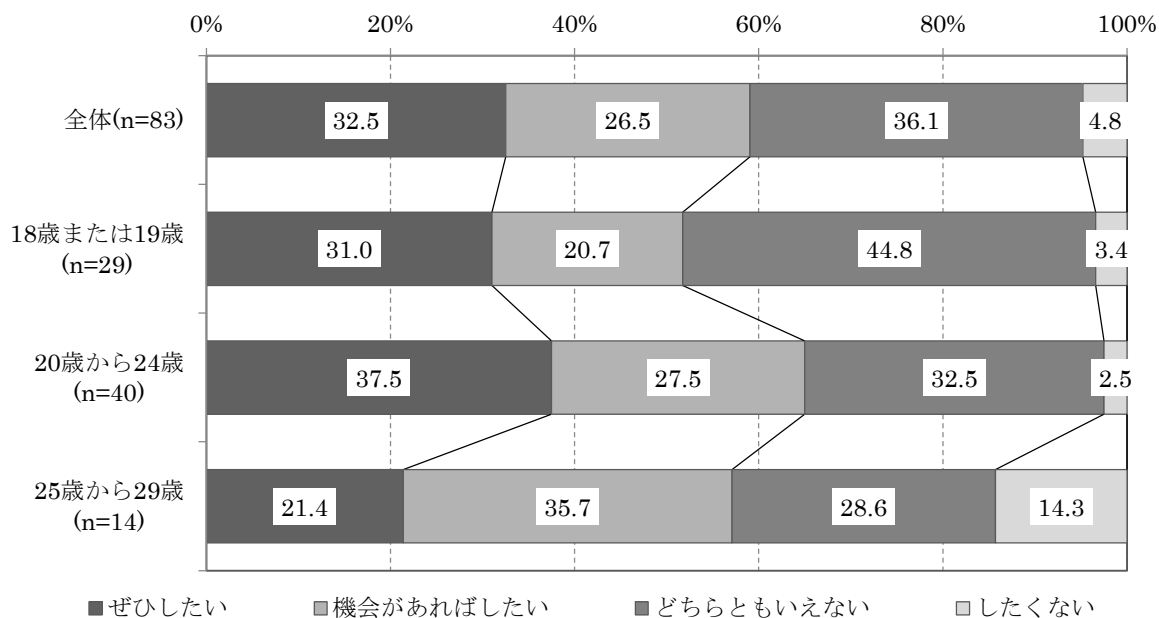
性別(図6-2)で見ると、男性は「どちらともいえない」が37.9%と最も高く、女性は「ぜひしたい」が37.0%と最も高くなっている。

図6-2【性別】将来岐阜県で就職したいか



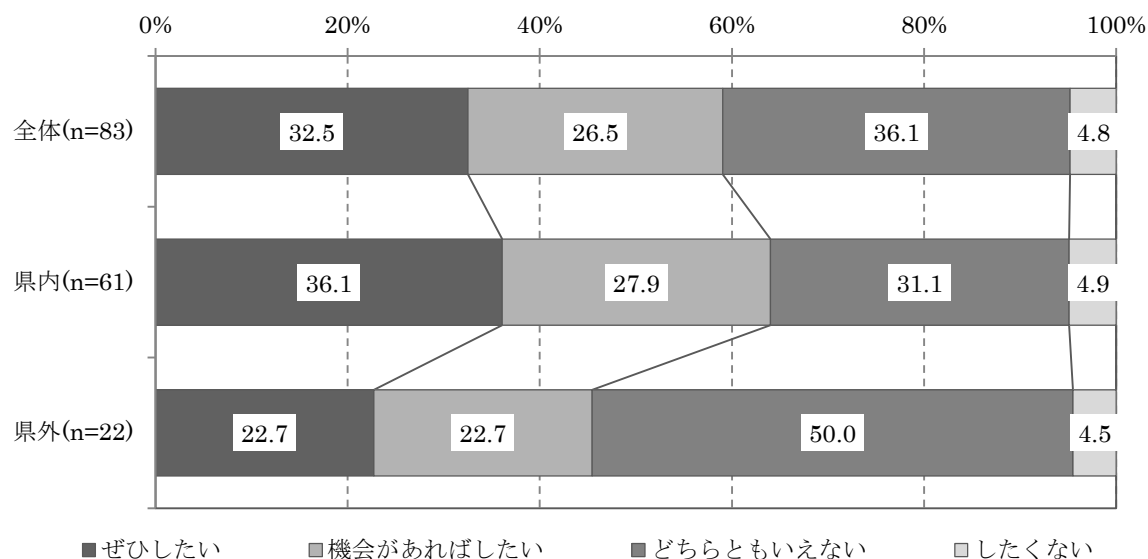
年代別（図 6-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「どちらともいえない」が 44.8%、20 歳から 24 歳は「ぜひしたい」が 37.5%、25 歳から 29 歳は「機会があればしたい」が 35.7% とそれぞれ最も高くなっている。20 歳から 24 歳は「ぜひしたい」と「機会があればしたい」の合計が 60%を超えている。

図 6-3 【年代別】 将来岐阜県で就職したいか



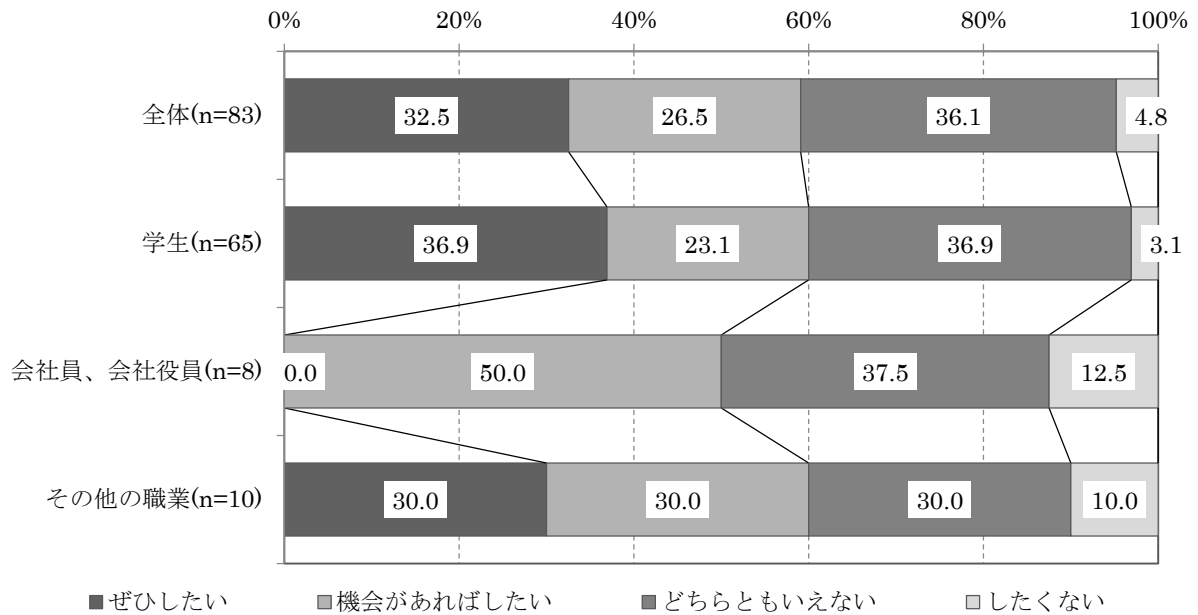
居住圏域別（図 6-4）で見ると、県内は「ぜひしたい」が 36.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.1%、「機会があればしたい」が 27.9%の順になっている。県外では「どちらともいえない」が 50.0%と最も高くなっている。

図 6-4 【居住圏域別】 将来岐阜県で就職したいか



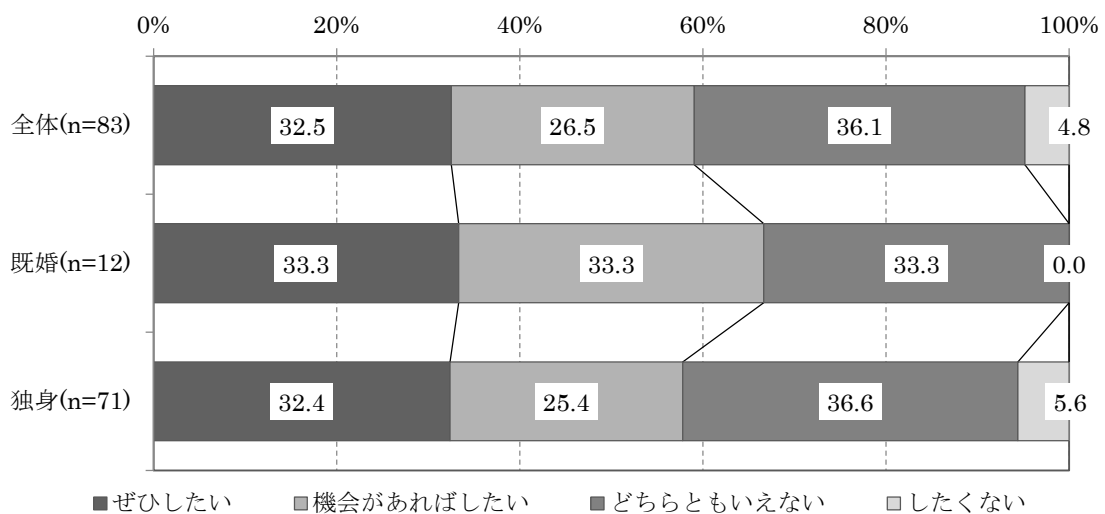
職業別（図 6-5）で見ると、いずれの職業においても「ぜひしたい」「機会があればしたい」の合計が50%を超えている。そのうち、学生は「ぜひしたい」が36.9%、「機会があればしたい」が23.1%となっている。

図 6-5 【職業別】 将来岐阜県で就職したいか



婚姻の状況別（図 6-6）で見ると、既婚、独身ともに「いずれにおいてもぜひしたい」「機会があればしたい」の合計が50%を超えている。そのうち、既婚は「ぜひしたい」「機会があればしたい」がともに33.3%となっており、その合計が60%を超えている。

図 6-6 【婚姻の状況別】 将来岐阜県で就職したいか



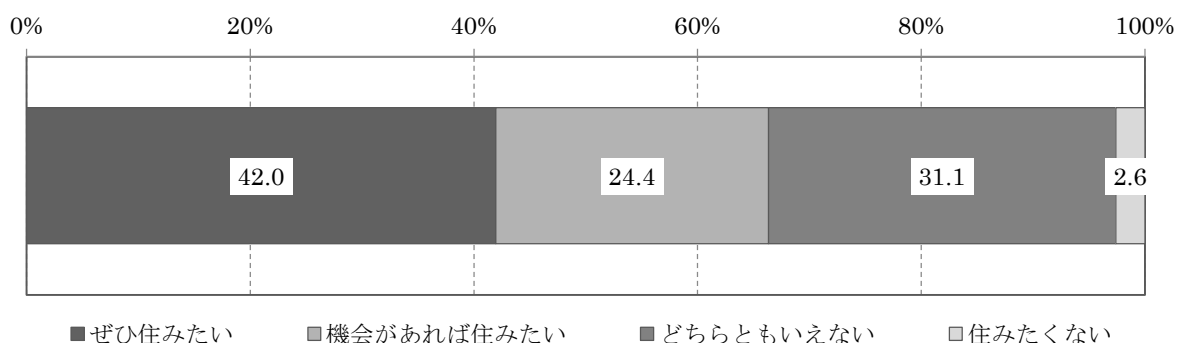
## 問7 将来岐阜県に住みたいか

問7 すべての方にお尋ねします。  
将来岐阜県に住みたいと思いますか。(1つだけ)

全体(図7-1)で見ると、「ぜひ住みたい」が42.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.1%、「機会があれば住みたい」が24.4%、「住みたくない」が2.6%の順となっている。

図7-1 将来岐阜県に住みたいか

回答者数(n=193)

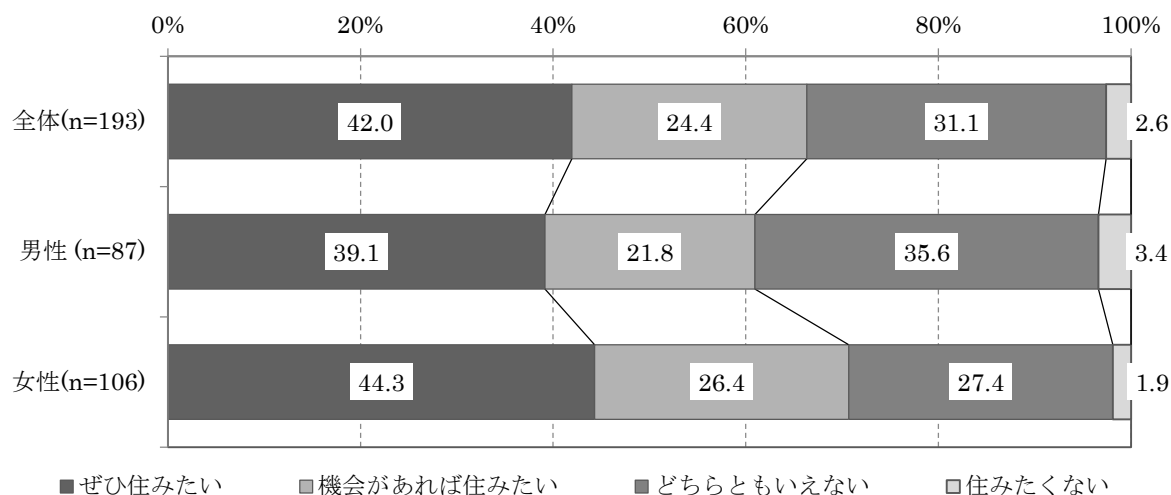


※「住みたくない」の理由

- ・地元に戻るから。
- ・地元は十分味わったので別の場所で暮らしたい。岐阜県はもう地元という位置付けになっている。ただ歳をとったら戻りたくなるかもしれない。
- ・交通の便が悪い。面白いイベントがない。
- ・名古屋市出身であり、名古屋の方が遥かに魅力がある。

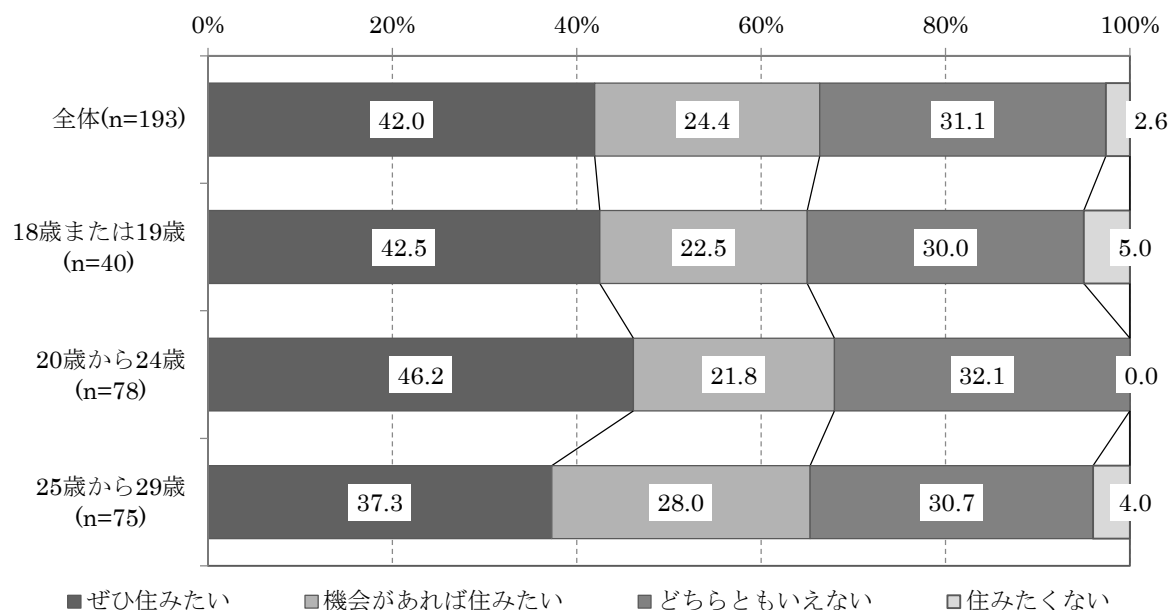
性別(図7-2)で見ると、男女ともに「ぜひ住みたい」が最も高く、男性は39.1%、女性は44.3%となっている。そのうち、女性は「ぜひ住みたい」「機会があれば住みたい」の合計が70%を超えている。

図7-2【性別】 将来岐阜県に住みたいか



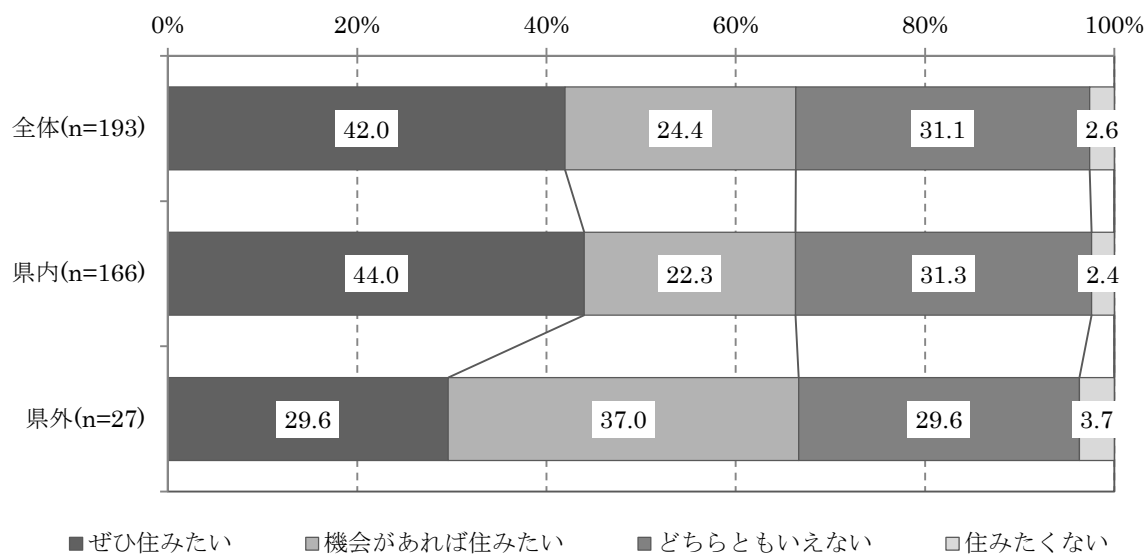
年代別（図 7-3）で見ると、いずれの年代においても「ぜひ住みたい」が最も高く、そのうち 20 歳から 24 歳は 46.2%と最も高くなっている。またいずれの年代においても「ぜひ住みたい」「機会があれば住みたい」の合計が 60%を超えている。

図 7-3 【年代別】 将来岐阜県に住みたいか



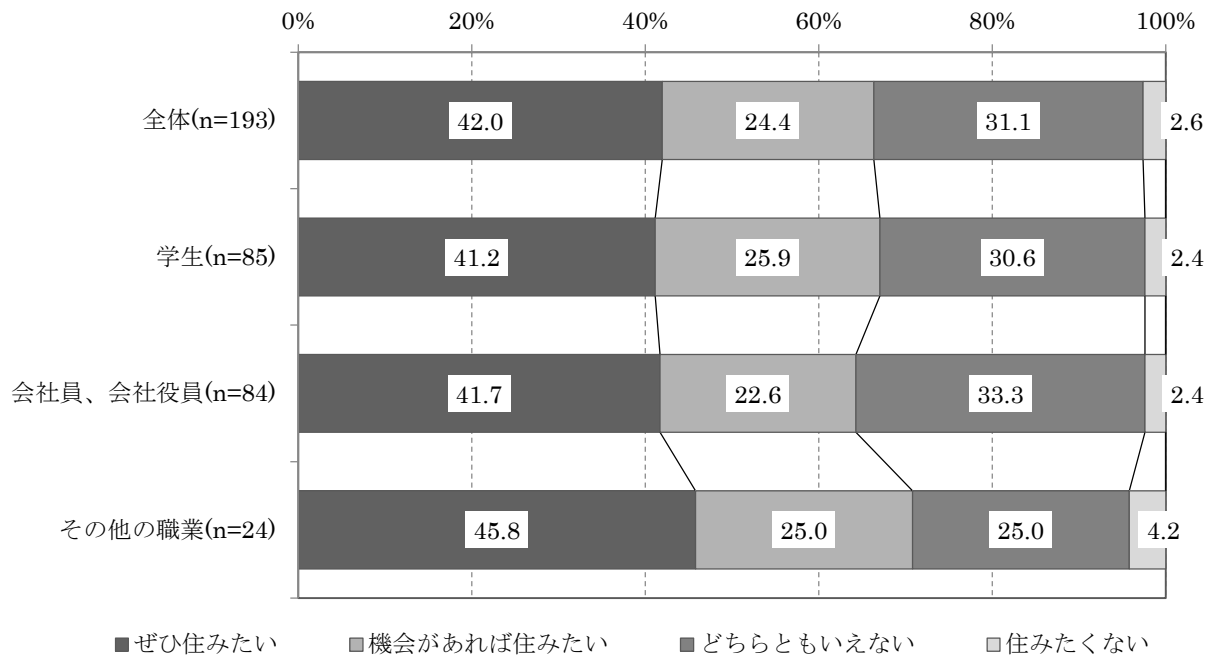
居住圏域別（図 7-4）で見ると、県内は「ぜひ住みたい」が 44.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.3%、「機会があれば住みたい」が 22.3%の順になっている。県外は「機会があれば住みたい」が 37.0%と最も高く、次いで「ぜひ住みたい」「どちらともいえない」がともに 29.6%となっている。

図 7-4 【居住圏域別】 将来岐阜県に住みたいか



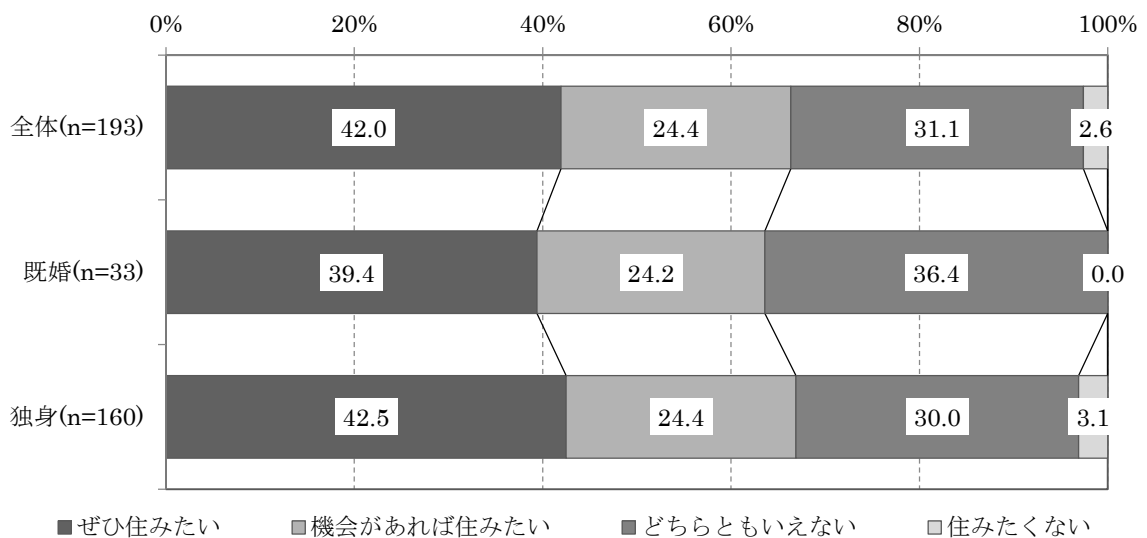
職業別（図 7-5）で見ると、いずれの職業においても「ぜひ住みたい」「機会があれば住みたい」の合計が60%を超えている。そのうちその他の職業は「ぜひ住みたい」「機会があれば住みたい」の合計が70%を超えている。

図 7-5 【職業別】 将来岐阜県に住みたいか



婚姻の状況別（図 7-6）で見ると、既婚、独身ともに「ぜひ住みたい」が最も高く、既婚は39.4%、独身は42.5%となっている。また、既婚、独身ともに「ぜひ住みたい」「機会があれば住みたい」の合計が60%を超えている。

図 7-6 【婚姻の状況別】 将来岐阜県に住みたいか





## 問8 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと

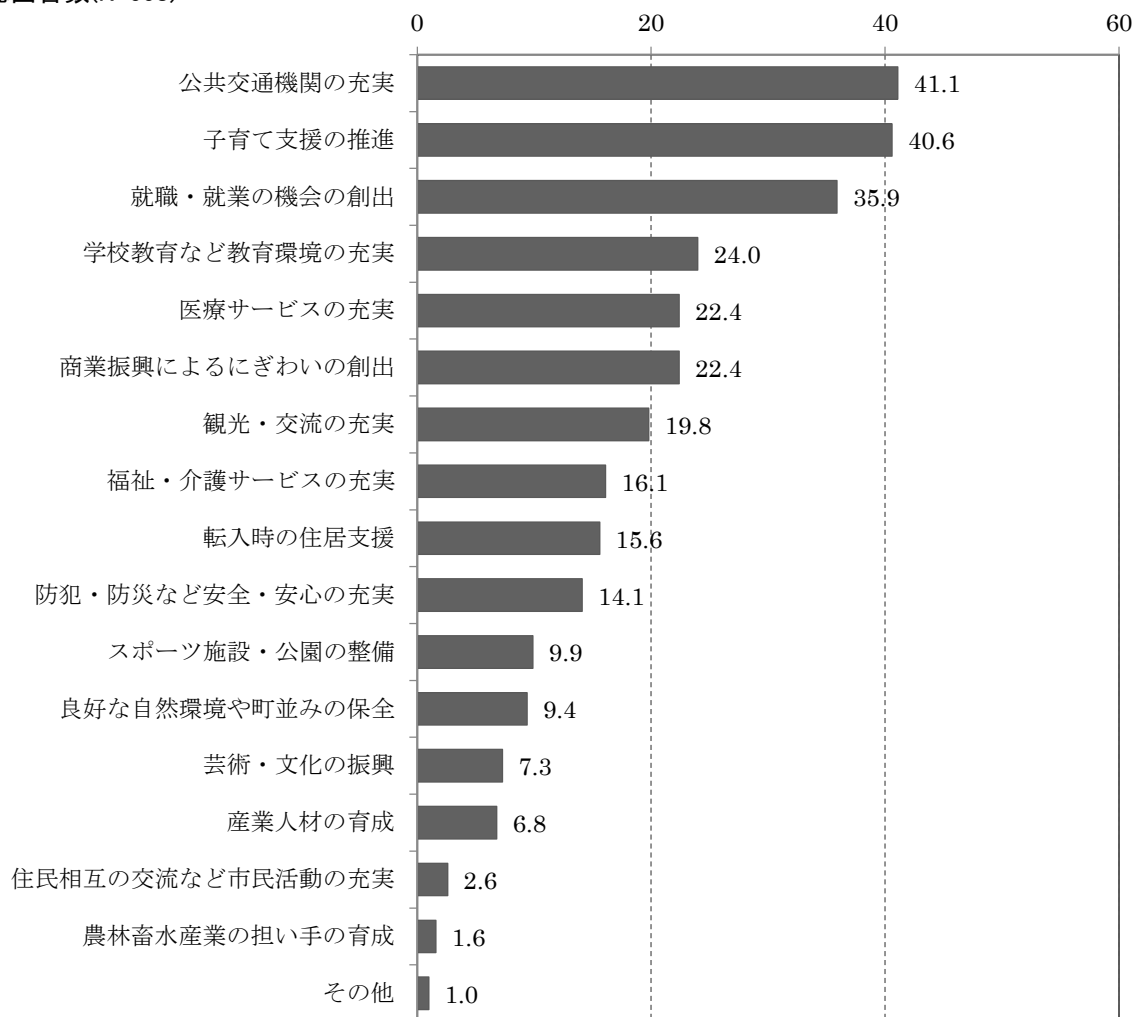
問8 あなたは、岐阜県への移住・定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで)

全体(図8-1)で見ると、「公共交通機関の充実」が41.1%と最も高く、次いで「子育て支援の推進」が40.6%、「就職・就業の機会の創出」が35.9%の順となっている。

図8-1 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと

回答者数(n=192)※

総回答数(N=558)



※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

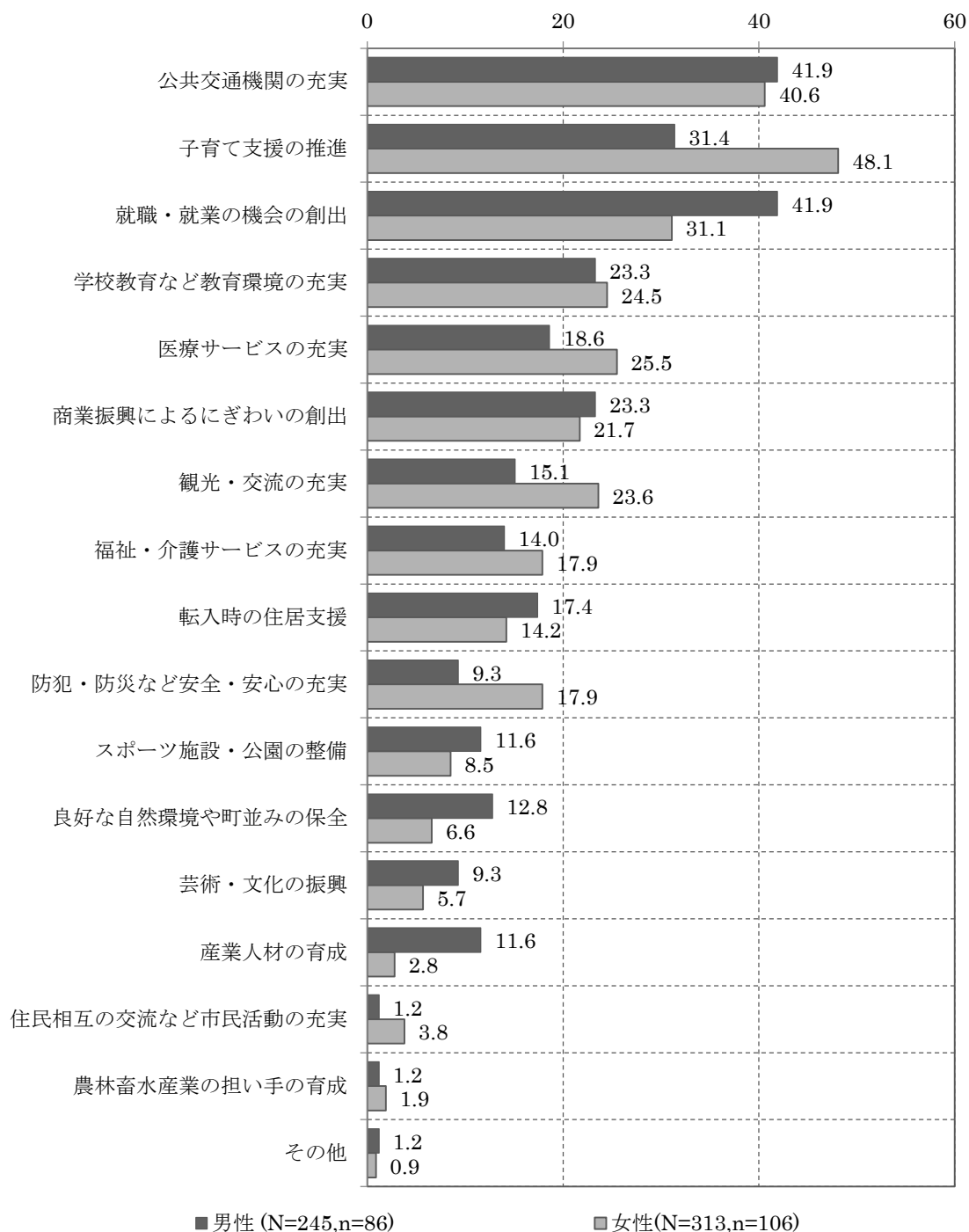
- ・住民相互の交流やボランティアなど市民活動の充実
- ……住民相互の交流など市民活動の充実

※「その他」の内容

- ・中小企業向けに、助成金や法人税率の引き下げを行う。  
この部分で他県企業との競争力を高め、法人所得・個人所得を増加させ税収を増やす。
- ・伝統的な技術(鍛冶や和紙等)の継承と新しい分野への応用。

性別（図 8-2）で見ると、男性は「公共交通機関の充実」「就職・就業の機会の創出」が41.9%と最も高く、女性は「子育て支援の推進」が48.1%と最も高くなっている。

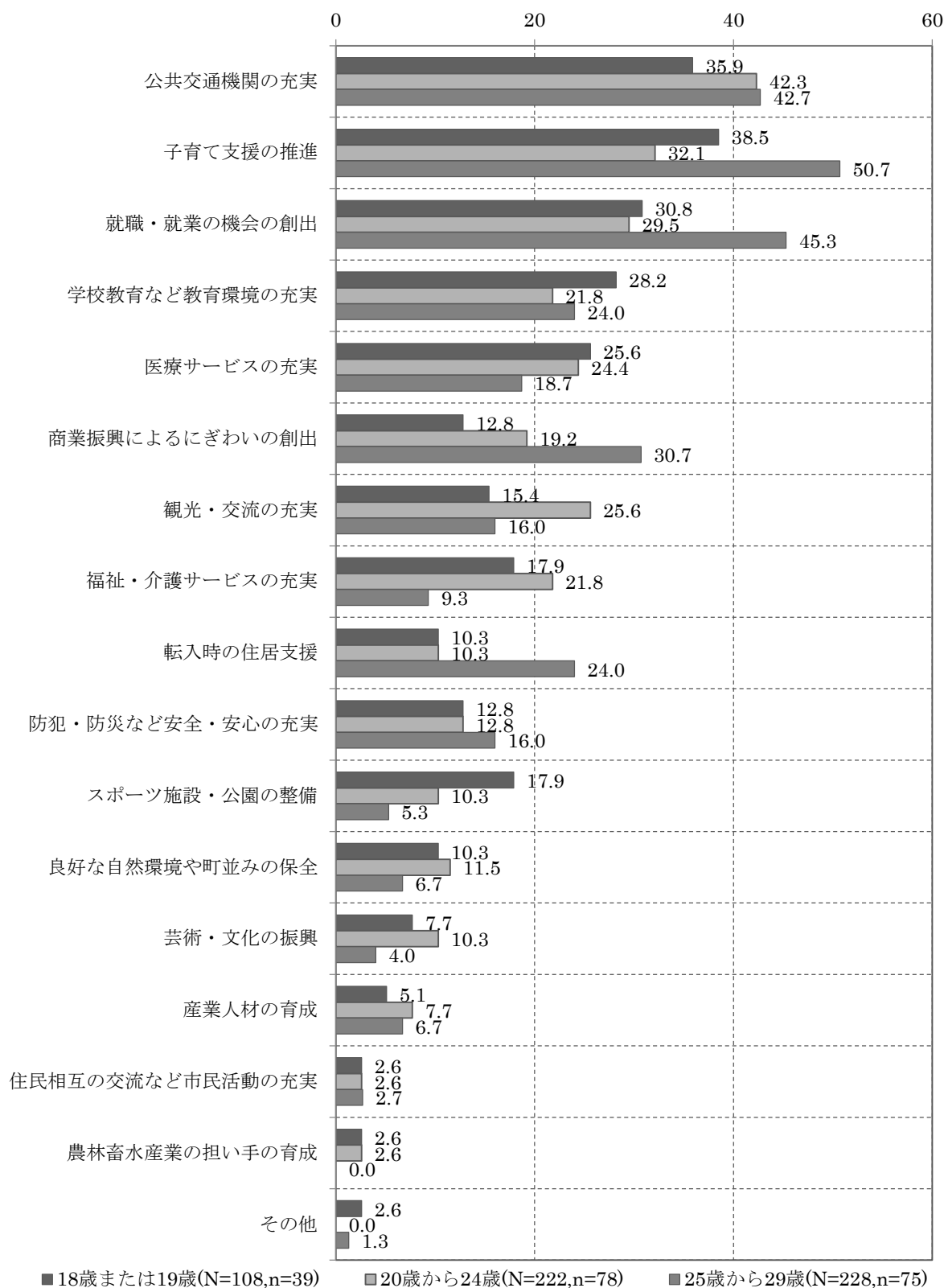
図 8-2 【性別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 8-3）でみると、20 歳から 24 歳を除くいずれの年代においても「子育て支援の推進」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 50.7%と最も高くなっている。20 歳から 24 歳は「公共交通機関の充実」が 42.3%と最も高くなっている。

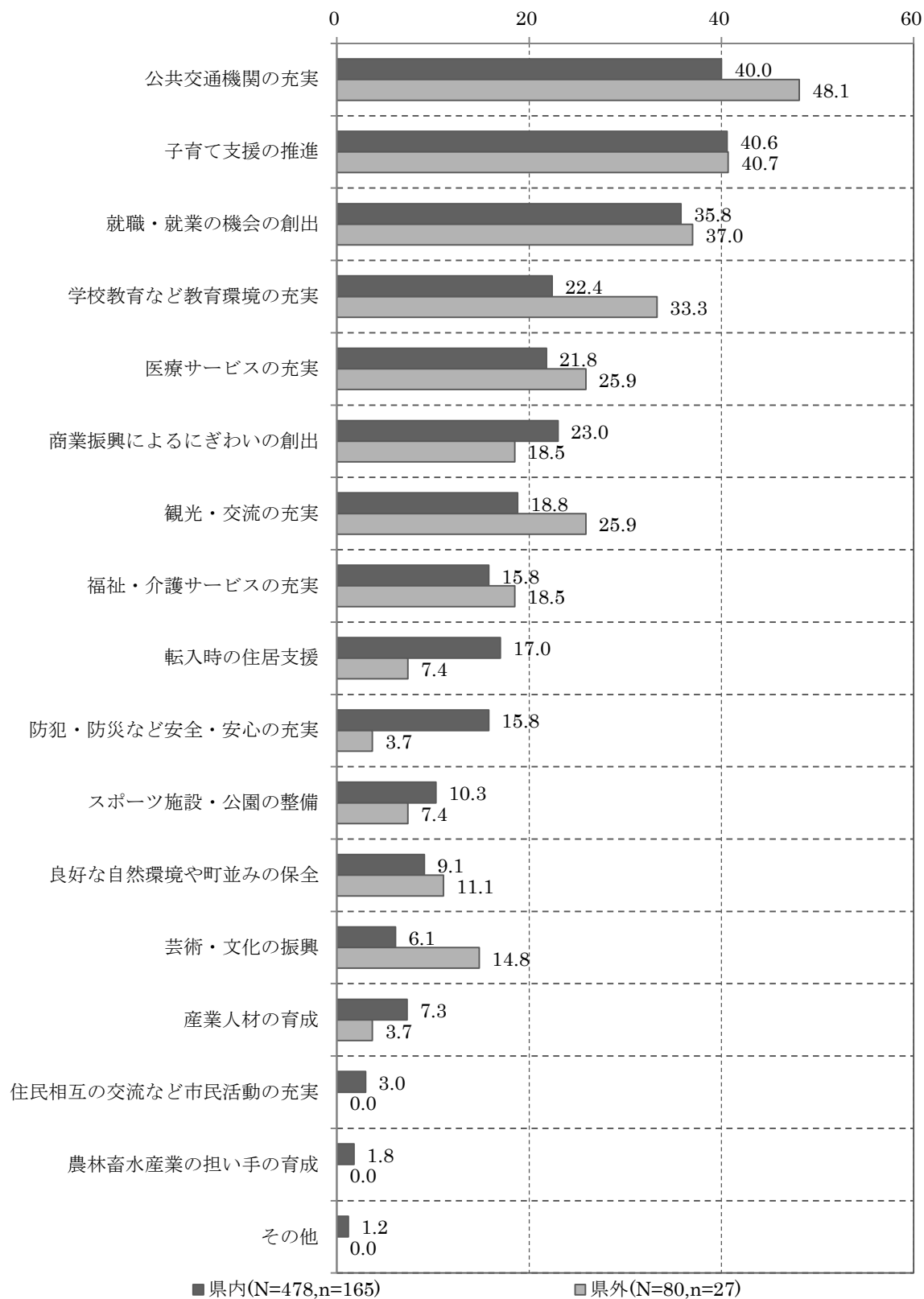
図 8-3 【年代別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者

居住圏域別（図 8-4）でみると、県内は「子育て支援の推進」が 40.6%と最も高くなって  
いる。県外は「公共交通機関の充実」が 48.1%と最も高くなっている。

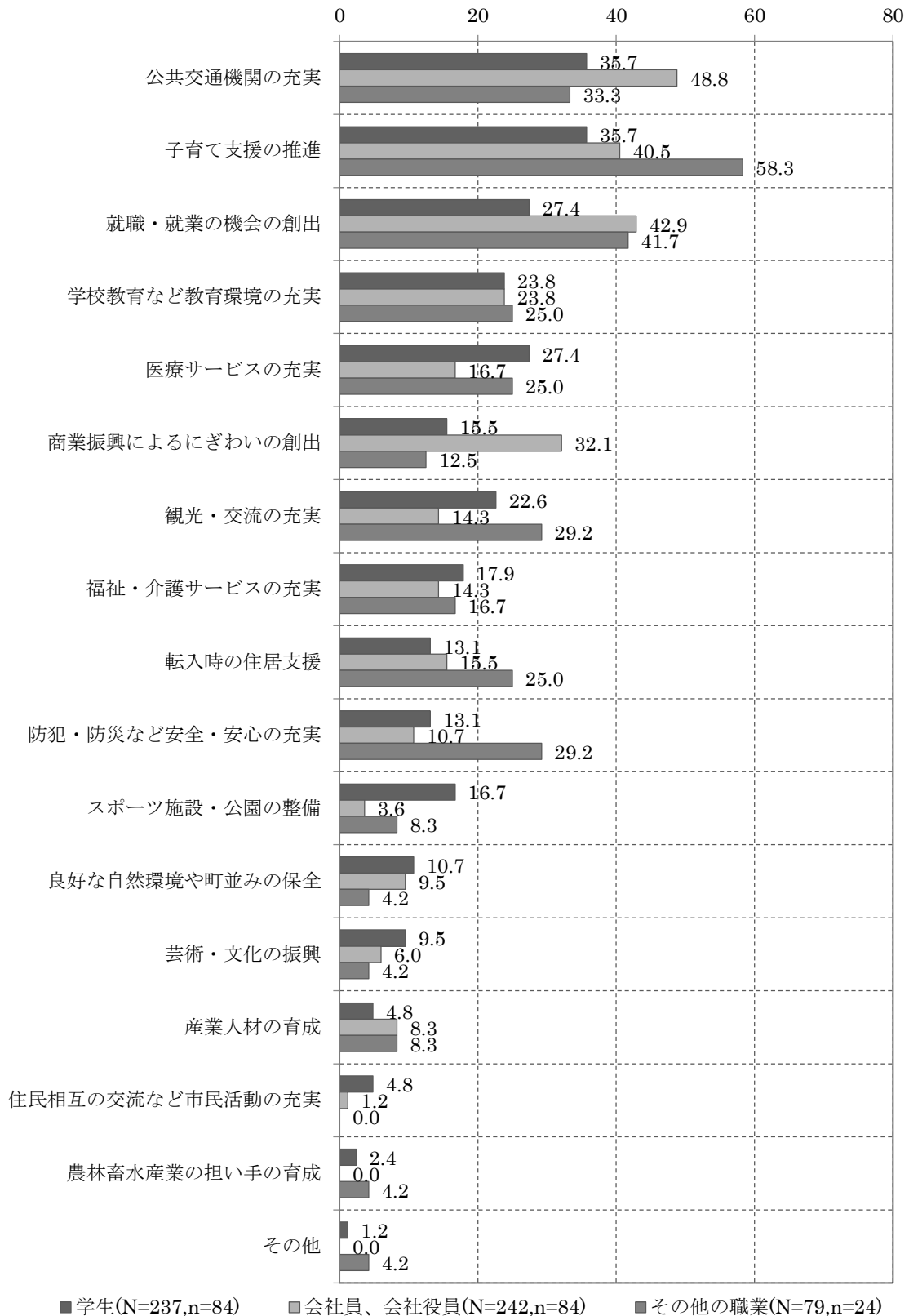
図 8-4 【居住圏域別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 8-5）でみると、学生は「公共交通機関の充実」「子育て支援の推進」が 35.7%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「公共交通機関の充実」が 48.8%と最も高くなっている。その他の職業は「子育て支援の推進」が 58.3%と最も高くなっている。

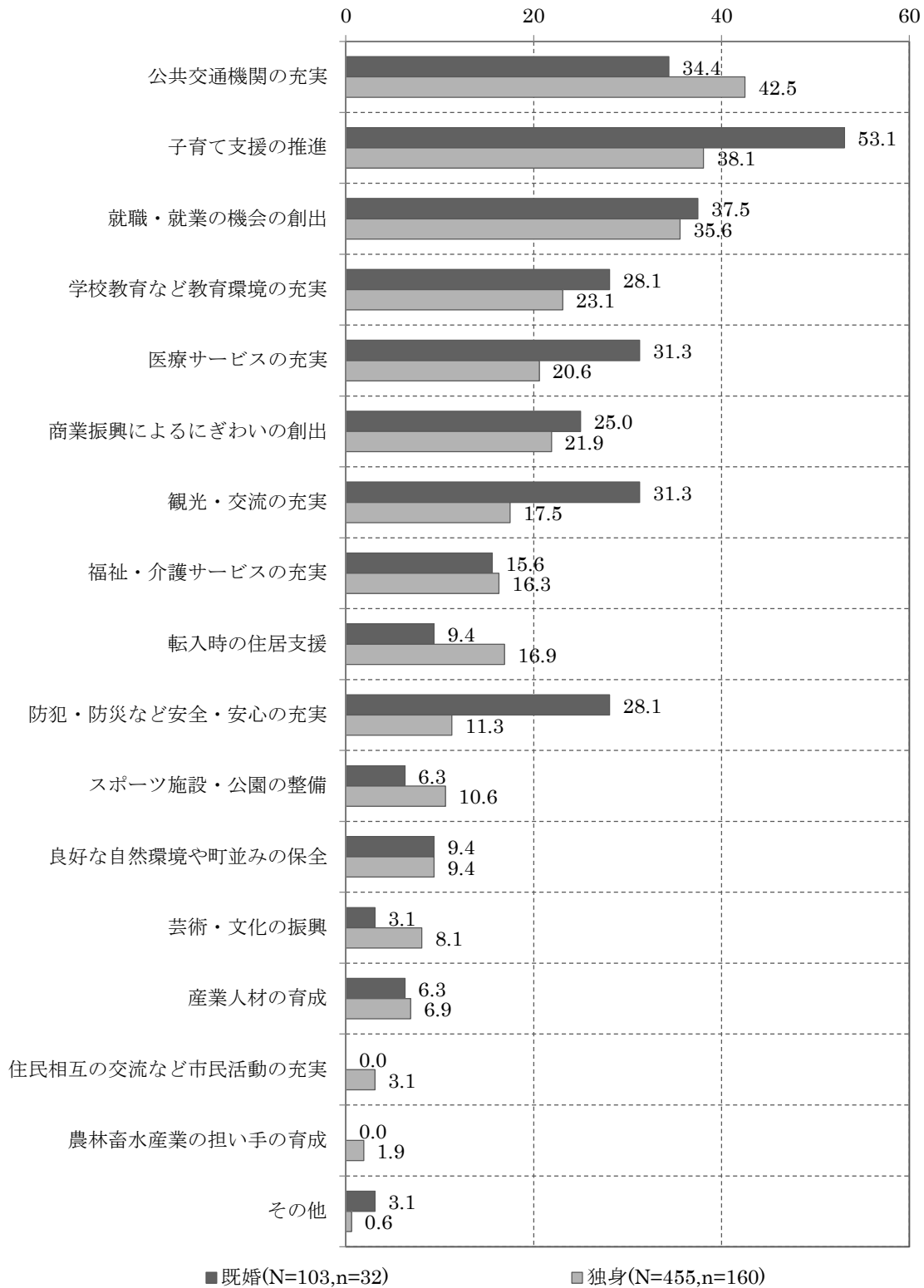
図 8-5 【職業別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 8-6）でみると、既婚は「子育て支援の推進」が 53.1%と最も高くなっている。独身は「公共交通機関の充実」が 42.5%と最も高くなっている。

図 8-6 【婚姻の状況別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

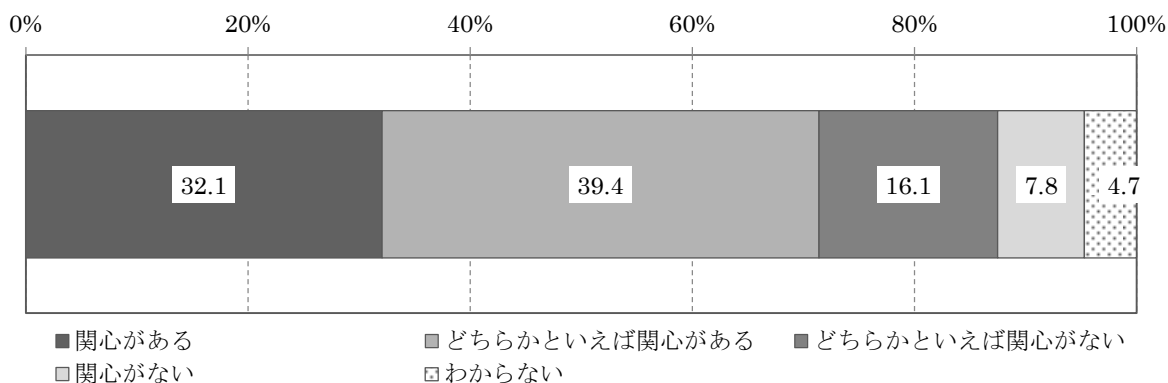
## 問9 県の仕事への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている仕事（施策や事業及びその進め方）について、関心をお持ちですか。（1つだけ）

全体（図9-1）で見ると、「どちらかといえば関心がある」が39.4%と最も高く、次いで「関心がある」が32.1%、「どちらかといえば関心がない」が16.1%、「関心がない」が7.8%、「わからない」が4.7%の順となっている。

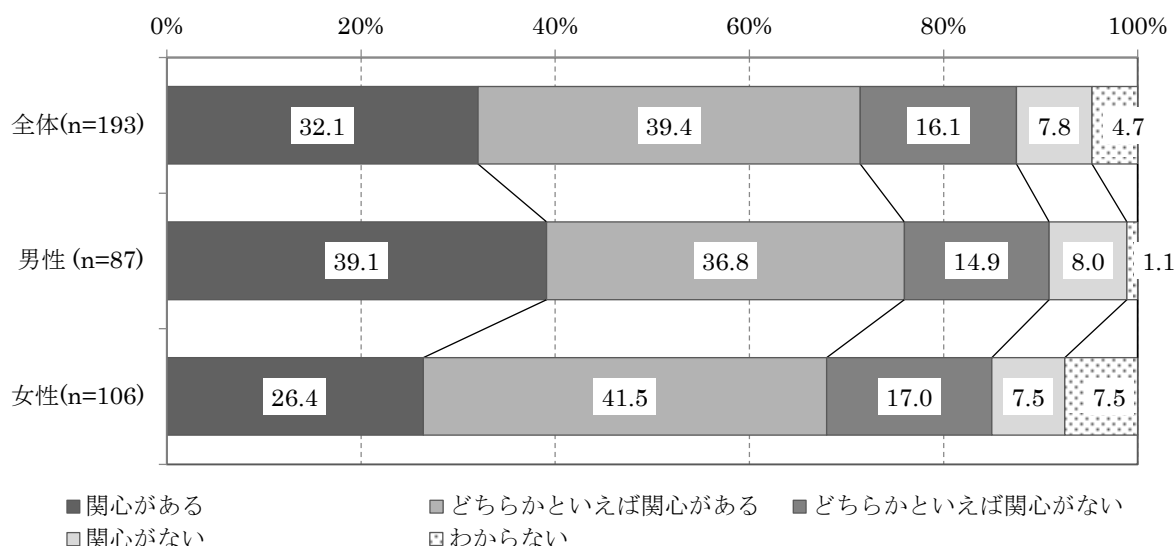
図9-1 県の仕事への関心の有無

回答者数(n=193)



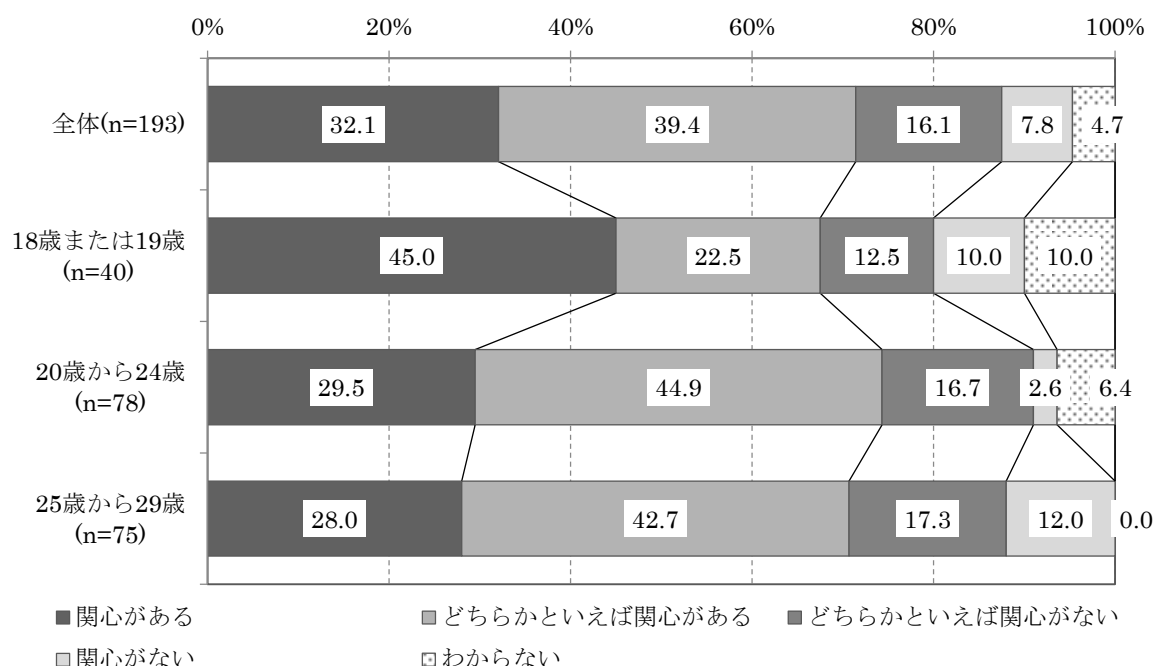
性別（図9-2）で見ると、男性は「関心がある」が39.1%と最も高くなっている。女性は「どちらかといえば関心がある」が41.5%と最も高くなっている。

図9-2 【性別】 県の仕事への関心の有無



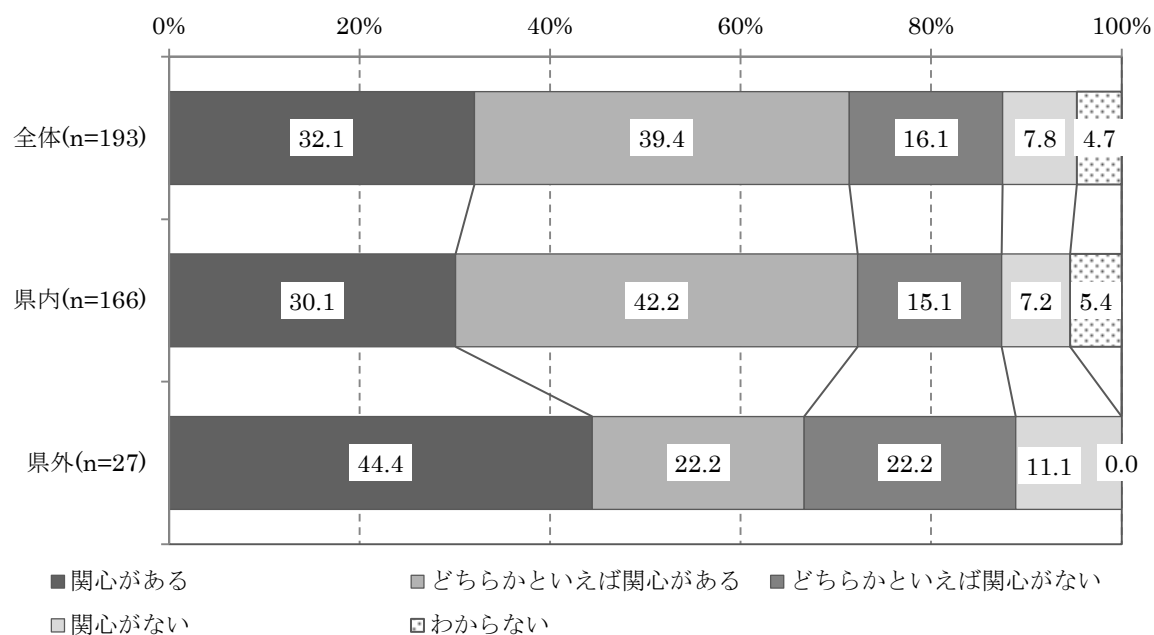
年代別（図 9-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「関心がある」が 45.0%と最も高くなっている。20 歳以上においては「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち 20 歳から 24 歳が 44.9%と最も高くなっている。

図 9-3 【年代別】 県の仕事への関心の有無



居住圏域別（図 9-4）で見ると、県内は「どちらかといえば関心がある」が 42.2%と最も高くなっている。県外は「関心がある」が 44.4%と最も高くなっている。

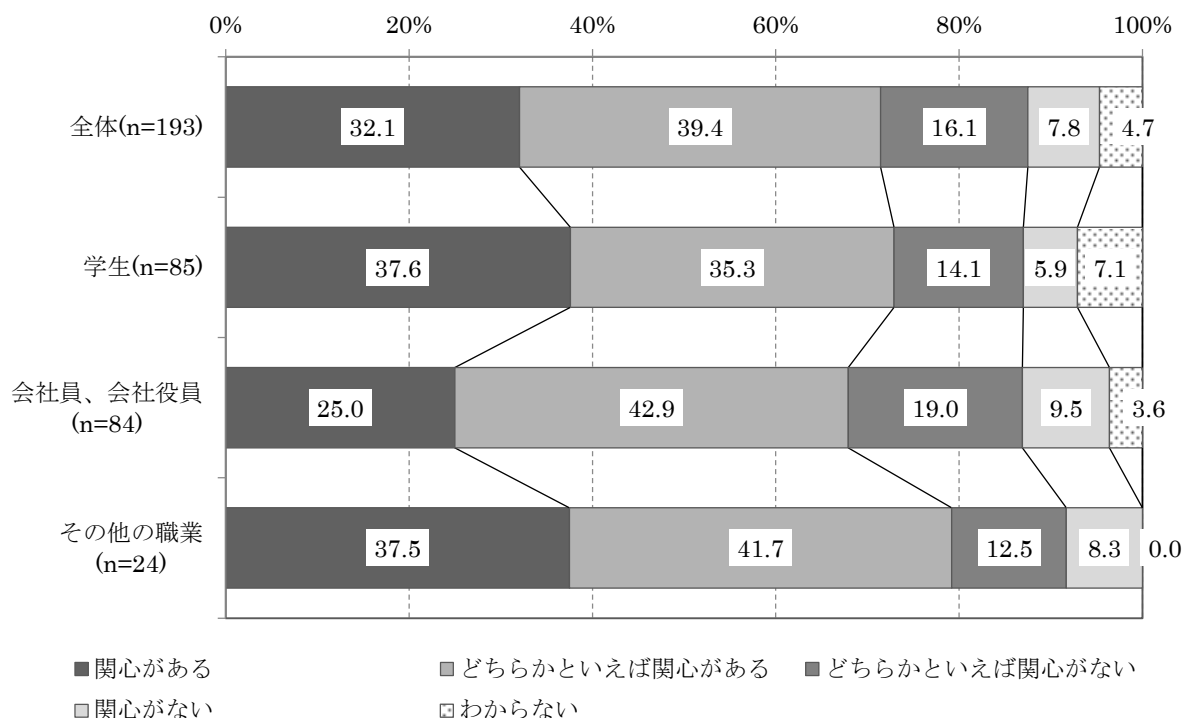
図 9-4 【居住圏域別】 県の仕事への関心の有無





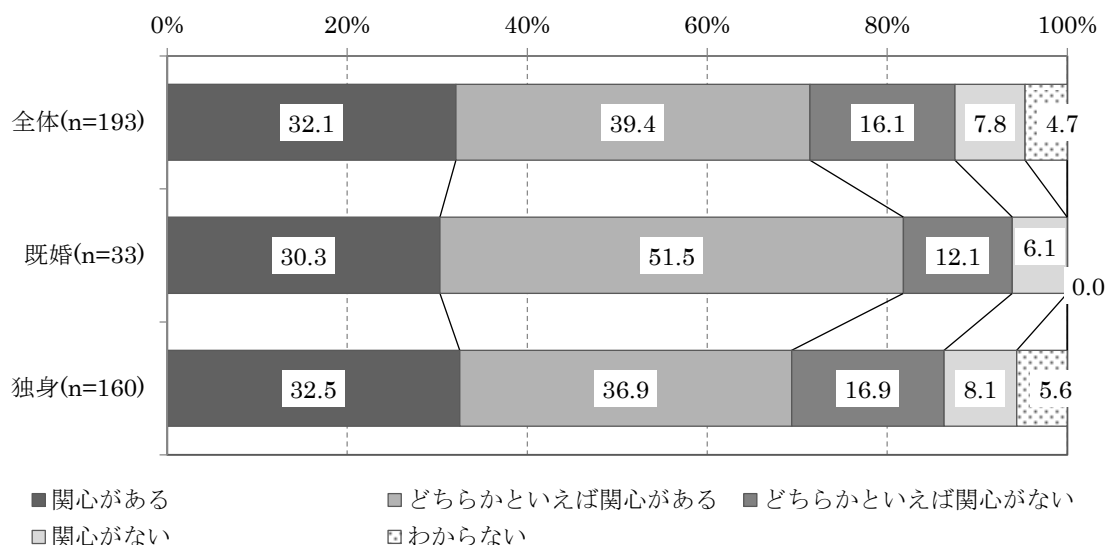
職業別（図9-5）で見ると、学生は「関心がある」が37.6%と最も高くなっている。会社員、会社役員とその他の職業は「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は42.9%と最も高くなっている。

図9-5 【職業別】 県の仕事への関心の有無



婚姻の状況別（図9-6）で見ると、既婚、独身ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高く、既婚は51.5%、独身は36.9%となっている。既婚は、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計が80%を超えている。

図9-6 【婚姻の状況別】 県の仕事への関心の有無

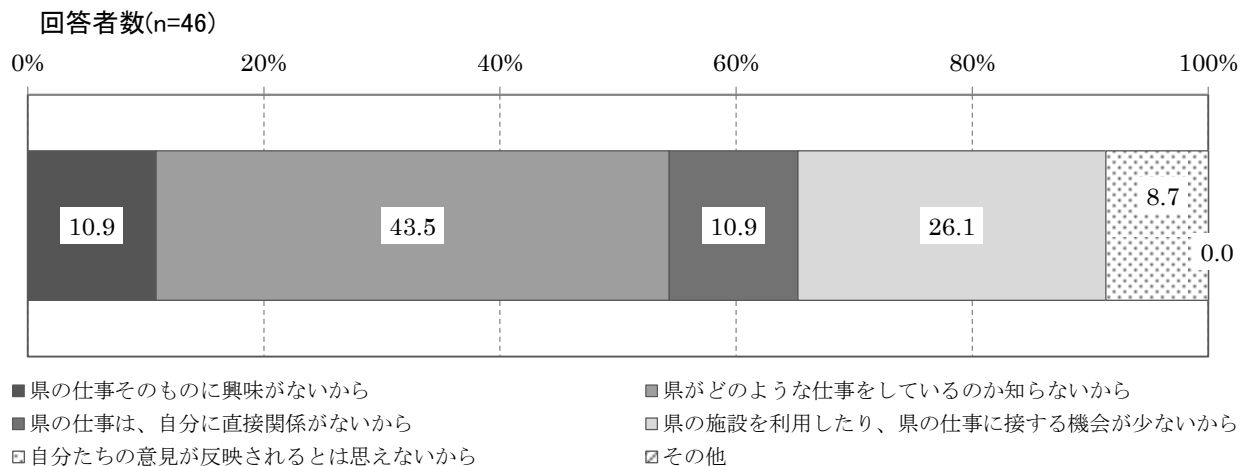


## 問9-2 岐阜県の仕事に関心がない理由

問9-2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を選んだ方にお尋ねします。  
 あなたが、岐阜県が行っている仕事（施策や事業及びその進め方）に関心がないのは、  
 どのような理由からですか。（1つだけ）

全体（図9-2-1）でみると、「県がどのような仕事をしているのか知らないから」が43.5%と最も高く、次いで「県の施設を利用したり、県の仕事に接する機会が少ないから」が26.1%、「県の仕事そのものに興味がないから」「県の仕事は、自分に直接関係がないから」がともに10.9%、「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」が8.7%の順となっている。

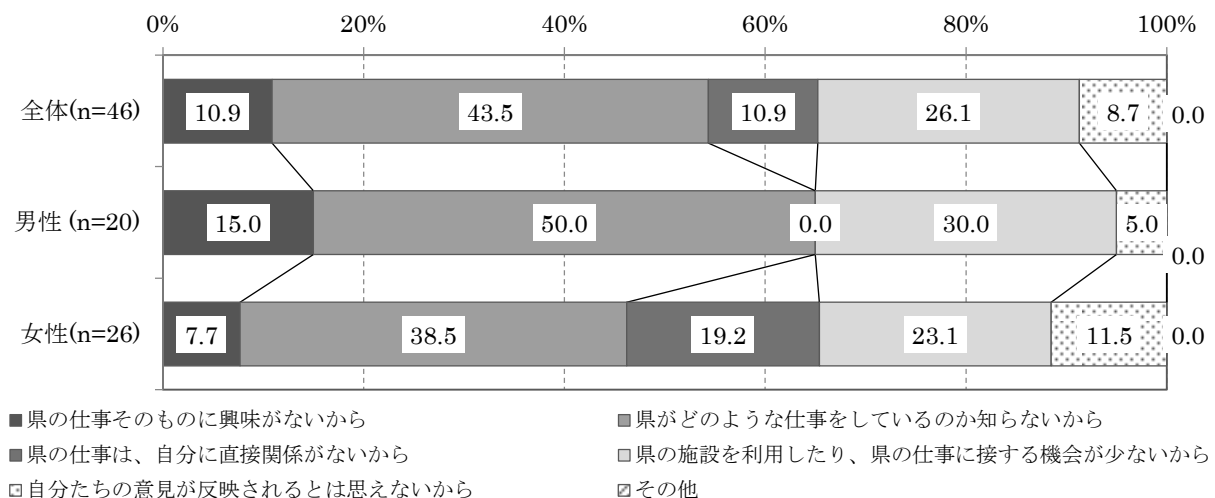
図9-2-1 岐阜県の仕事に関心がない理由



※ 問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を選んだ方のみ

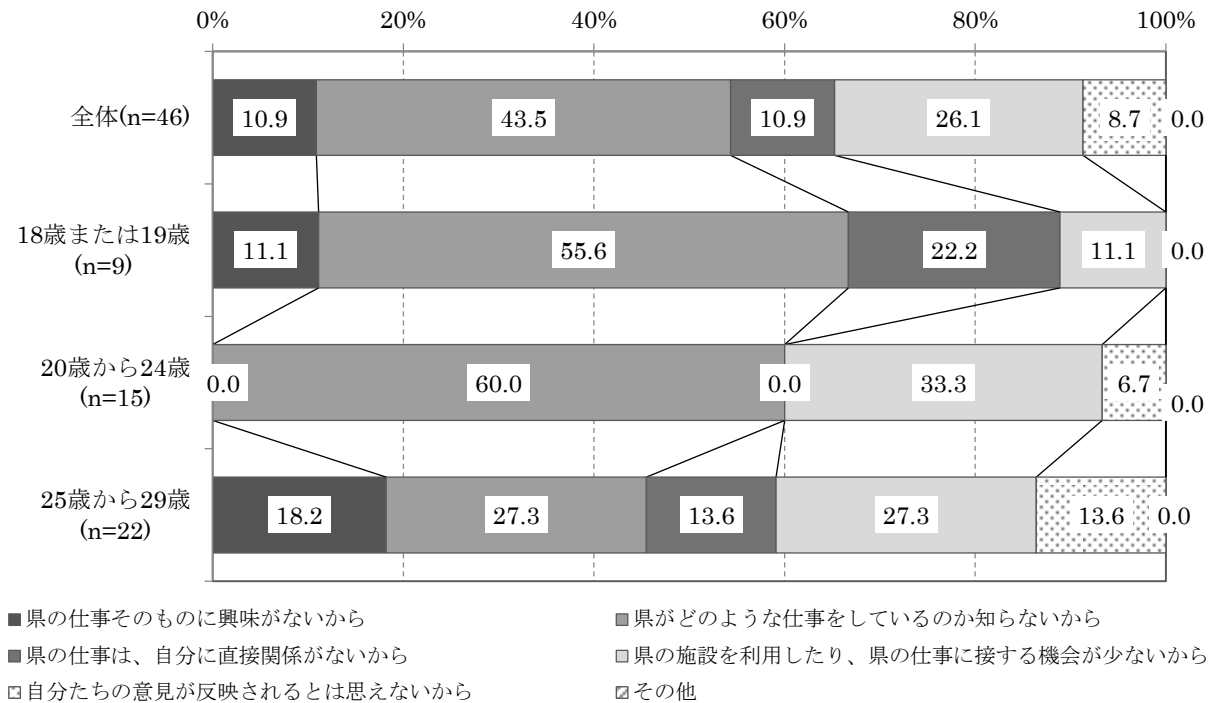
性別（図9-2-2）でみると、男女ともに「県がどのような仕事をしているのか知らないから」が最も高く、男性は50.0%、女性は38.5%となっている。

図9-2-2 【性別】 岐阜県の仕事に関心がない理由



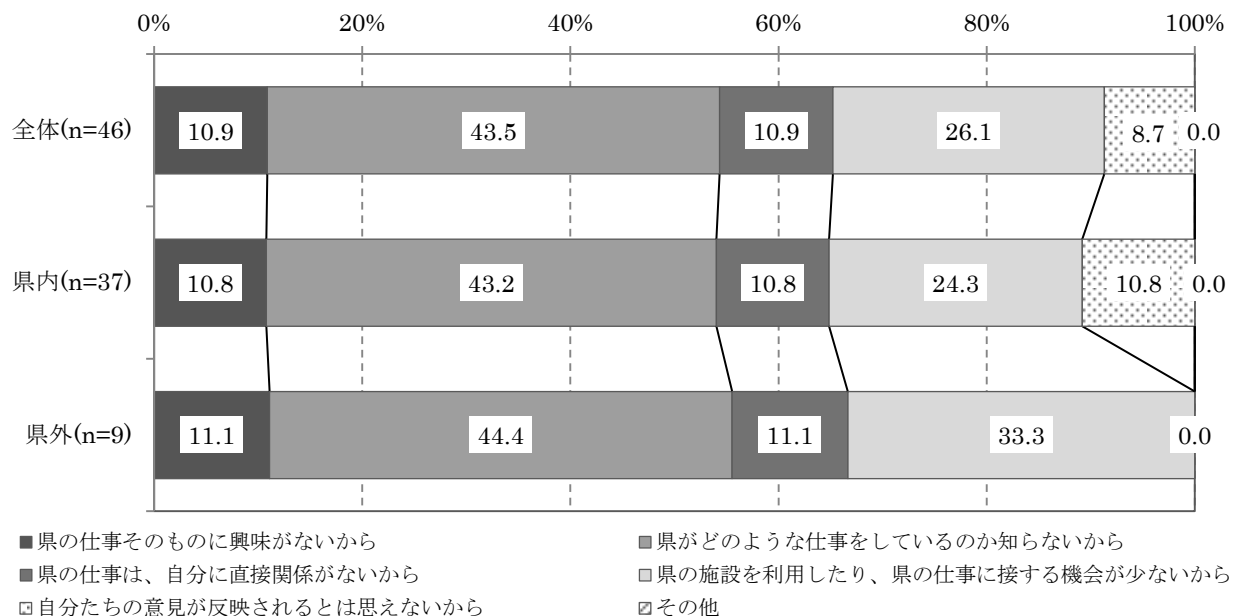
年代別（図 9-2-3）でみると、いずれの年代においても「県がどのような仕事をしているのか知らないから」が最も高くなっている。25歳から29歳は「県の施設を利用したり、県の仕事に接する機会が少ないから」も最も高くなっている。

図 9-2-3 【年代別】 岐阜県の仕事に関心がない理由



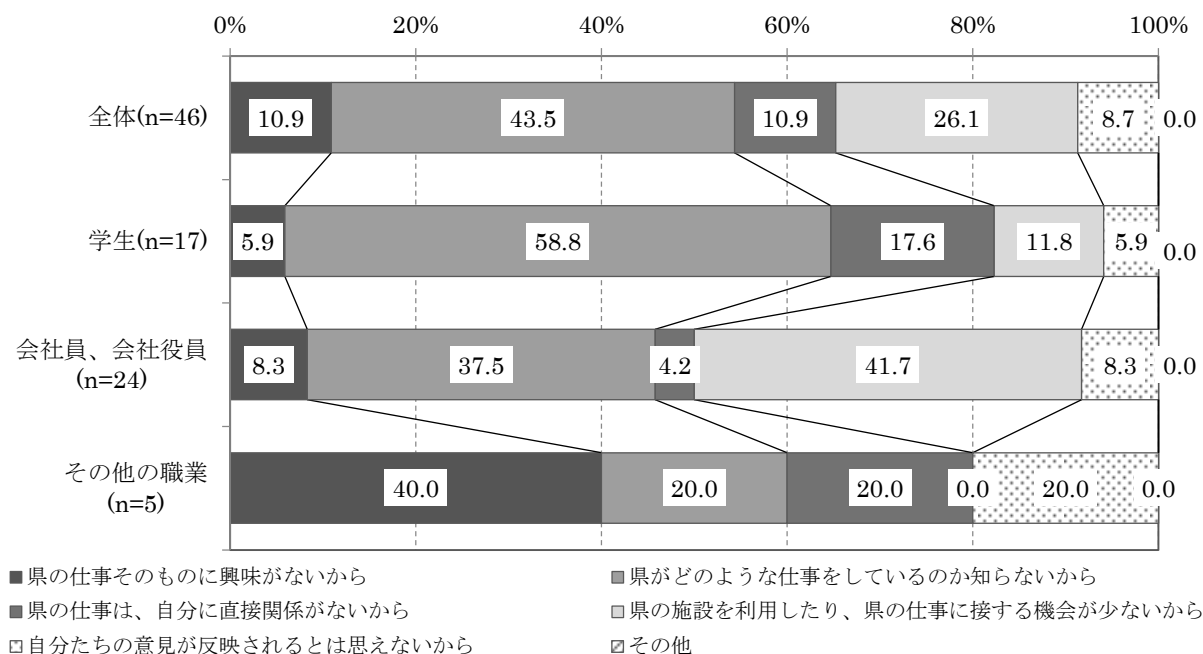
居住圏域別（図 9-2-4）でみると、県内、県外ともに「県がどのような仕事をしているのか知らないから」が最も高く、県内は 43.2%、県外は 44.4%となっている。

図 9-2-4 【居住圏域別】 岐阜県の仕事に関心がない理由



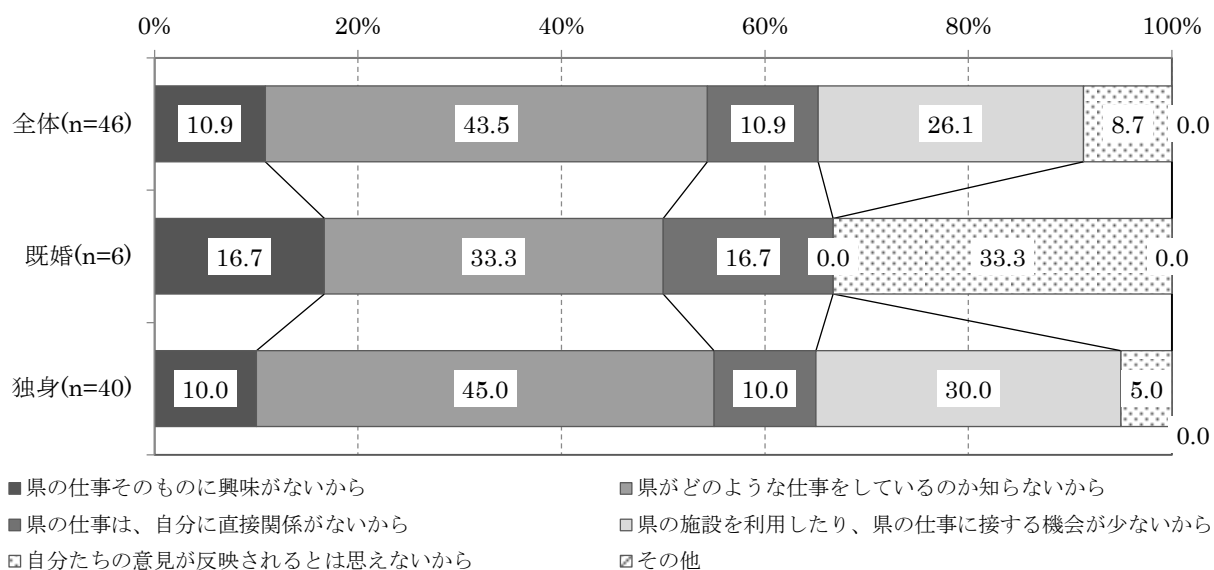
職業別（図 9-2-5）で見ると、学生は「県がどのような仕事をしているのか知らないから」が 58.8%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「県の施設を利用したり、県の仕事に接する機会が少ないから」が 41.7%と最も高くなっている。その他の職業は「県の仕事そのものに興味がないから」が 40.0%と最も高くなっている。

図 9-2-5 【職業別】 岐阜県の仕事に関心がない理由



婚姻の状況別（図 9-2-6）で見ると、既婚は「県がどのような仕事をしているのか知らないから」「自分たちの意見が反映されとは思えないから」がともに 33.3%と最も高くなっている。独身は「県がどのような仕事をしているのか知らないから」が 45.0%と最も高くなっている。

図 9-2-6 【婚姻の状況別】 岐阜県の仕事に関心がない理由

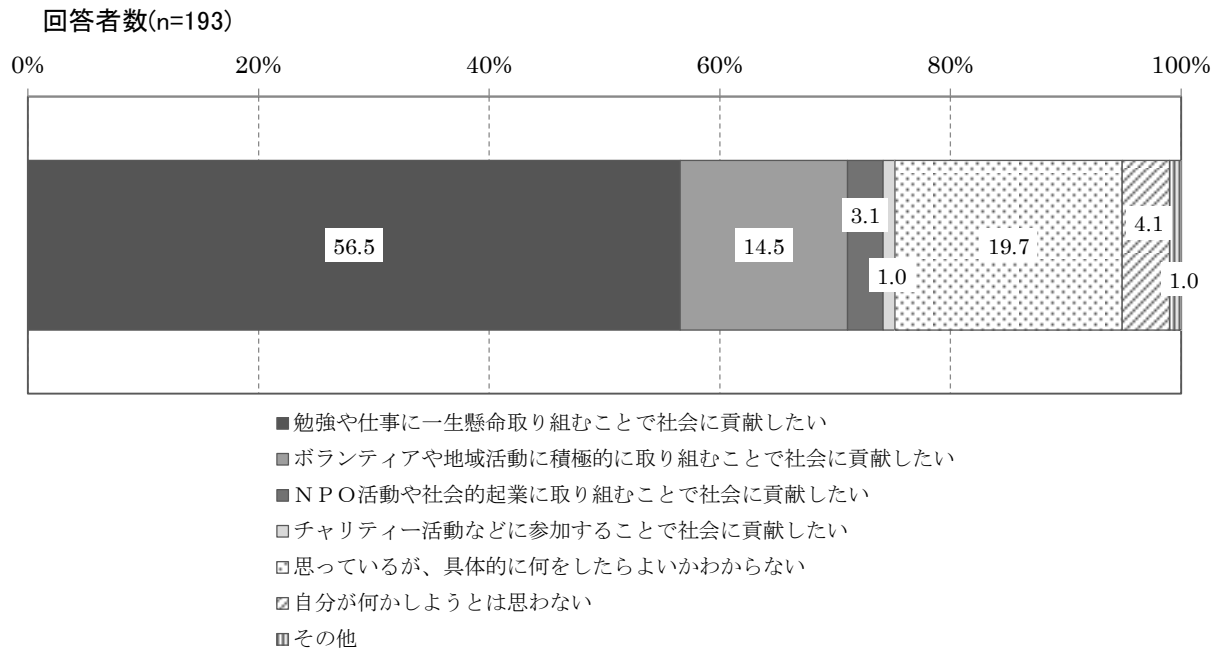


## 問10 社会への貢献

問10 あなたは、より良い未来を築くために何か社会に貢献しようと思っていますか。  
(1つだけ)

全体(図10-1)で見ると、「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が56.5%と最も高く、次いで「思っているが、具体的に何をしたらよいかわからない」が19.7%、「ボランティアや地域活動に積極的に取り組むことで社会に貢献したい」が14.5%の順となっている。

図10-1 社会への貢献



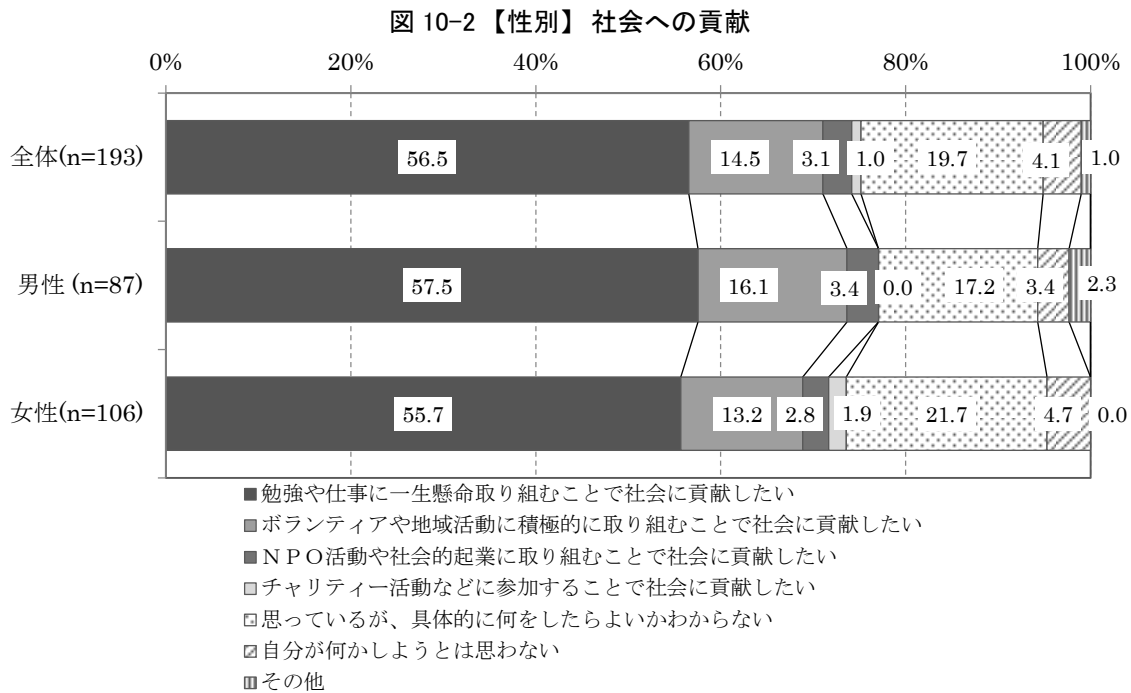
※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・ NPO活動や社会的起業(社会問題の解決を目的とした収益事業としての取り組み)に取り組むことで社会に貢献したい
- ……NPO活動や社会的起業に取り組むことで社会に貢献したい

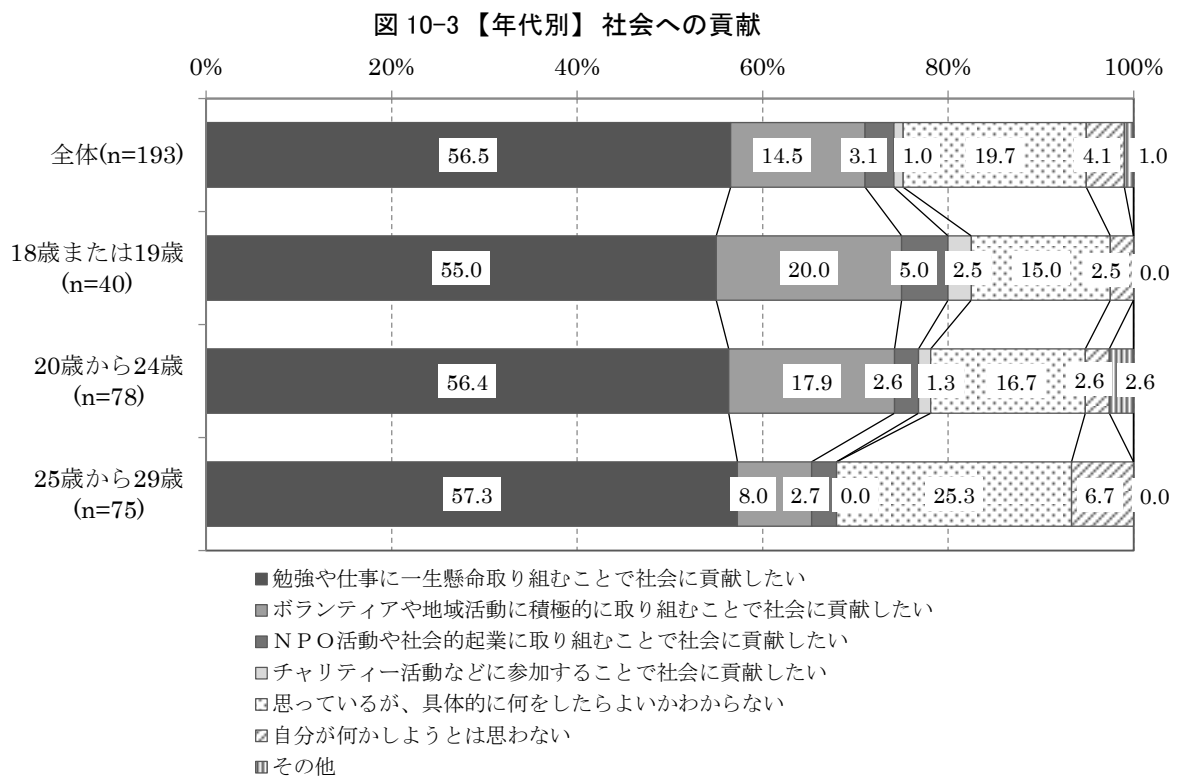
※「その他」の内容

- ・ このモニタリング制度に参加することで、意見を伝える。
- ・ 地元の市長など地方政治家。

性別（図 10-2）でみると、男女ともに「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、男性は 57.5%、女性は 55.7%となっている。また、次いで男女ともに「思っているが、具体的に何をしたらよいかわからない」が高く、男性は 17.2%、女性は 21.7%となっている。

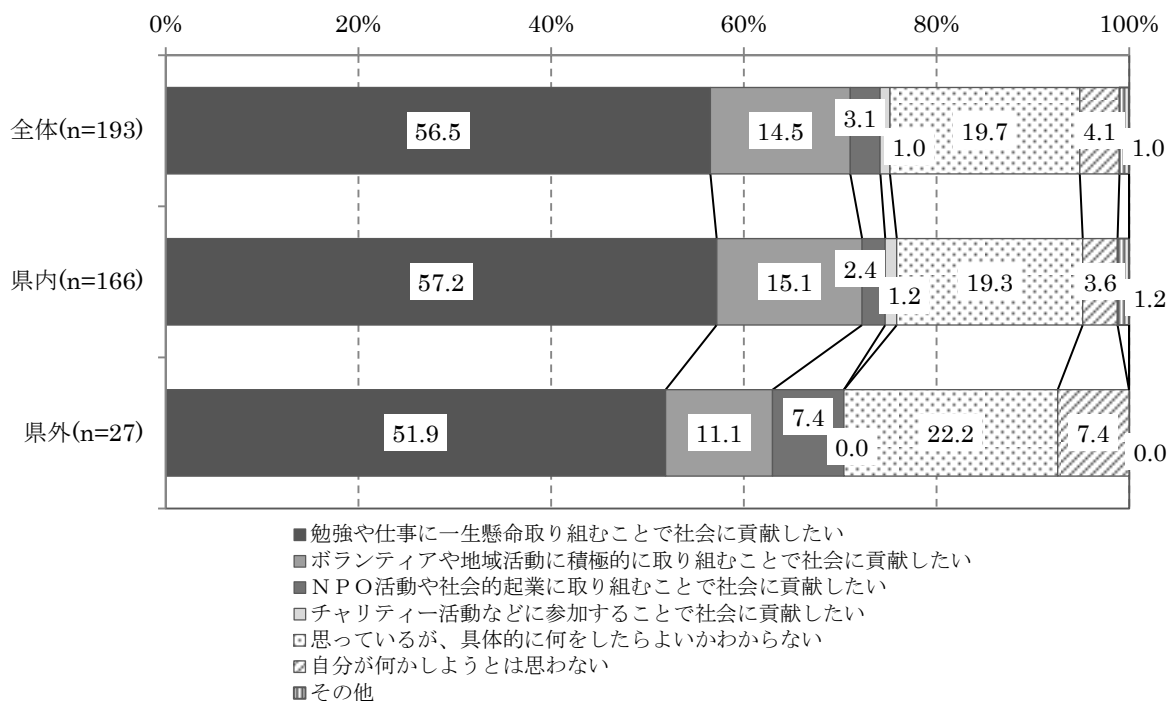


年代別（図 10-3）でみると、いずれの年代においても「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 57.3%と最も高くなっている。



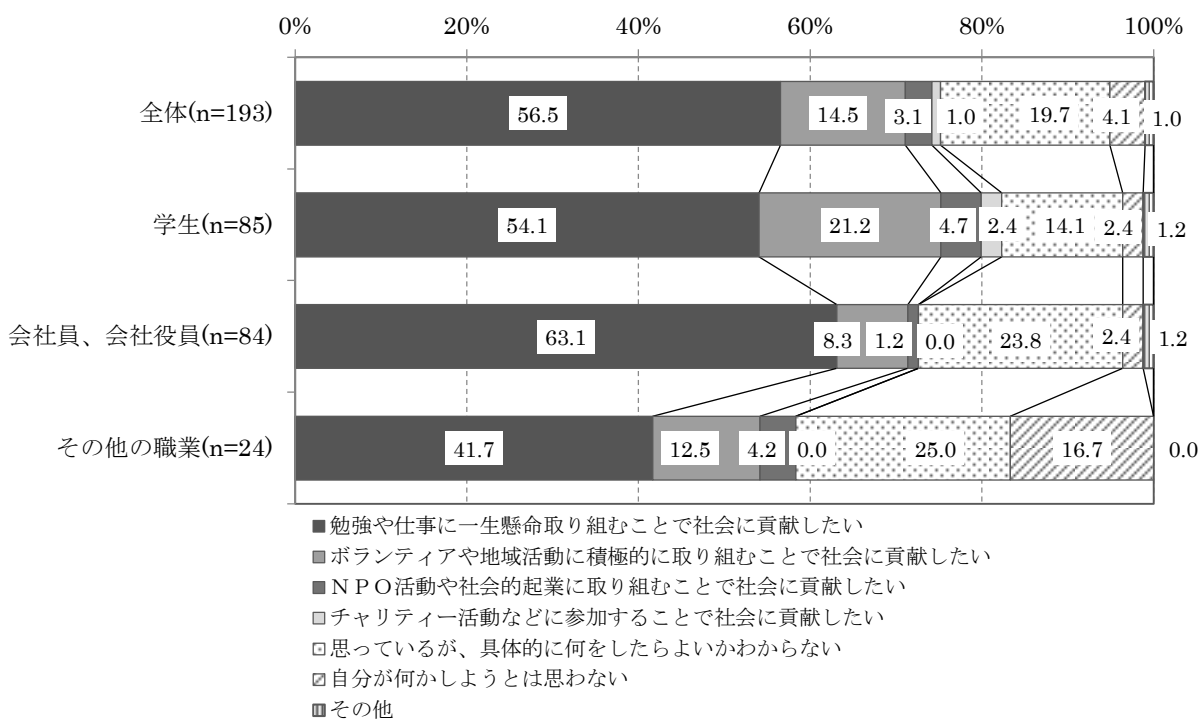
居住圏域別（図 10-4）で見ると、県内、県外ともに、「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、県内は 57.2%、県外は 51.9%となっている。

図 10-4 【居住圏域別】 社会への貢献



職業別（図 10-5）で見ると、いずれの職業においても「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 63.1%と最も高くなっている。

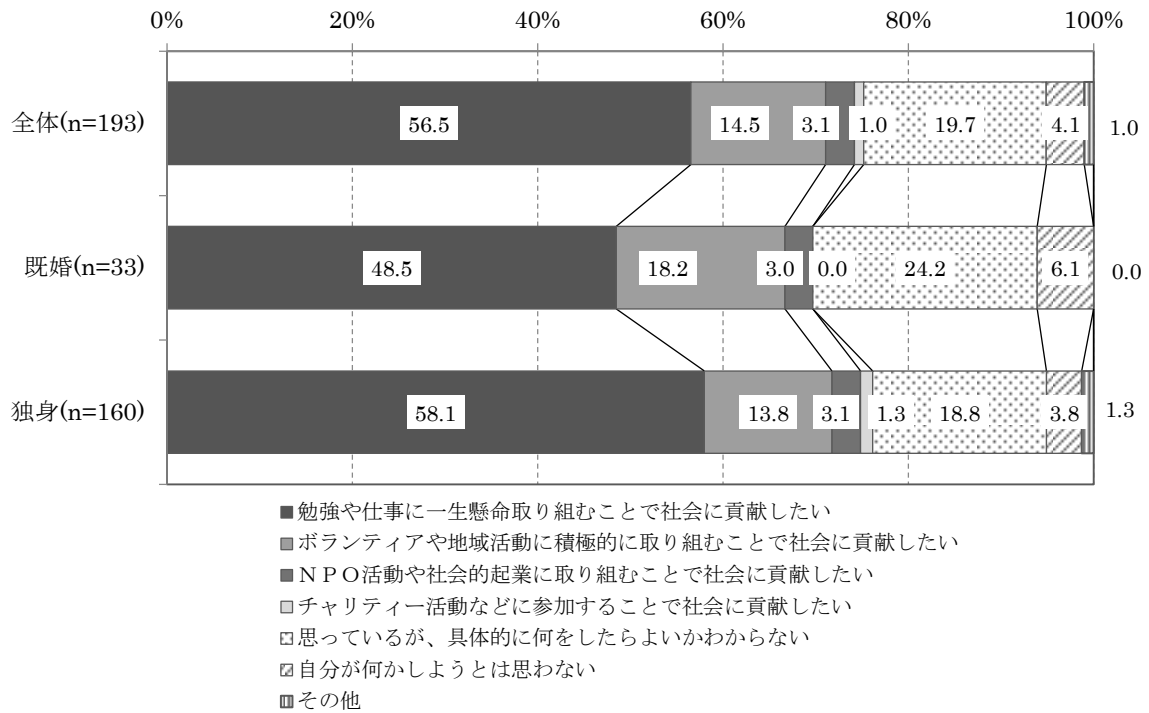
図 10-5 【職業別】 社会への貢献



婚姻の状況別（図 10-6）で見ると、既婚、独身ともに「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、既婚は48.5%、独身は58.1%となっている。

また、いずれにおいても次いで「思っているが、具体的に何をしたらよいかわからない」が高く、既婚は24.2%、独身は18.8%となっている。

図 10-6 【婚姻の状況別】 社会への貢献





### 問1 1 「清流の国ぎふ」の認知度

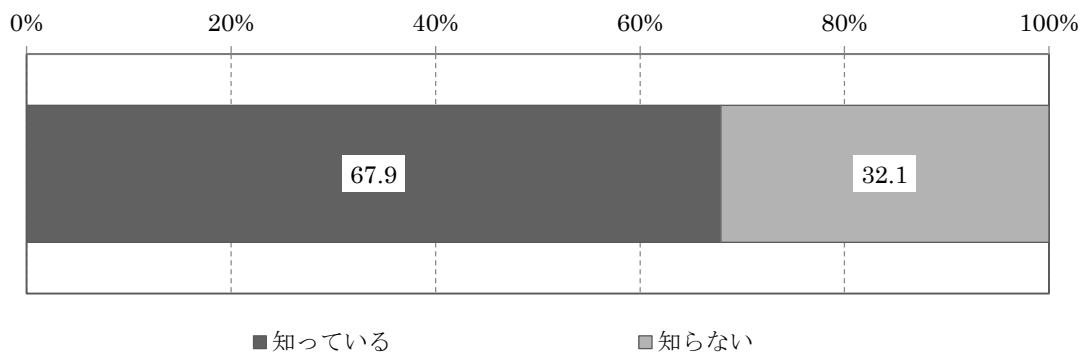
問1 1 岐阜県は、これまで「清流の国ぎふ」づくりの基礎固めとして、本県が誇る地域資源を磨き、伝統文化や食、地場産業や観光資源などの魅力の一つのブランドにまとめ、国内外に精力的に発信してまいりました。

あなたは、このように岐阜県が「清流の国ぎふ」をキーコンセプトとして、地方創生に取り組んでいることを知っていますか。(1つだけ)

全体(図11-1)で見ると、「知っている」が67.9%、「知らない」が32.1%となっている。

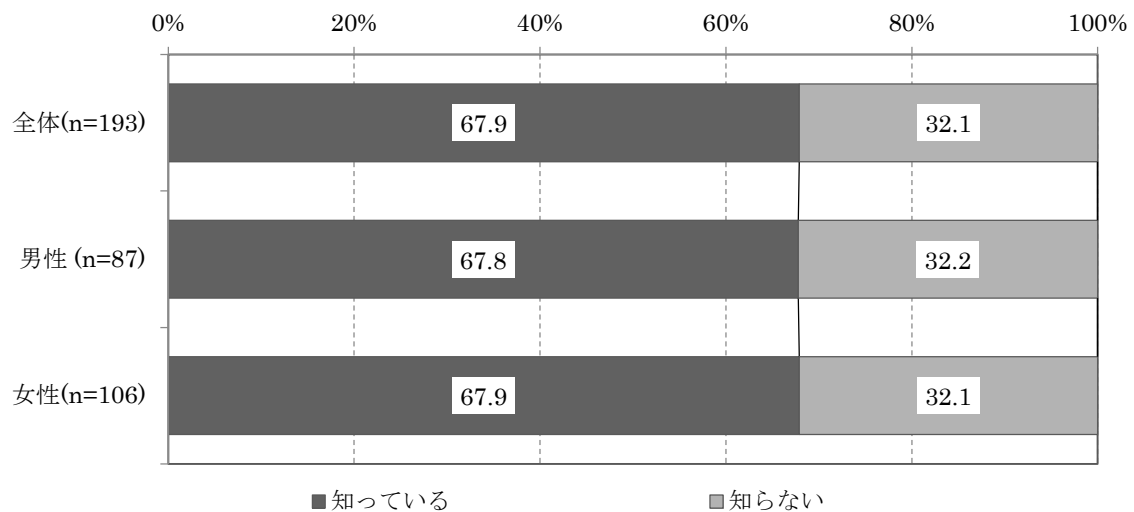
図11-1 「清流の国ぎふ」の認知度

回答者数(n=193)



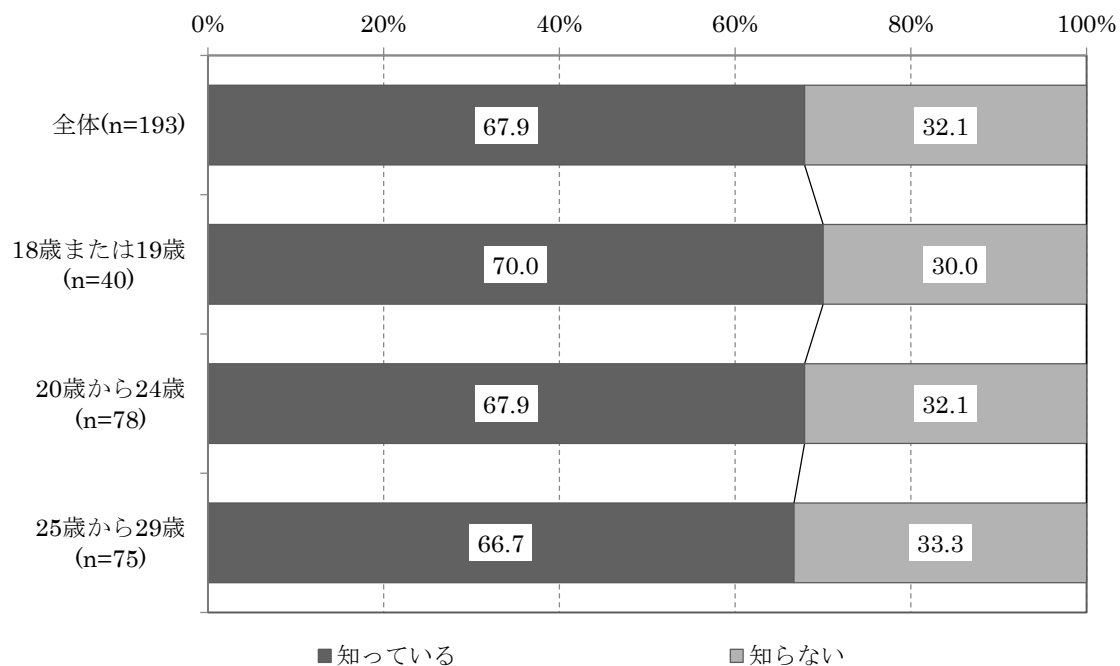
性別(図11-2)で見ると、男女ともに「知っている」が高く、男性は67.8%、女性は67.9%となっている。

図11-2 【性別】 「清流の国ぎふ」の認知度



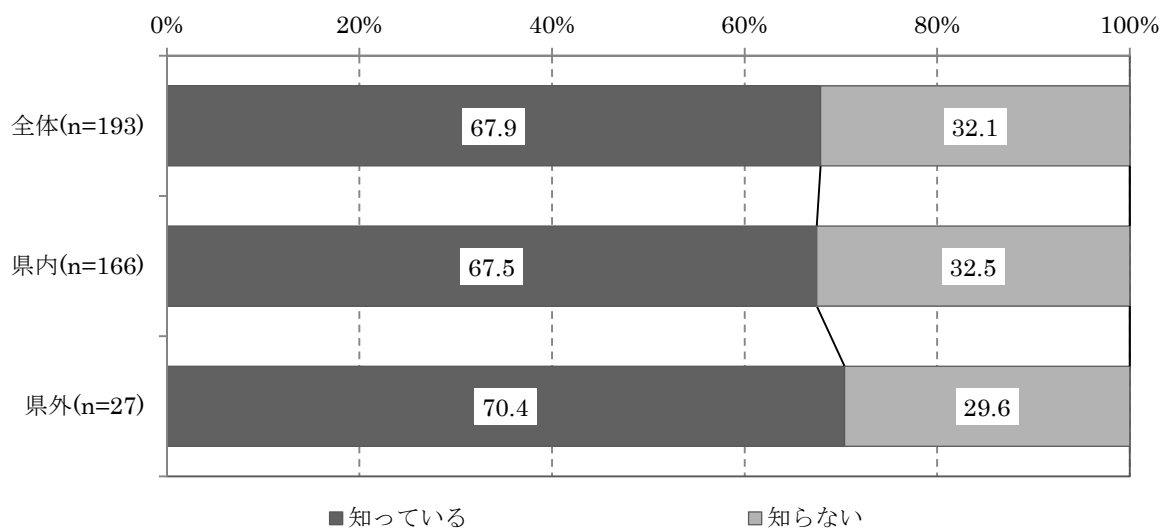
年代別（図 11-3）で見ると、いずれの年代においても「知っている」が高く、18歳または19歳は70.0%と最も高くなっている。

図 11-3 【年代別】「清流の国ぎふ」の認知度



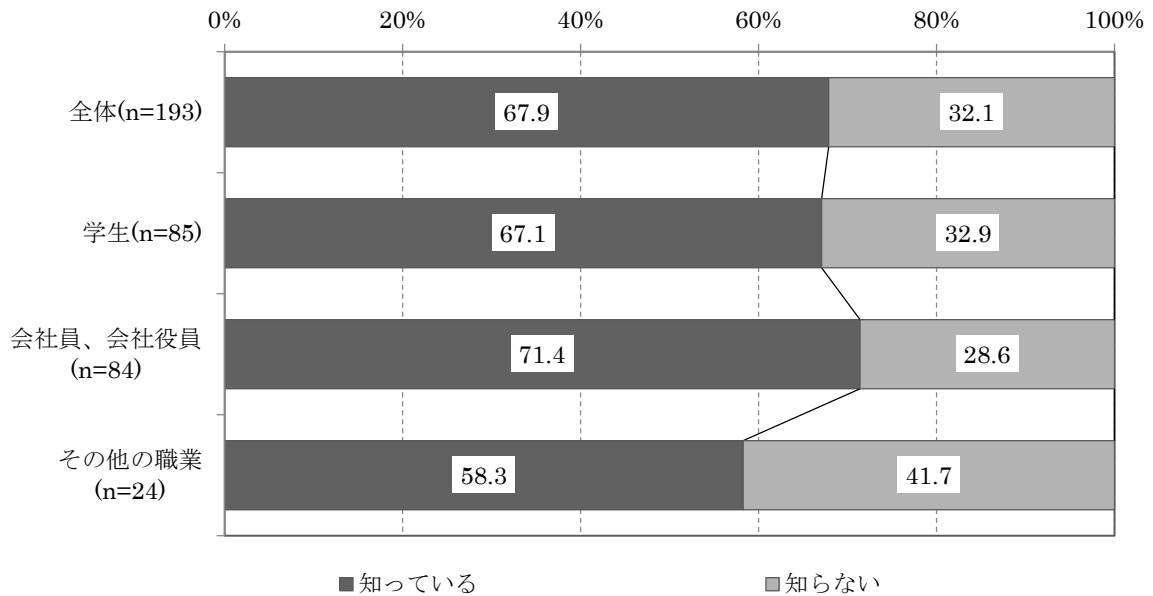
居住圏域別（図 11-4）で見ると、県内、県外ともに「知っている」が最も高く、県内は67.5%、県外は70.4%となっている。

図 11-4 【居住圏域別】「清流の国ぎふ」の認知度



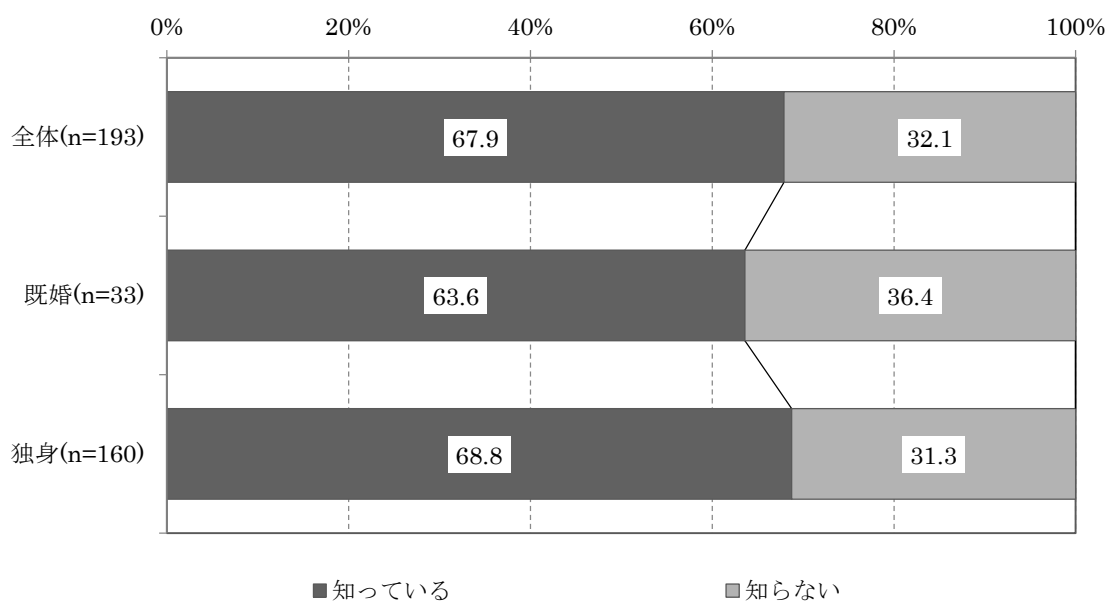
職業別（図 11-5）で見ると、いずれの職業においても「知っている」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 71.4%と最も高くなっている。その他の職業は「知っている」が 58.3%であるものの、「知らない」が 41.7%と学生、会社員、会社役員と比べ、高くなっている。

図 11-5 【職業別】「清流の国ぎふ」の認知度



婚姻の状況別（図 11-6）で見ると、いずれにおいても「知っている」が高く、既婚は 63.6%、独身は 68.8%となっている。

図 11-6 【婚姻の状況別】「清流の国ぎふ」の認知度



## 問12 岐阜県の地方創生への進め方

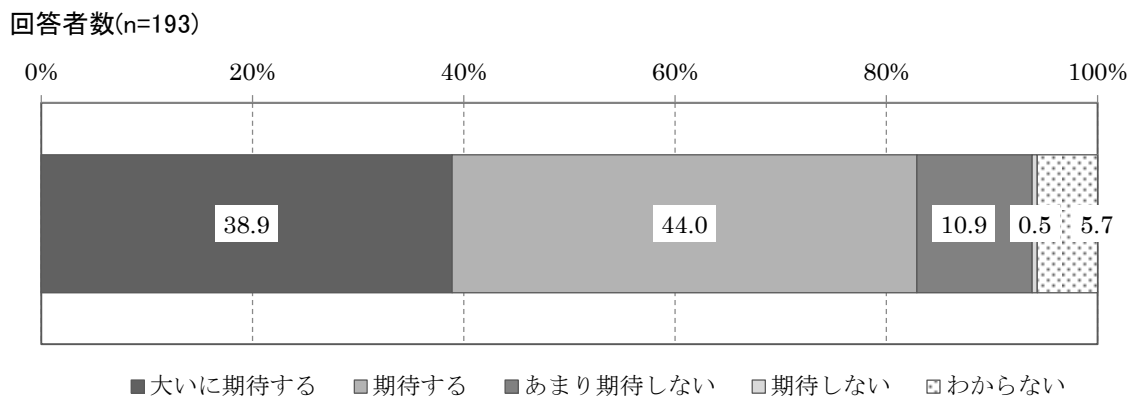
問12 岐阜県は、本年度から、

- ①産業や地域を支える人材の育成など「清流の国ぎふ」を支える人づくり」
- ②中小企業が取り組むモノづくりのIoT化や観光・交流産業の根幹産業化など「地域の魅力を活かした「清流の国ぎふ」づくり」
- ③医療と福祉の充実・連携や災害に強い県土づくりなど「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」

を三本の柱として「清流の国ぎふ」づくりを全面展開してまいります。  
 あなたは、このような岐阜県の地方創生の進め方について、どう思われますか。  
 (1つだけ)

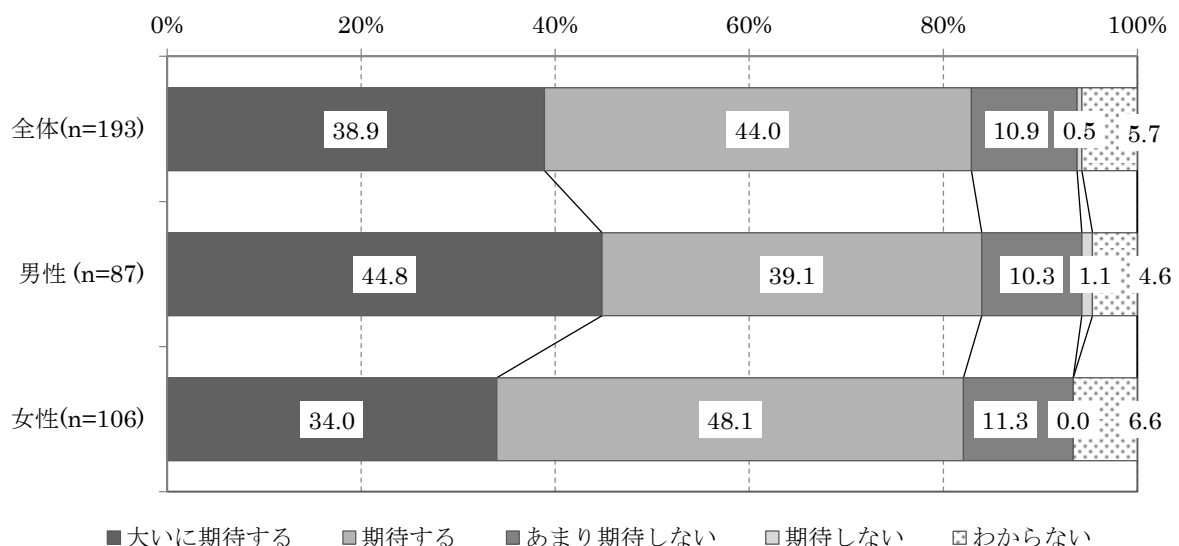
全体(図12-1)で見ると、「期待する」が44.0%と最も高く、次いで「大いに期待する」が38.9%、「あまり期待しない」が10.9%、「わからない」が5.7%の順となっている。

図12-1 岐阜県の地方創生への進め方



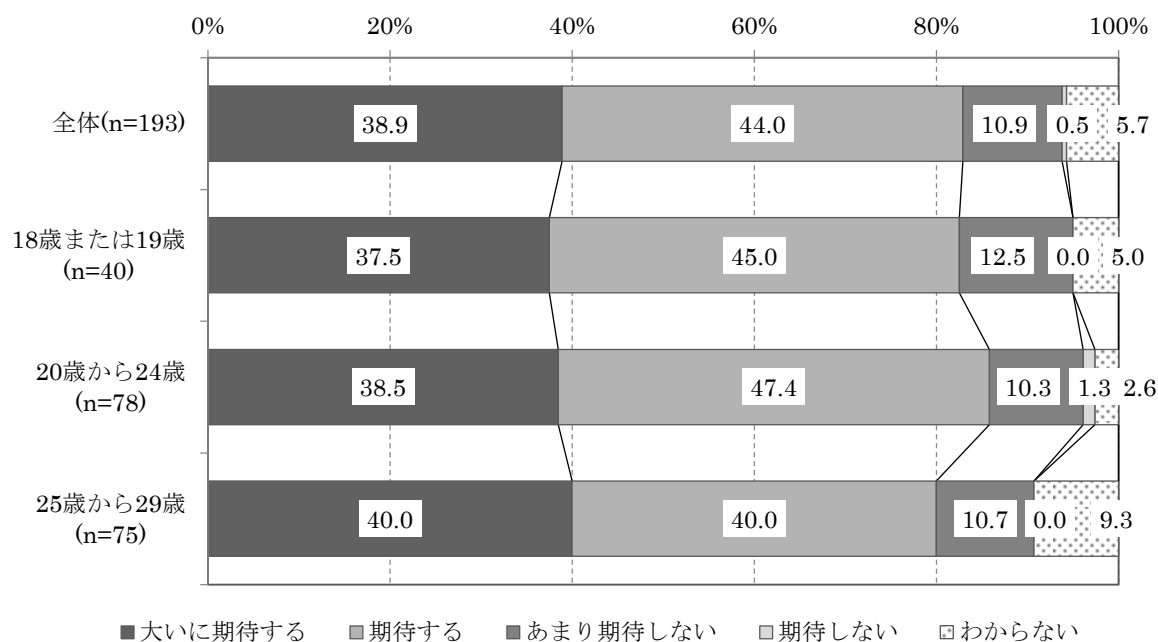
性別(図12-2)で見ると、男性は「大いに期待する」が44.8%と最も高く、女性は「期待する」が48.1%と最も高くなっている。

図12-2 【性別】 岐阜県の地方創生への進め方



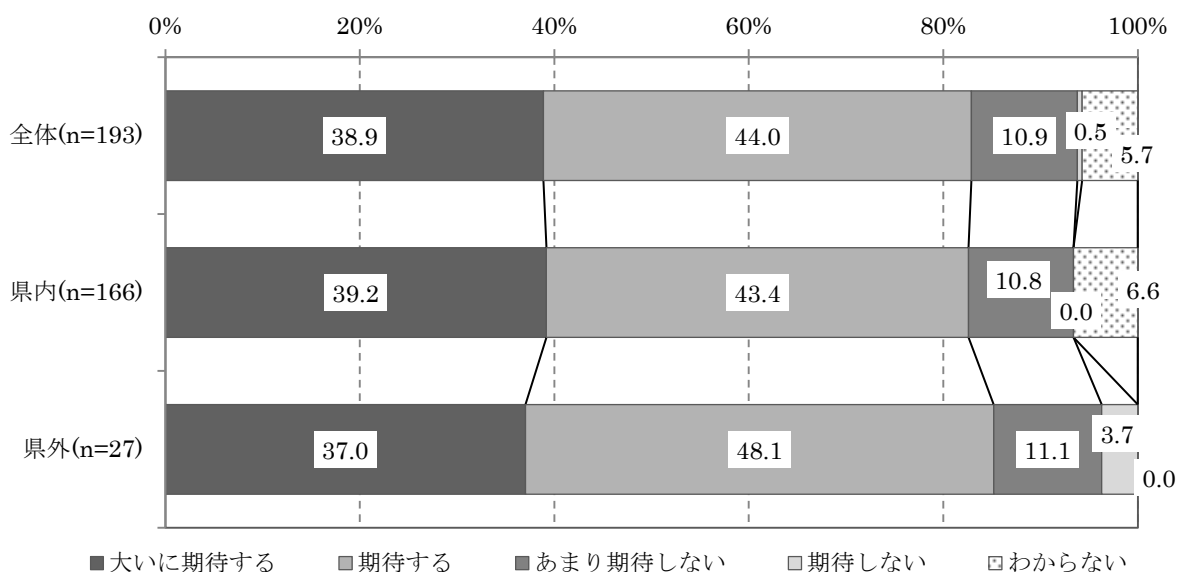
年代別（図 12-3）で見ると、いずれの年代においても「期待する」が最も高く、そのうち 20 歳から 24 歳は 47.4%と最も高くなっている。なお、25 歳から 29 歳は「大いに期待する」も 40.0%と最も高くなっている。

図 12-3 【年代別】 岐阜県の地方創生への進め方



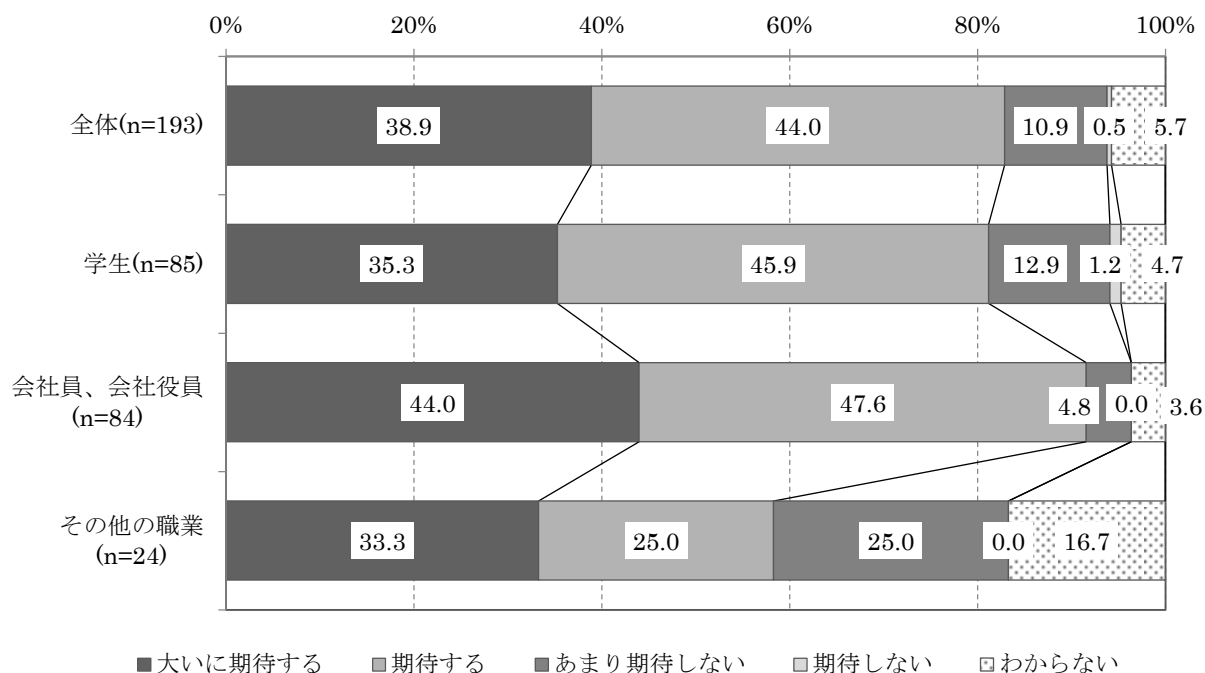
居住圏域別（図 12-4）で見ると、県内、県外ともに「期待する」が最も高く、県内は 43.4%、県外は 48.1%となっている。次いで県内、県外ともに「大いに期待する」が高く、県内は 39.2%、県外は 37.0%となっている。

図 12-4 【居住圏域別】 岐阜県の地方創生への進め方



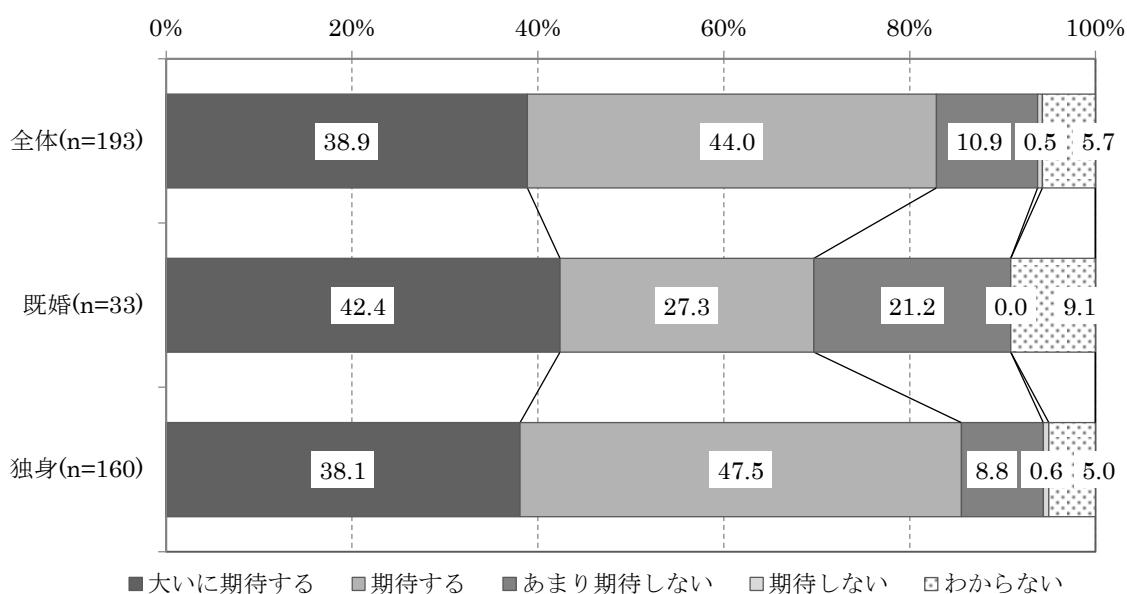
職業別（図 12-5）で見ると、学生、会社員、会社役員においては「期待する」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 47.6%と最も高くなっている。その他の職業は「大いに期待する」が 33.3%と最も高くなっている。

図 12-5 【職業別】 岐阜県の地方創生への進め方



婚姻の状況別（図 12-6）で見ると、既婚は「大いに期待する」が 42.4%、独身は「期待する」が 47.5%と最も高くなっている。

図 12-6 【婚姻の状況別】 岐阜県の地方創生への進め方



### 問13 施策や事業についての情報の入手方法

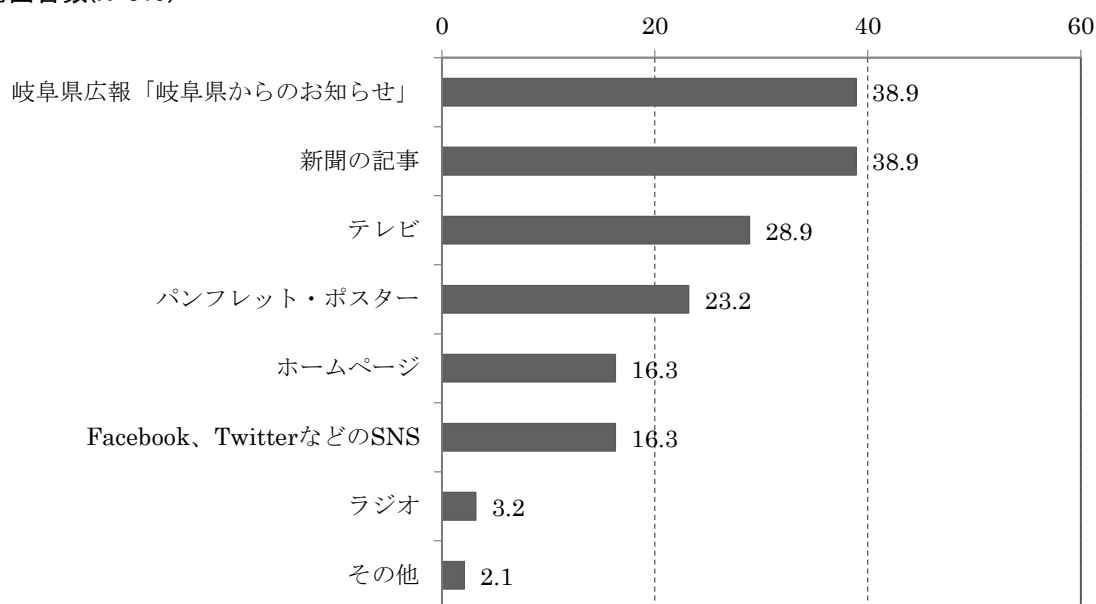
問13 あなたは、岐阜県が行っている施策や事業を、何によって知ることが多いですか。  
(いくつでも)

全体(図13-1)で見ると、「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」」「新聞の記事」が38.9%と最も高く、次いで「テレビ」が28.9%、「パンフレット・ポスター」が23.2%の順となっている。

図13-1 施策や事業についての情報の入手方法

回答者数(n=190)※

総回答数(N=319)



※「無回答」が3人いるため、回答者数は190人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のものについて括弧書きを略して表示している。

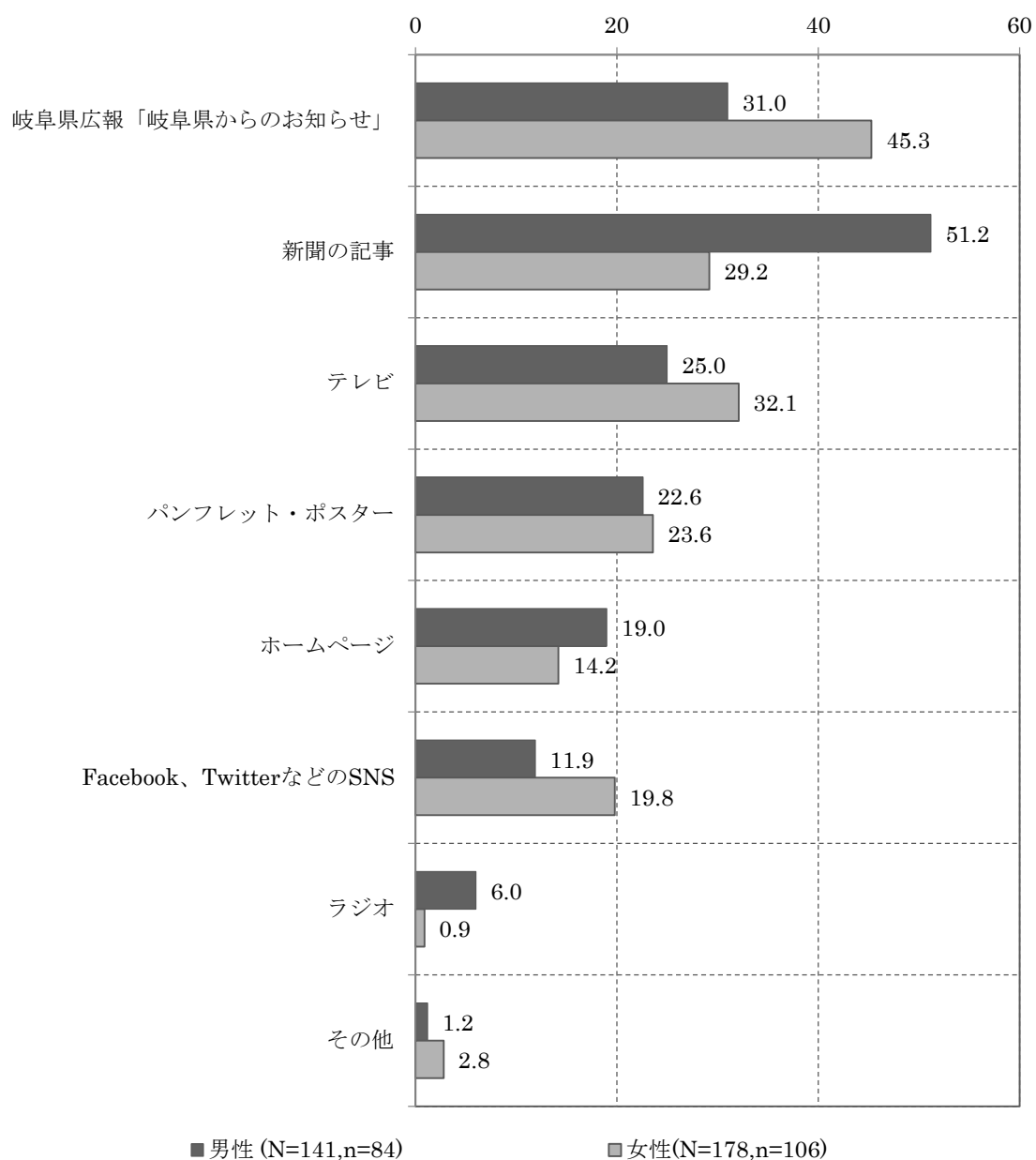
- ・岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」  
(市町村広報紙又は地域情報誌(フリーペーパー)に掲載)
- ・ホームページ(県公式ホームページ以外も含む)
- ・Facebook、TwitterなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

※「その他」の内容

- ・知人から聞く。
- ・親族(県職員)から聞いて。
- ・チラシ。
- ・大学内の職員の方からの紹介。

性別（図 13-2）で見ると、男性は「新聞の記事」が 51.2%と最も高く、男性が女性より 22.0 ポイント高くなっている。女性は「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」」が 45.3%と最も高く、女性が男性より 14.3 ポイント高くなっている。

図 13-2 【性別】 施策や事業についての情報の入手方法

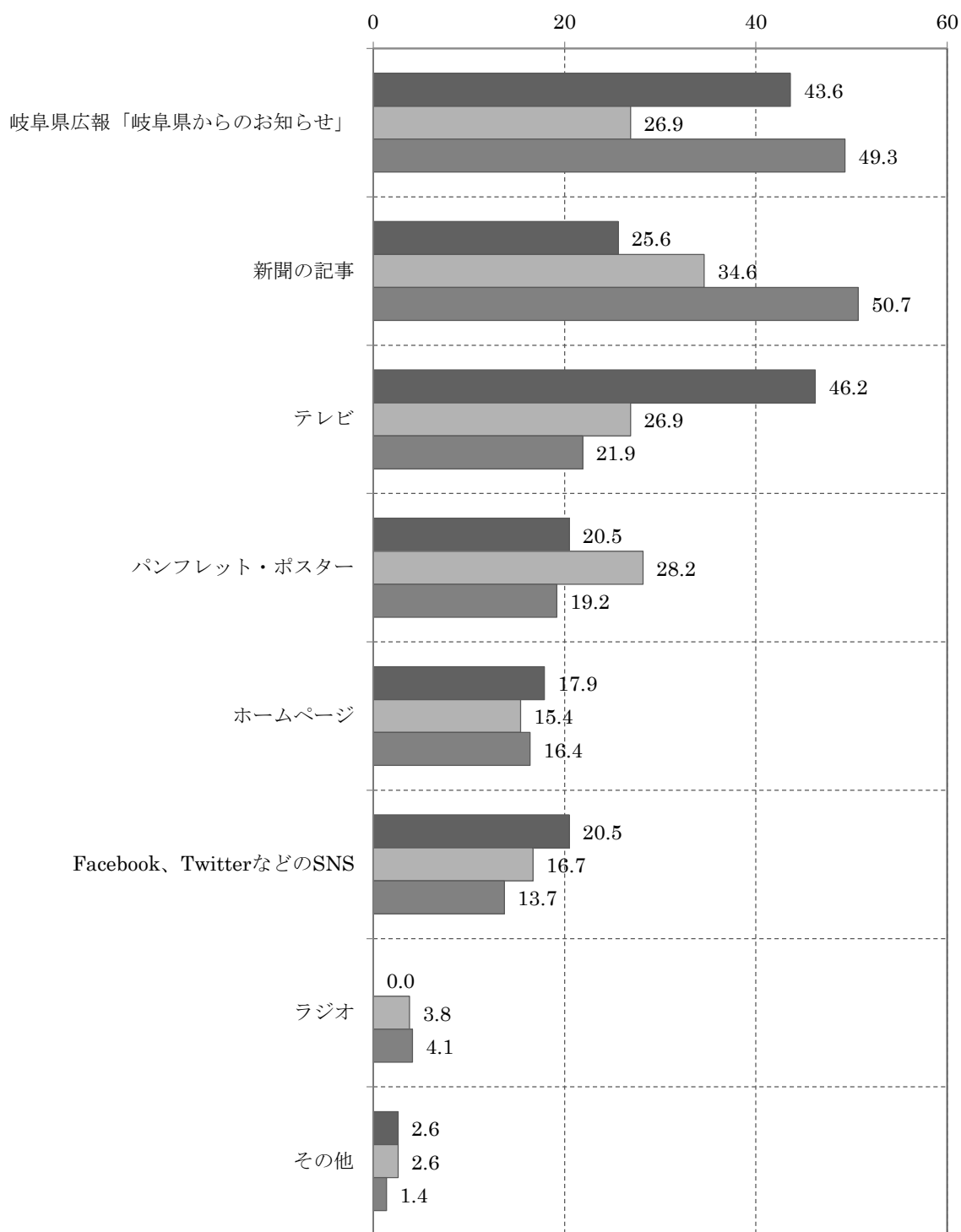


※ N=総回答数 n=回答者数



年代別（図 13-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「テレビ」が 46.2%と最も高くなって  
いる。20 歳以上は「新聞の記事」が最も高く、20 歳から 24 歳は 34.6%、25 歳から 29 歳  
は 50.7%となっている。

図 13-3 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法

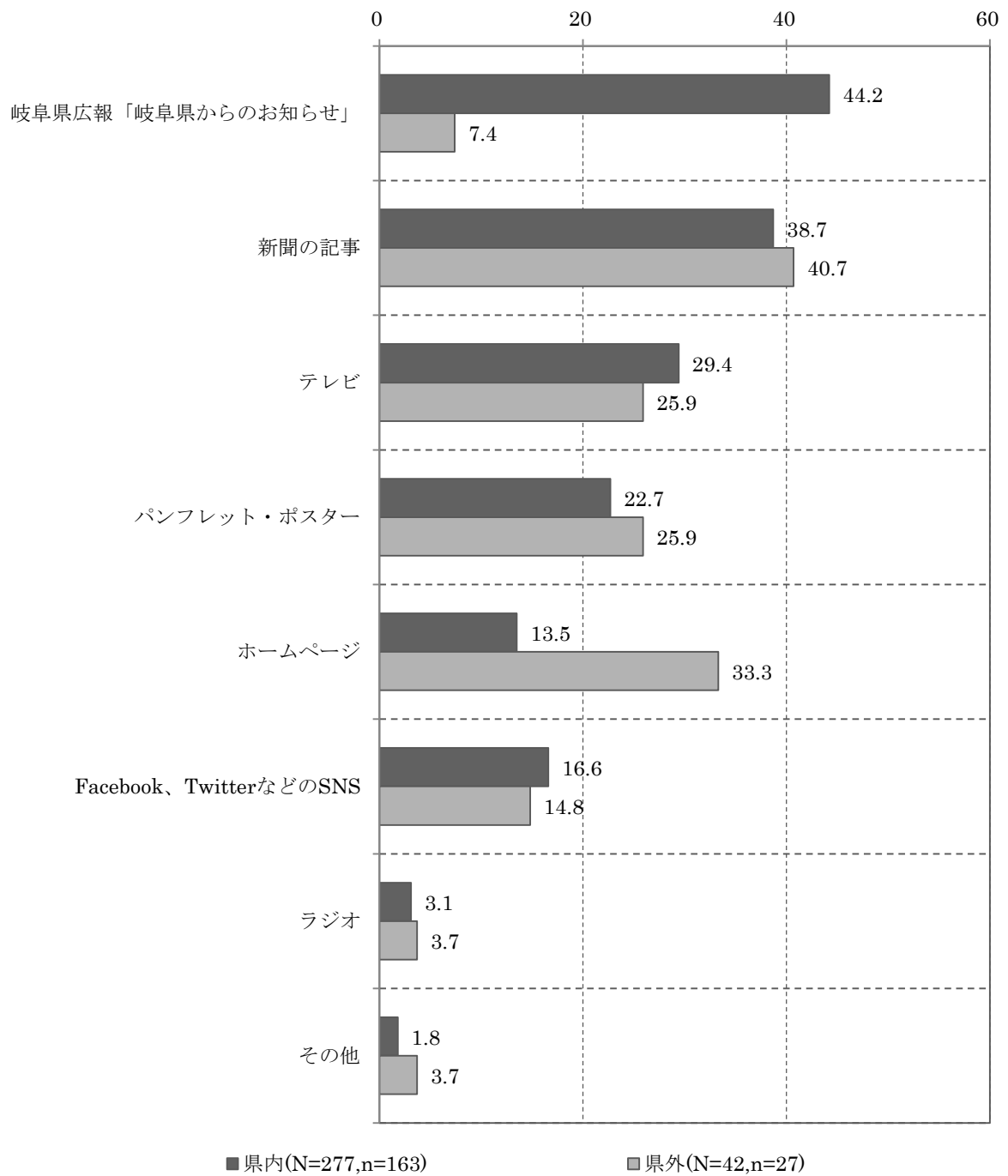


■ 18歳または19歳(N=69,n=39)    ■ 20歳から24歳(N=121,n=78)    ■ 25歳から29歳(N=129,n=73)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 13-4）で見ると、県内は「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」」が 44.2%と最も高くなっている。県外は「新聞の記事」が 40.7%と最も高くなっている。

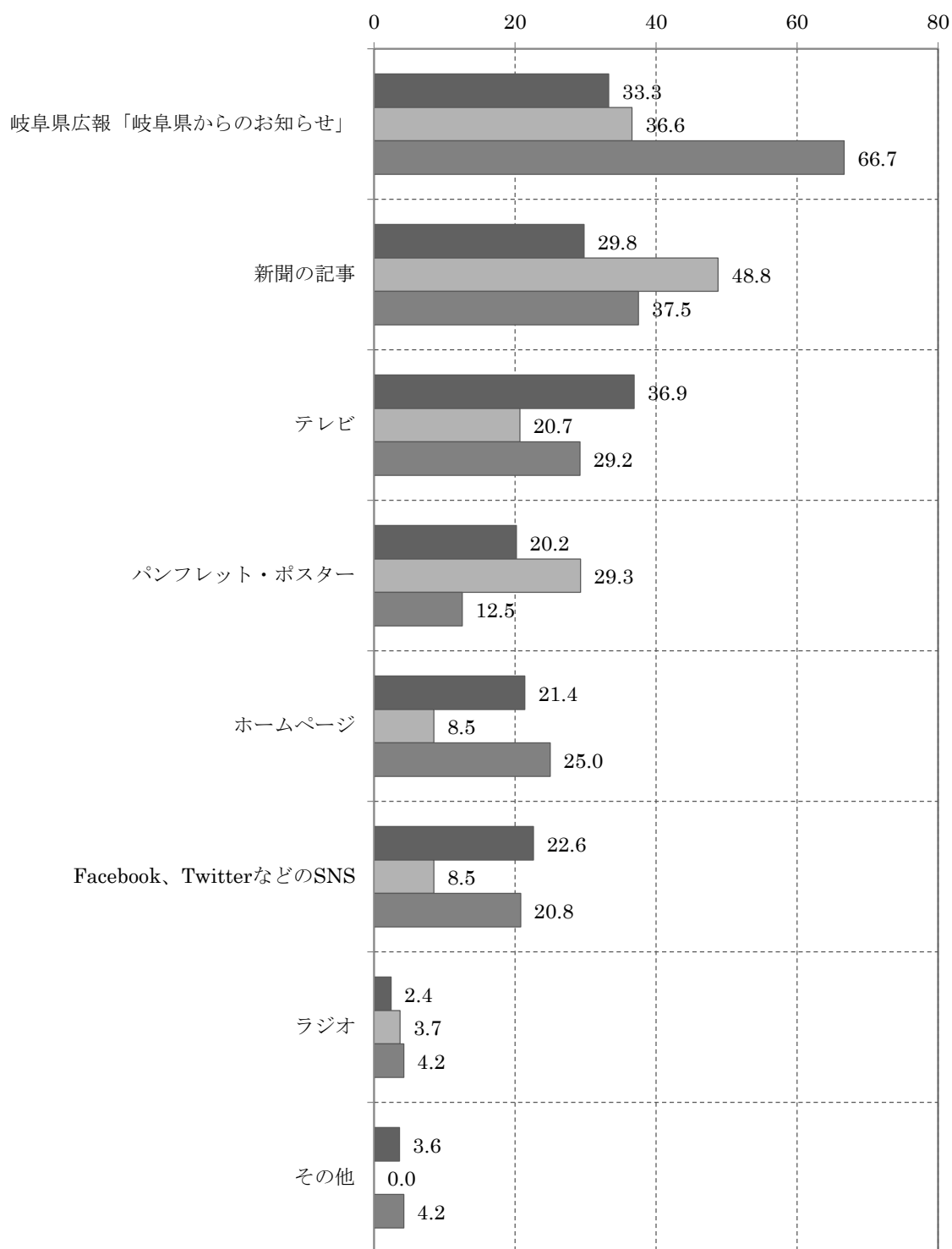
図 13-4 【居住圏域別】 施策や事業についての情報の入手方法



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 13-5）で見ると、学生は「テレビ」が 36.9%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「新聞の記事」が 48.8%と最も高くなっている。その他の職業は「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」」が 66.7%と最も高くなっている。

図 13-5 【職業別】 施策や事業についての情報の入手方法

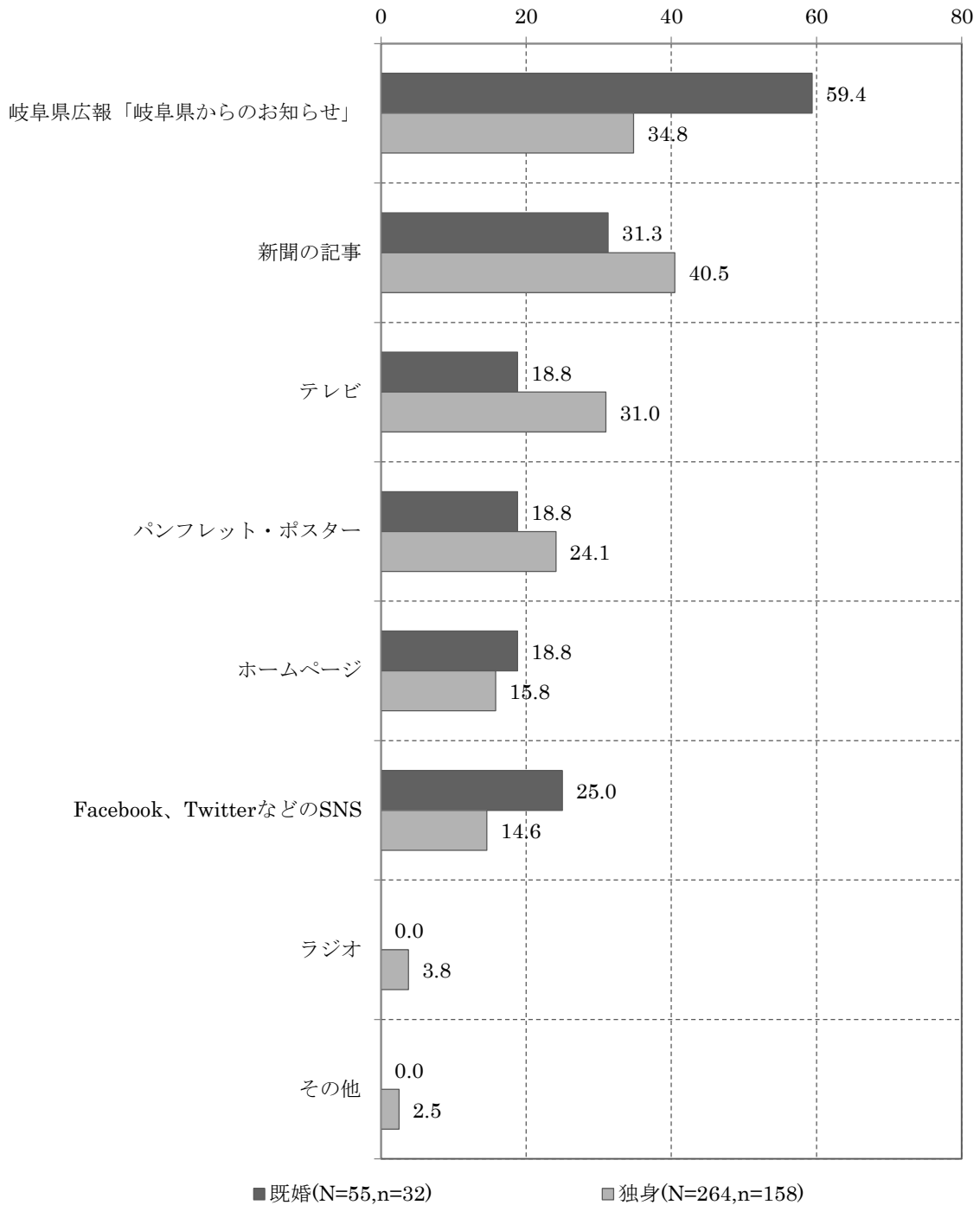


■ 学生(N=143,n=84)    ■ 会社員、会社役員(N=128,n=82)    ■ その他の職業(N=48,n=24)

※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別(図13-6)で見ると、既婚は「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」」が59.4%と最も高くなっている。独身は「新聞の記事」が40.5%と最も高くなっている。

図13-6【婚姻の状況別】施策や事業についての情報の入手方法



※ N=総回答数 n=回答者数

#### 問14 県公式ホームページの利用頻度

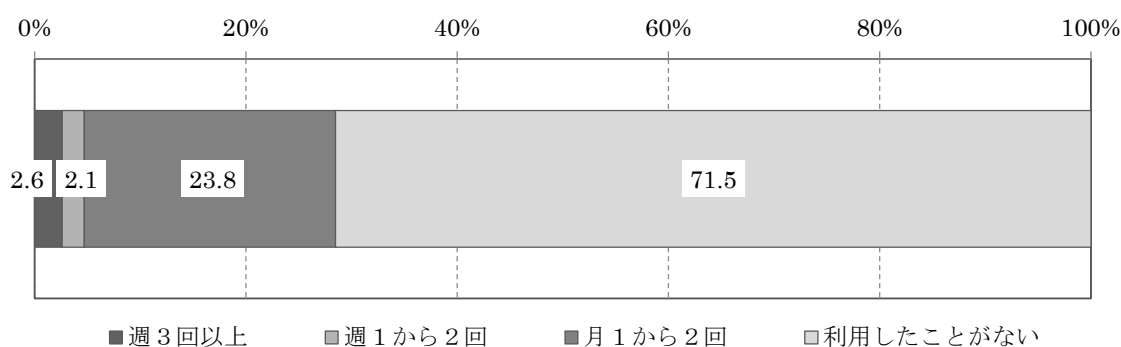
問14 あなたはどのくらいの頻度で県公式ホームページを利用していますか。  
(端末ごとに1つつ)

#### 【県公式ホームページの利用頻度（スマートフォンやタブレット）】

県公式ホームページの利用頻度（スマートフォンやタブレット）について全体（図14-1）で見ると、「利用したことがない」が71.5%と最も高くなっている。次いで「月1から2回」が23.8%、「週3回以上」が2.6%、「週1から2回」が2.1%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計は28.5%となっている。

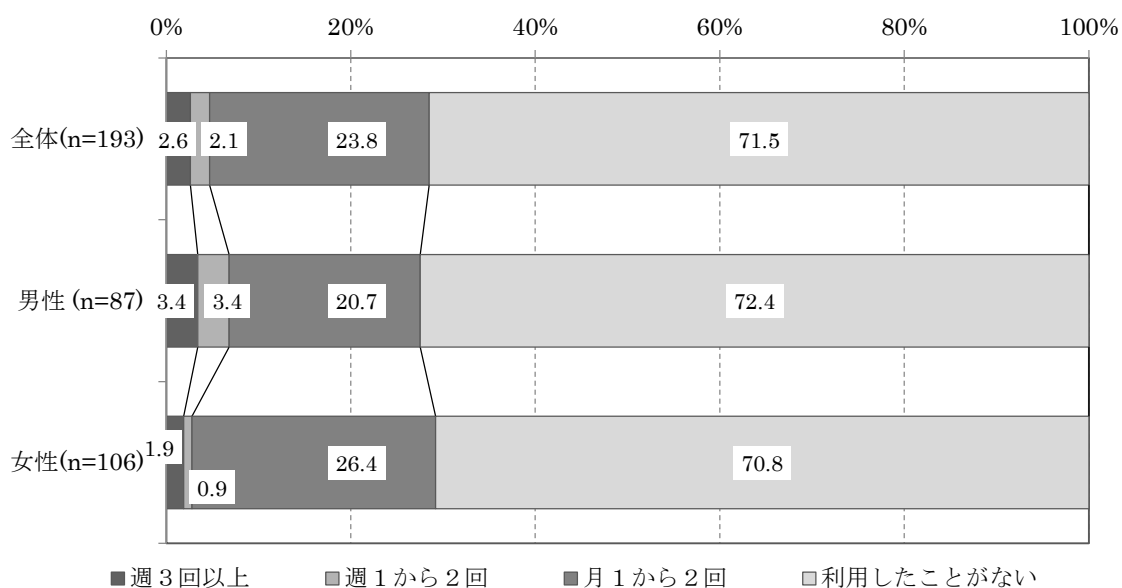
図14-1 県公式ホームページの利用頻度（スマートフォンやタブレット）

回答者数(n=193)



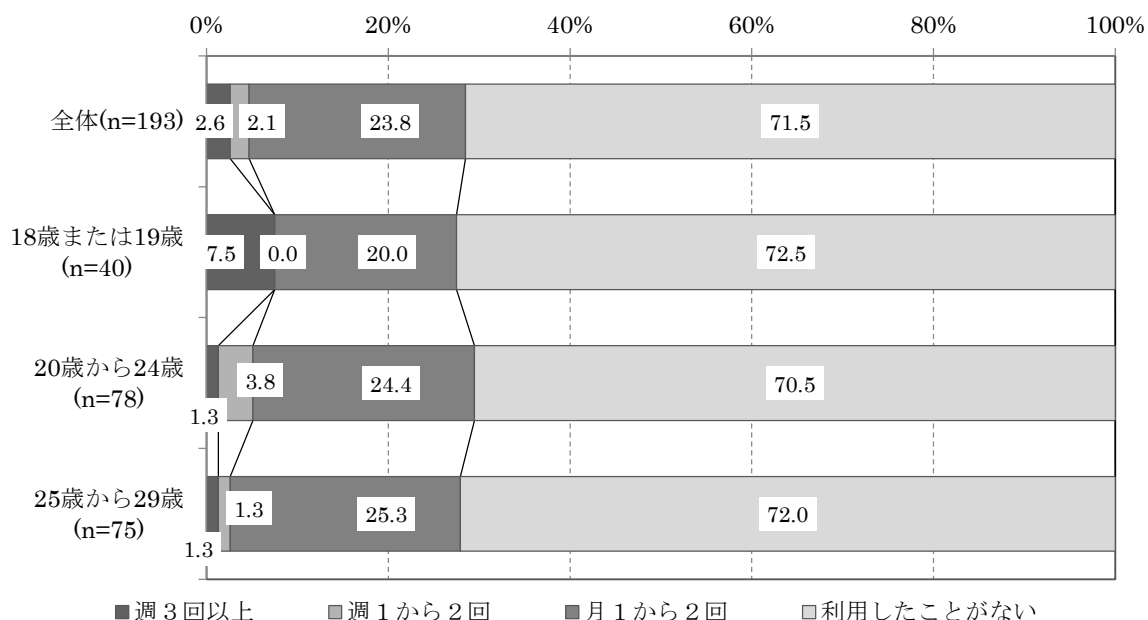
県公式ホームページの利用頻度（スマートフォンやタブレット）について性別（図14-2）で見ると、男女ともに「利用したことがない」が最も高く、男性は72.4%、女性は70.8%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が男性は27.5%、女性は29.2%となっている。

図14-2 【性別】 県公式ホームページの利用頻度（スマートフォンやタブレット）



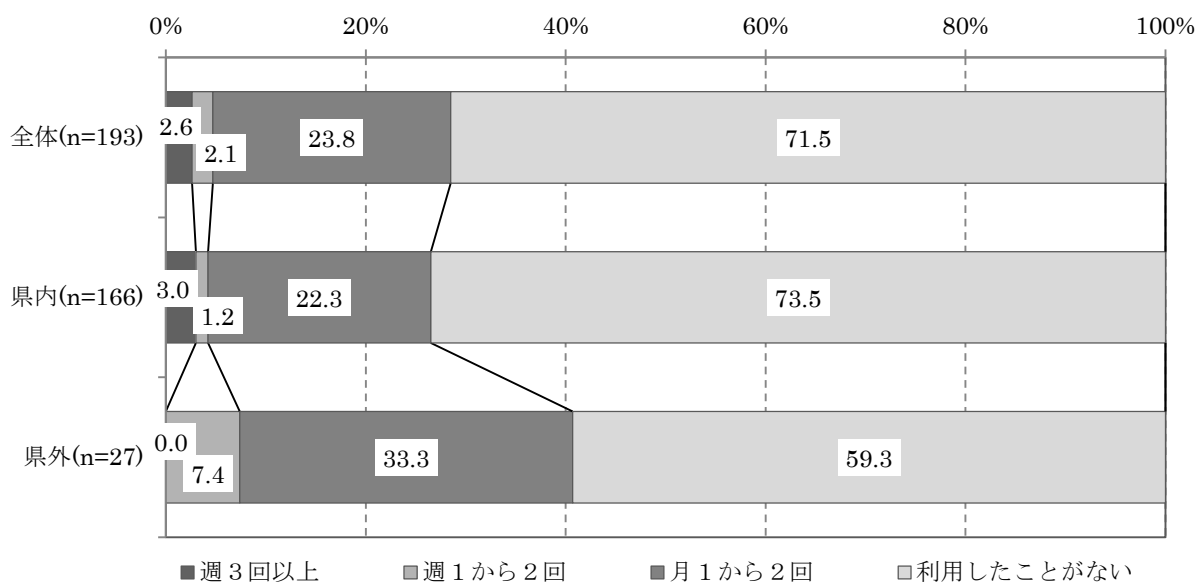
県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)について年代別(図14-3)で見ると、いずれの年代においても「利用したことがない」が最も高く、18歳または19歳は72.5%、20歳から24歳は70.5%、25歳から29歳は72.0%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が18歳または19歳は27.5%、20歳から24歳は29.5%、25歳から29歳は27.9%となっている。

図14-3【年代別】県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)



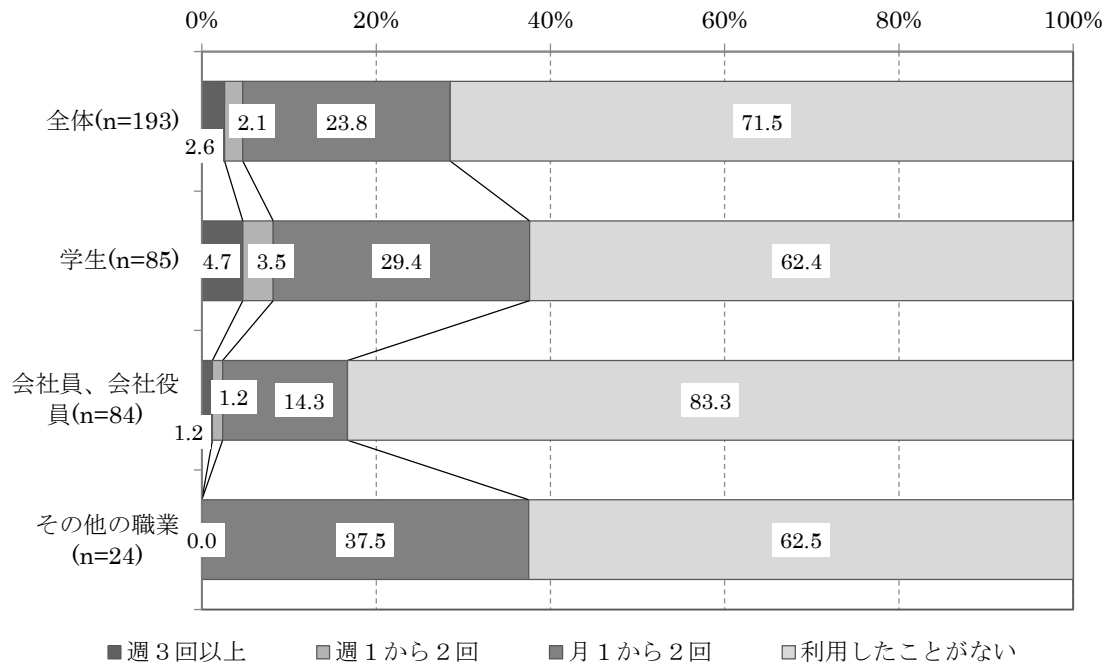
県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)について居住圏域別(図14-4)で見ると、県内、県外ともに「利用したことがない」が最も高く、県内は73.5%、県外は59.3%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が、県内は26.5%、県外は40.7%となっている。

図14-4【居住圏域別】県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)



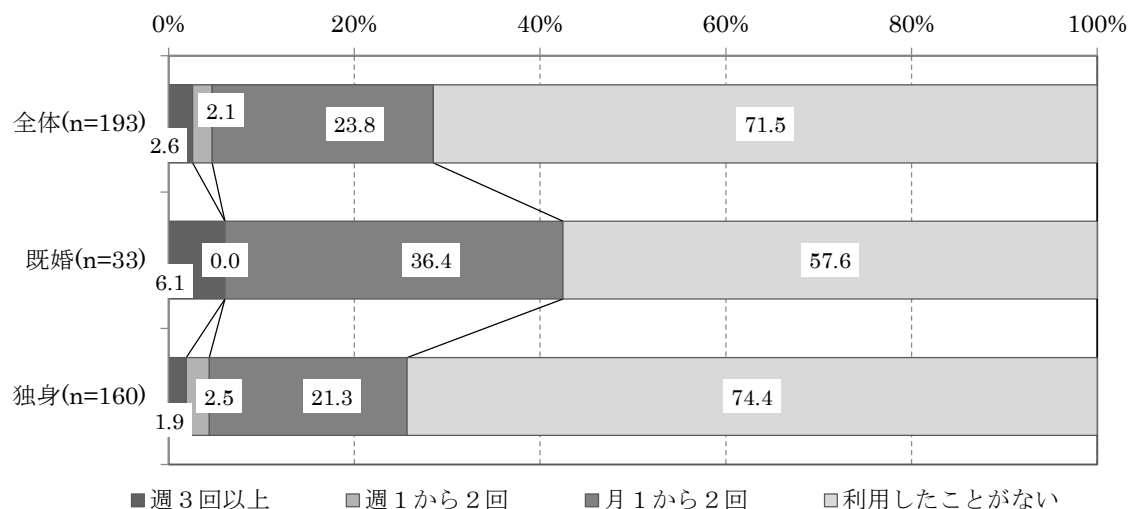
県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)について職業別(図 14-5)で見ると、いずれの職業においても「利用したことがない」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 83.3%と最も高くなっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が学生は37.6%と最も高くなっている。

図 14-5 【職業別】 県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)



県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)について婚姻の状況別(図 14-6)で見ると、既婚、独身ともに「利用したことがない」が最も高く、既婚は 57.6%、独身は 74.4%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が既婚は40%を超えている。

図 14-6 【婚姻の状況別】 県公式ホームページの利用頻度(スマートフォンやタブレット)

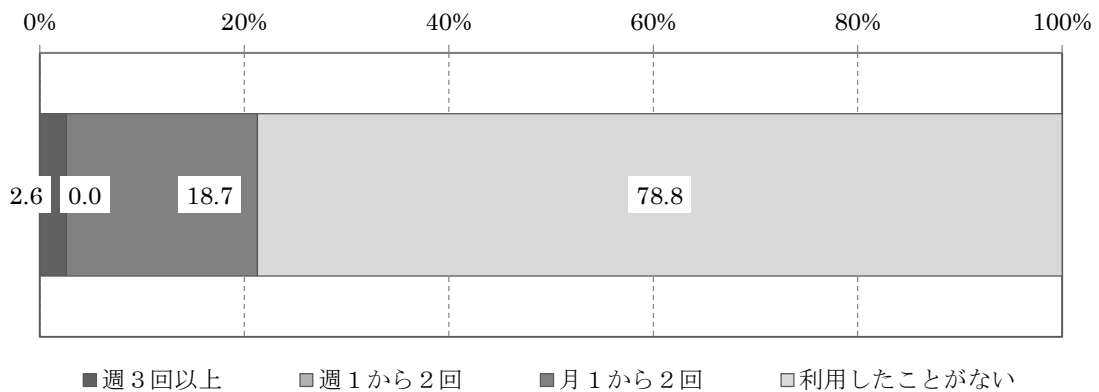


### 【県公式ホームページの利用頻度（パソコン）】

県公式ホームページの利用頻度（パソコン）について全体（図 14-7）でみると、「利用したことがない」が78.8%と最も高く、次いで「月1から2回」が18.7%、「週3回以上」が2.6%、「週1から2回」が0.0%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が21.3%となっており、スマートフォンやタブレットでの県公式ホームページの使用頻度（月1から2回以上）と比べると、7.3ポイント低くなっている。

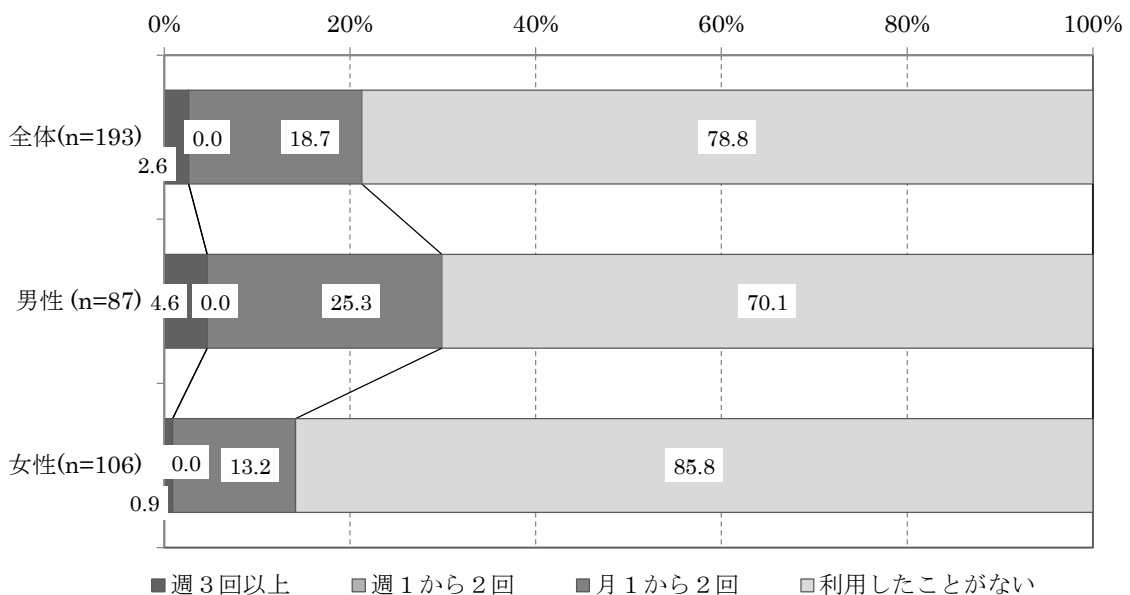
図 14-7 県公式ホームページの利用頻度(パソコン)

回答者数(n=193)



県公式ホームページの利用頻度（パソコン）について性別（図 14-8）でみると、男女ともに「利用したことがない」が最も高く、男性は70.1%、女性は85.8%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が男性は29.9%、女性は14.1%となっている。

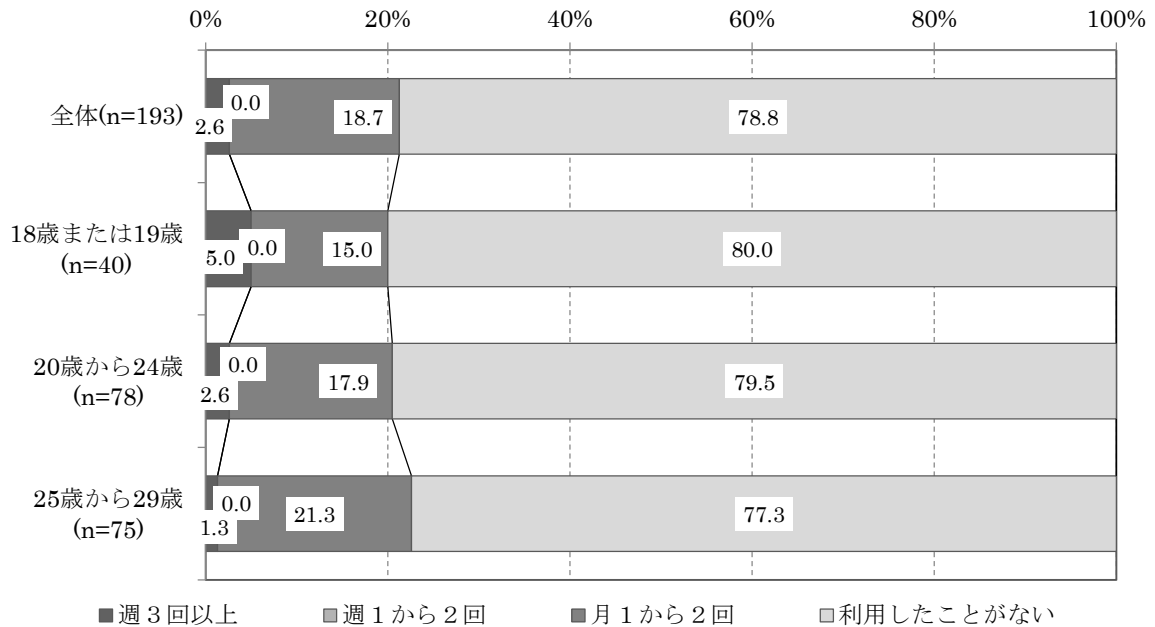
図 14-8 【性別】 県公式ホームページの利用頻度(パソコン)





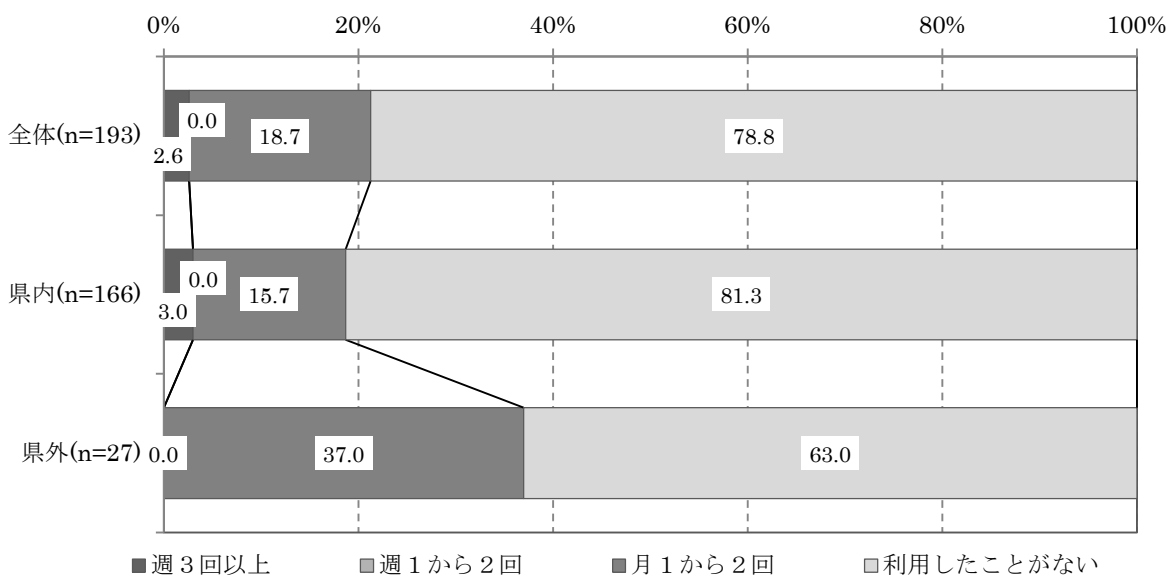
県公式ホームページの利用頻度（パソコン）について年代別（図 14-9）でみると、いずれの年代においても「利用したことがない」が最も高く、18歳または19歳は80.0%、20歳から24歳は79.5%、25歳から29歳は77.3%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が18歳または19歳は20.0%、20歳から24歳は20.5%、25歳から29歳は22.6%となっている。

図 14-9 【年代別】 県公式ホームページの利用頻度(パソコン)



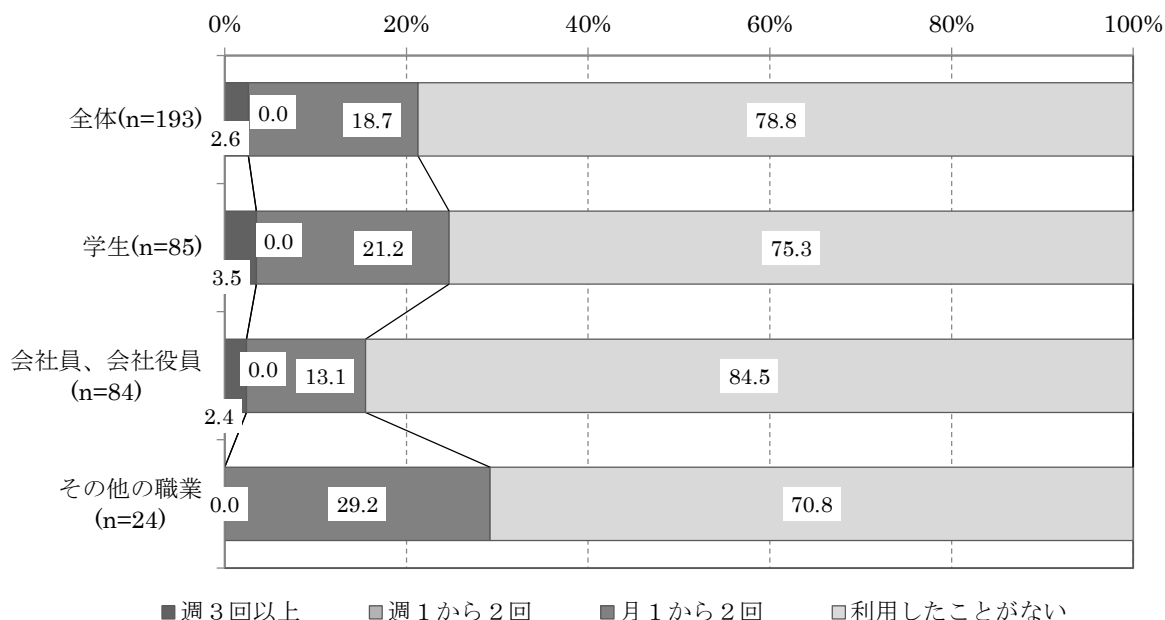
県公式ホームページの利用頻度（パソコン）について居住圏域別（図 14-10）でみると、県内、県外ともに「利用したことがない」が最も高く、県内は81.3%、県外は63.0%となっている。「週3回以上」「週1から2回」「月1から2回」の合計が県内では18.7%、県外は37.0%と最も高くなっている。

図 14-10 【居住圏域別】 県公式ホームページの利用頻度(パソコン)



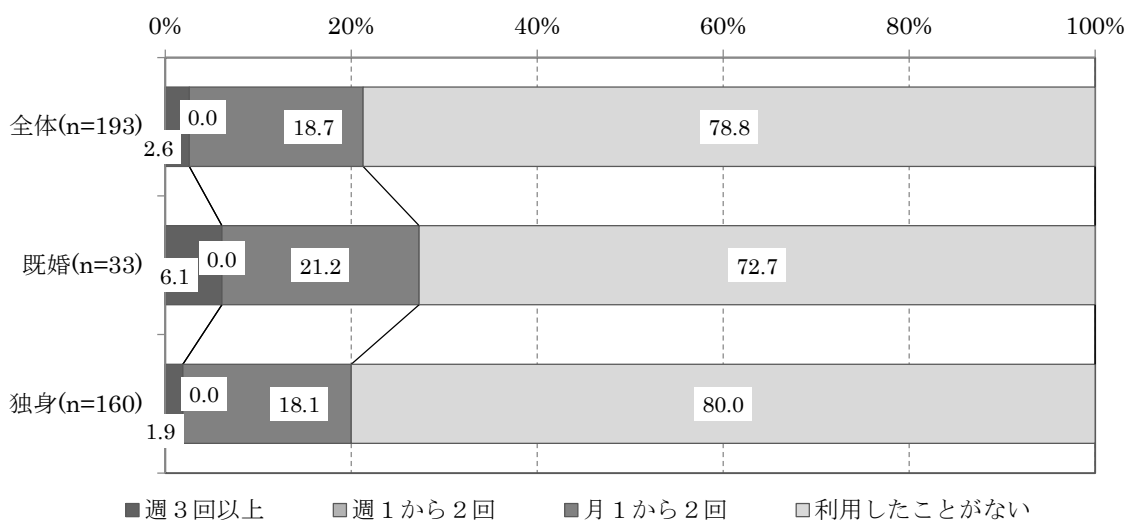
県公式ホームページの利用頻度（パソコン）について職業別（図 14-11）で見ると、いずれの職業においても「利用したことがない」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 84.5%と最も高くなっている。「週 3 回以上」「週 1 から 2 回」「月 1 から 2 回」の合計がその他の職業は 29.2%と最も高くなっている。

図 14-11 【職業別】 県公式ホームページの利用頻度(パソコン)



県公式ホームページの利用頻度（パソコン）について婚姻の状況別（図 14-12）で見ると、既婚、独身ともに「利用したことがない」が最も高く、既婚は 72.7%、独身は 80.0%となっている。「週 3 回以上」「週 1 から 2 回」「月 1 から 2 回」の合計が既婚は 27.3%と最も高くなっている。

図 14-12 【婚姻の状況別】 県公式ホームページの利用頻度(パソコン)



## 問14-2 県公式ホームページの利用目的

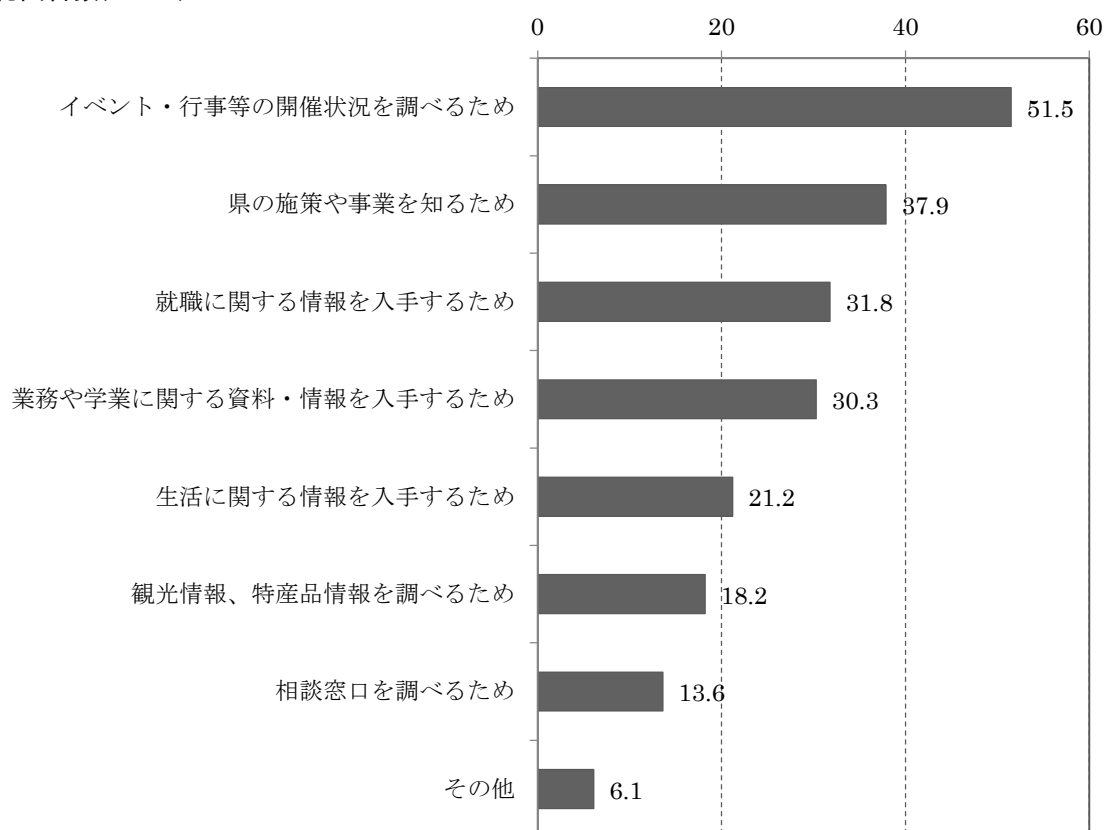
問14-2 県公式ホームページを利用したことのある方にお尋ねします。  
あなたはどのような目的で県公式ホームページを利用しましたか。  
(いくつでも)

全体（図14-2-1）で見ると、「イベント・行事等の開催状況を調べるため」が51.5%と最も高く、次いで「県の施策や事業を知るため」が37.9%、「就職に関する情報を入手するため」が31.8%の順となっている。

図14-2-1 県公式ホームページの利用目的

回答者数(n=66)※

総回答数(N=139)



※問14で、いずれの端末（スマートフォンやタブレットまたはパソコン）でも「利用したことがない」と答えた方以外

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

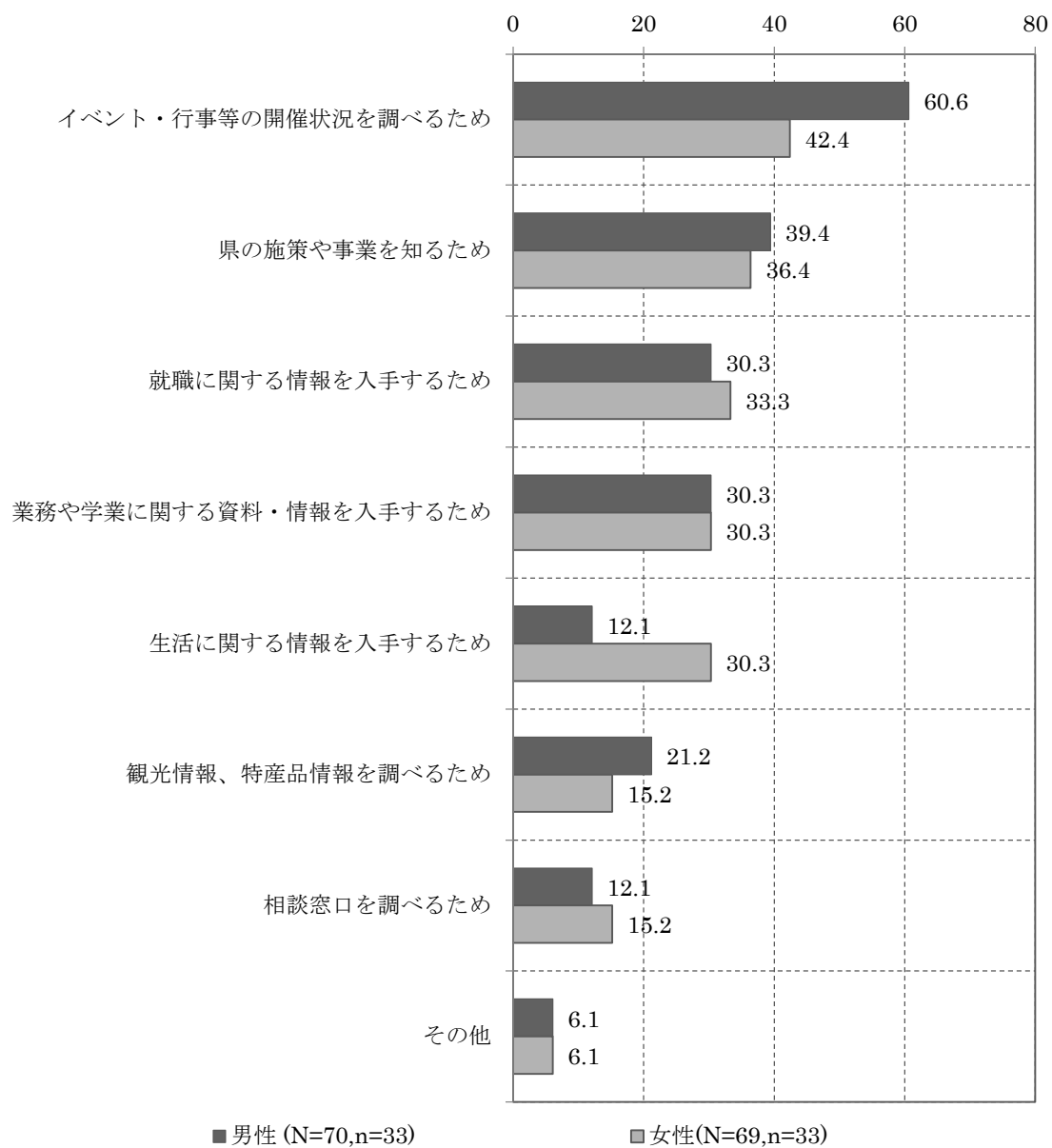
- ・生活に関する情報（県有施設、子育て支援など）を入手するため
- ……生活に関する情報を入手するため

※「その他」の内容

- ・ミナモの出演依頼。
- ・岐阜県議会議員の情報を調べるため。
- ・大学講義での調査活動のため。

性別（図 14-2-2）で見ると、男女ともに「イベント・行事等の開催状況を調べるため」が最も高く、男性は60.6%、女性は42.4%となっている。

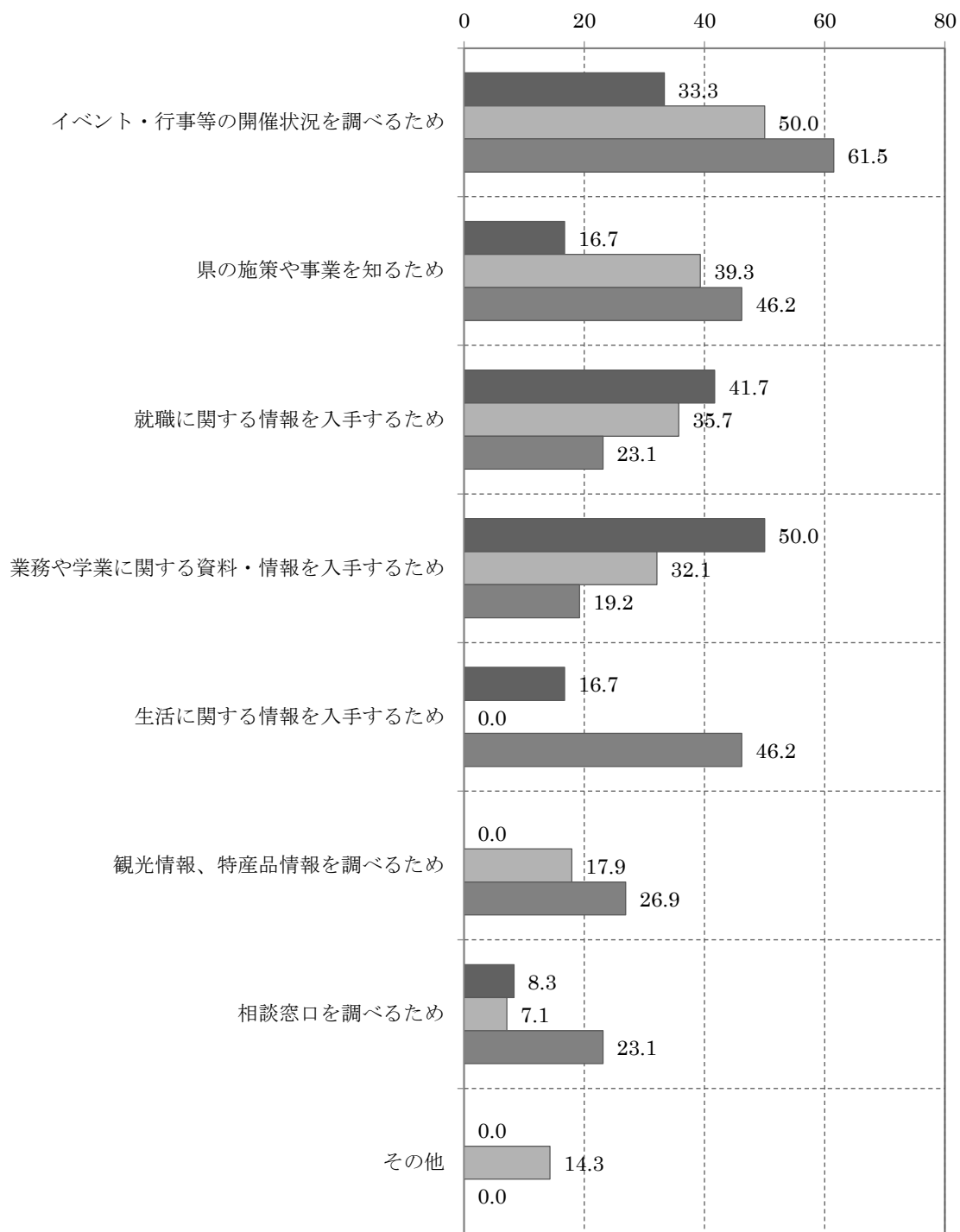
図 14-2-2 【性別】 県公式ホームページの利用目的



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 14-2-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「業務や学業に関する資料・情報を入手するため」が 50.0%と最も高くなっている。20 歳以上は「イベント・行事等の開催状況を調べるため」が最も高く、20 歳から 24 歳は 50.0%、25 歳から 29 歳は 61.5%となっている。

図 14-2-3 【年代別】 県公式ホームページの利用目的

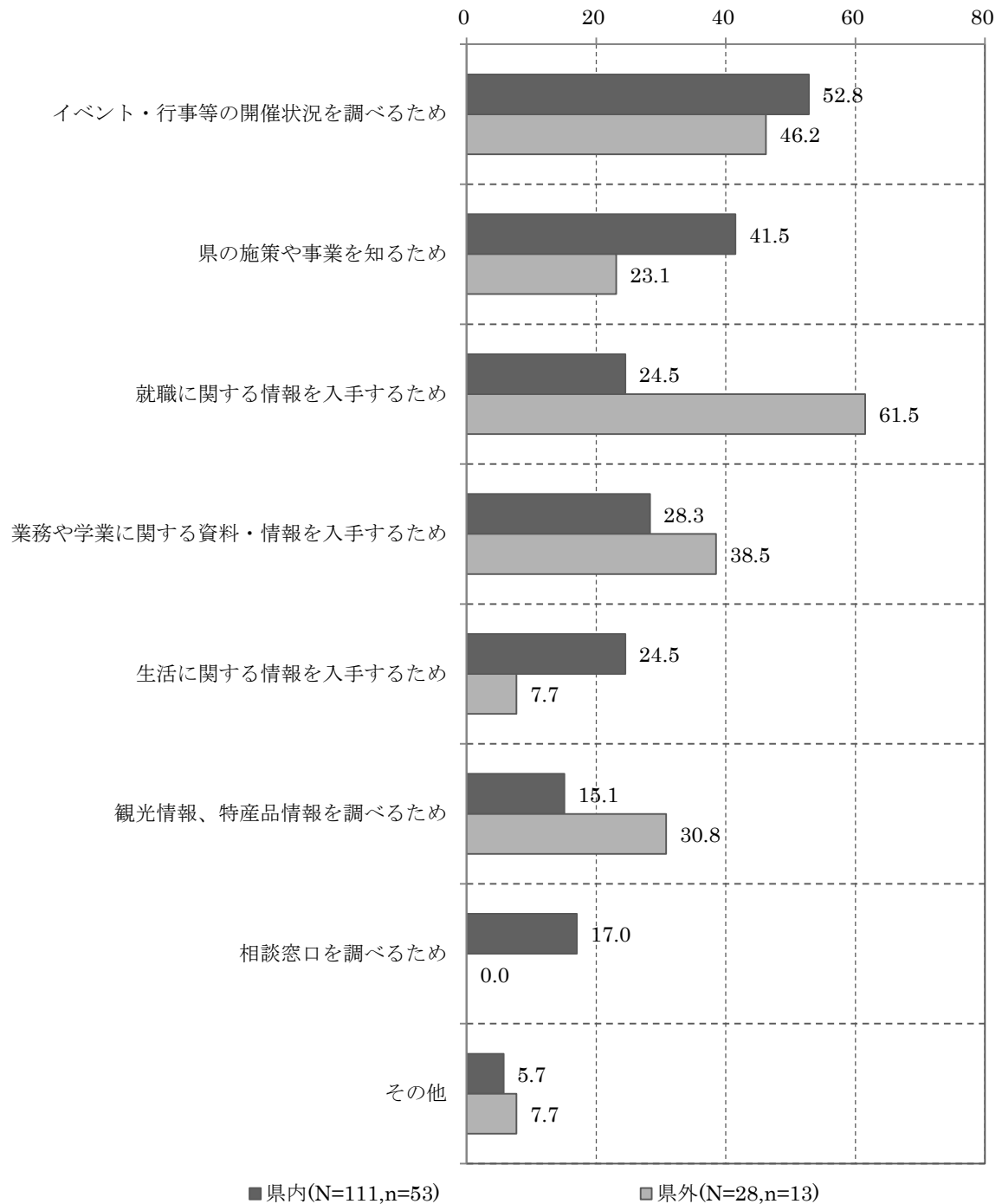


■ 18歳または19歳(N=20,n=12) ■ 20歳から24歳(N=55,n=28) ■ 25歳から29歳(N=64,n=26)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 14-2-4）で見ると、県内は「イベント・行事等の開催状況を調べるため」が 52.8%と最も高くなっている。県外は「就職に関する情報を入手するため」が 61.5%と最も高くなっている。

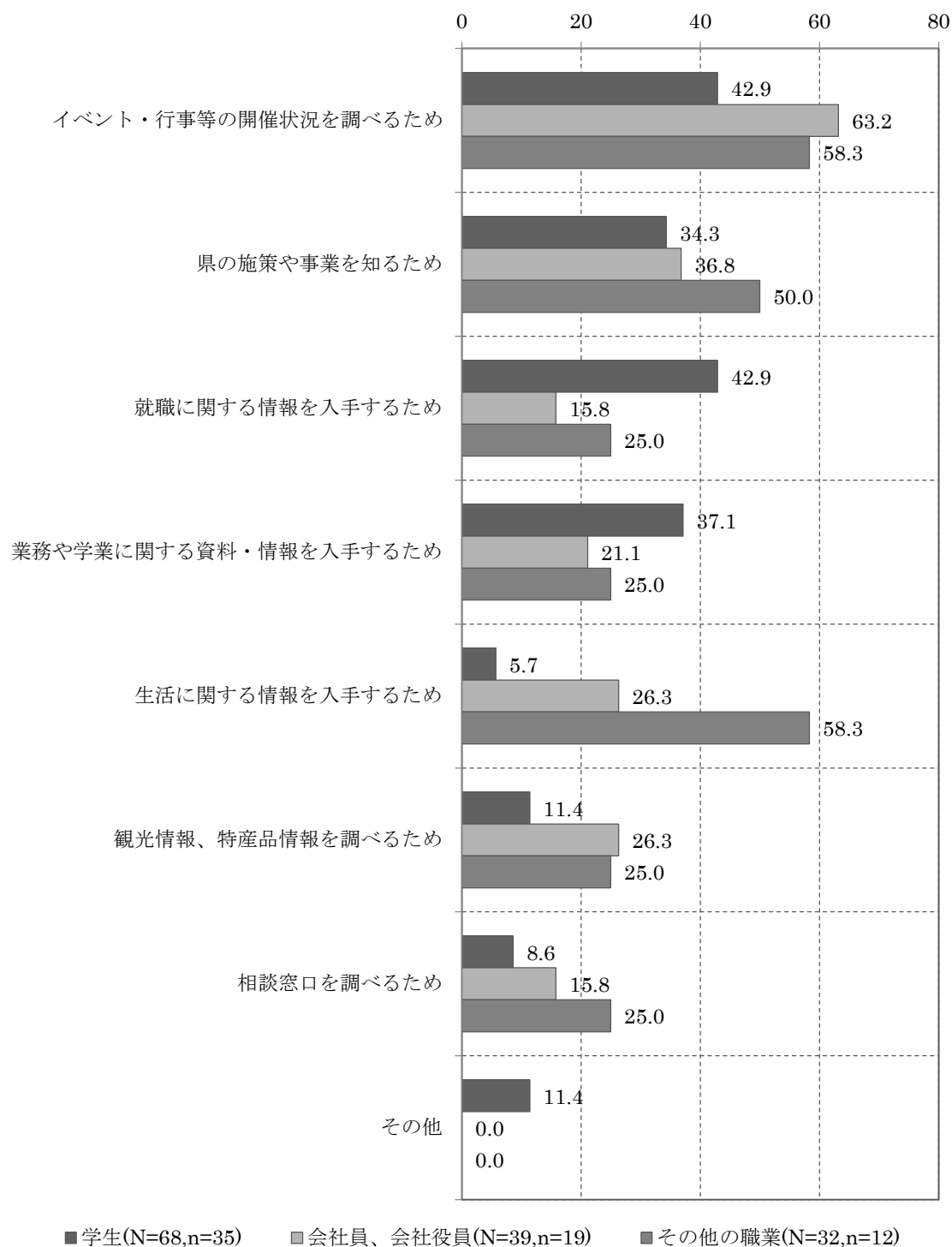
図 14-2-4 【居住圏域別】 県公式ホームページの利用目的



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 14-2-5）でみると、いずれの職業においても「イベント・行事等の開催状況を調べるため」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 63.2%と最も高くなっている。学生は「就職に関する情報を入手するため」も 42.9%と最も高くなっている。その他の職業は「生活に関する情報を入手するため」も 58.3%と最も高くなっている。

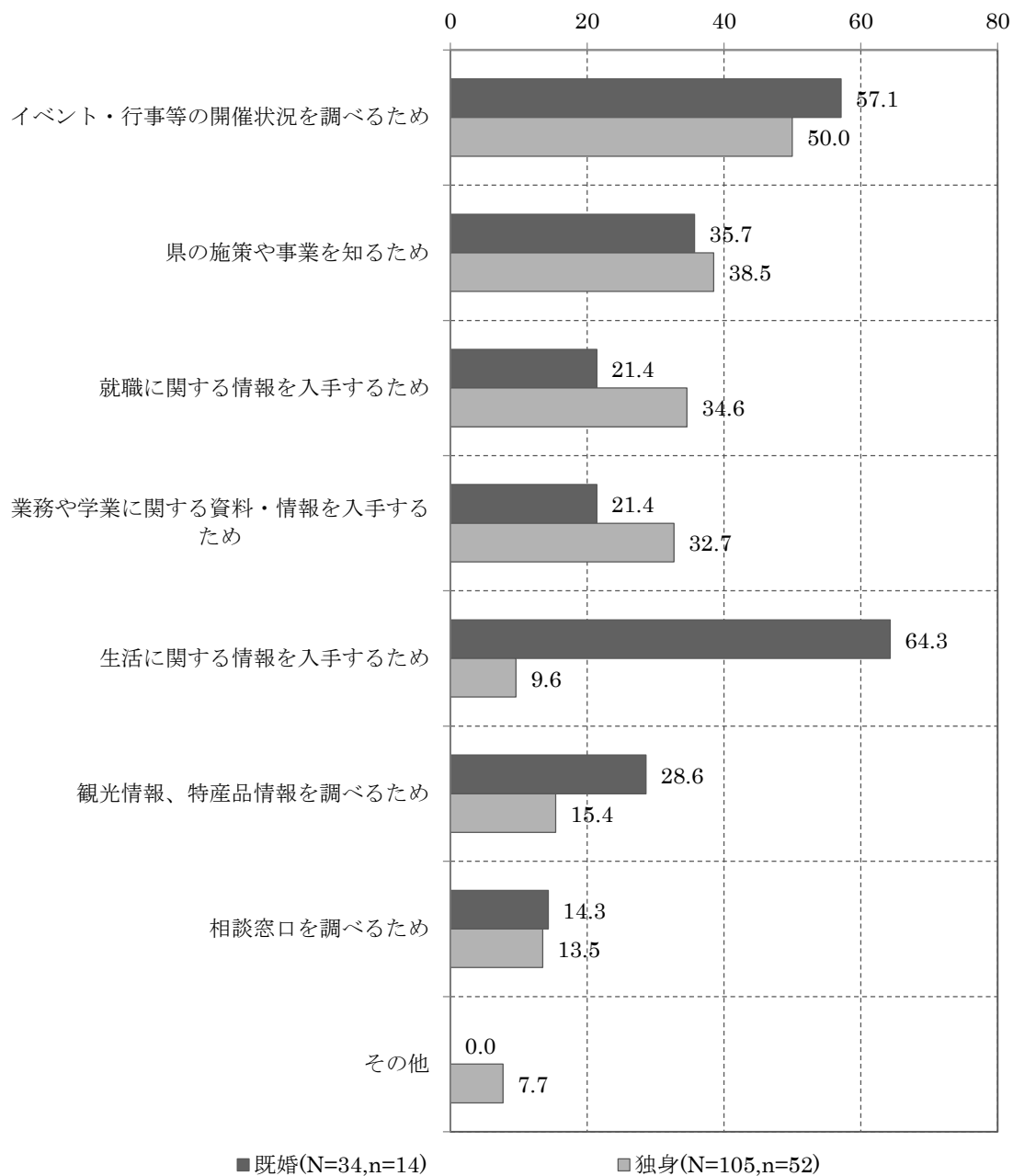
図 14-2-5 【職業別】 県公式ホームページの利用目的



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別(図 14-2-6)で見ると、既婚は「生活に関する情報を入手するため」が 64.3%と最も高くなっている。独身は「イベント・行事等の開催状況を調べるため」が 50.0%と最も高くなっている。

図 14-2-6 【婚姻の状況別】 県公式ホームページの利用目的



※ N=総回答数 n=回答者数



### 問14-3 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと

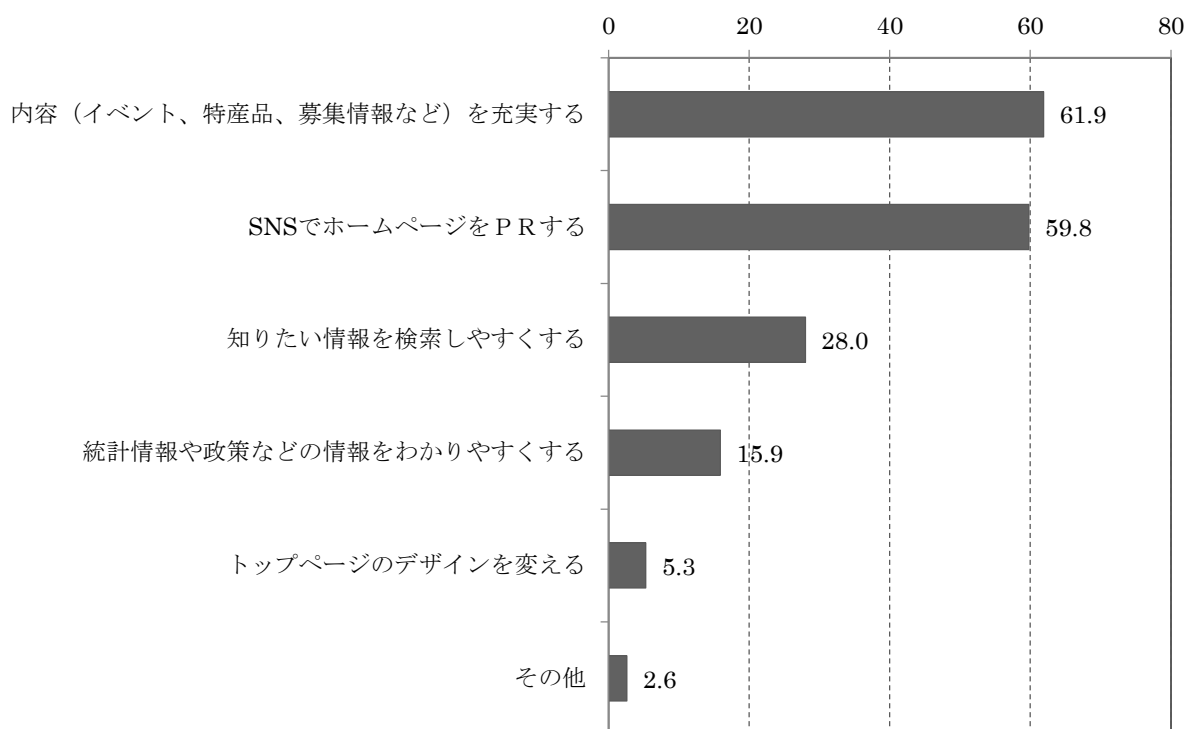
問14-3 県公式ホームページの利用頻度を上げるには、何が必要だと思いますか。  
(2つまで)

全体（図14-3-1）でみると、「内容（イベント、特産品、募集情報など）を充実する」が61.9%と最も高く、次いで「SNSでホームページをPRする」が59.8%、「知りたい情報を検索しやすくする」が28.0%となっている。

図14-3-1 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと

回答者数(n=189)※

総回答数(N=328)



※「無回答」が4人いるため、回答者数は189人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

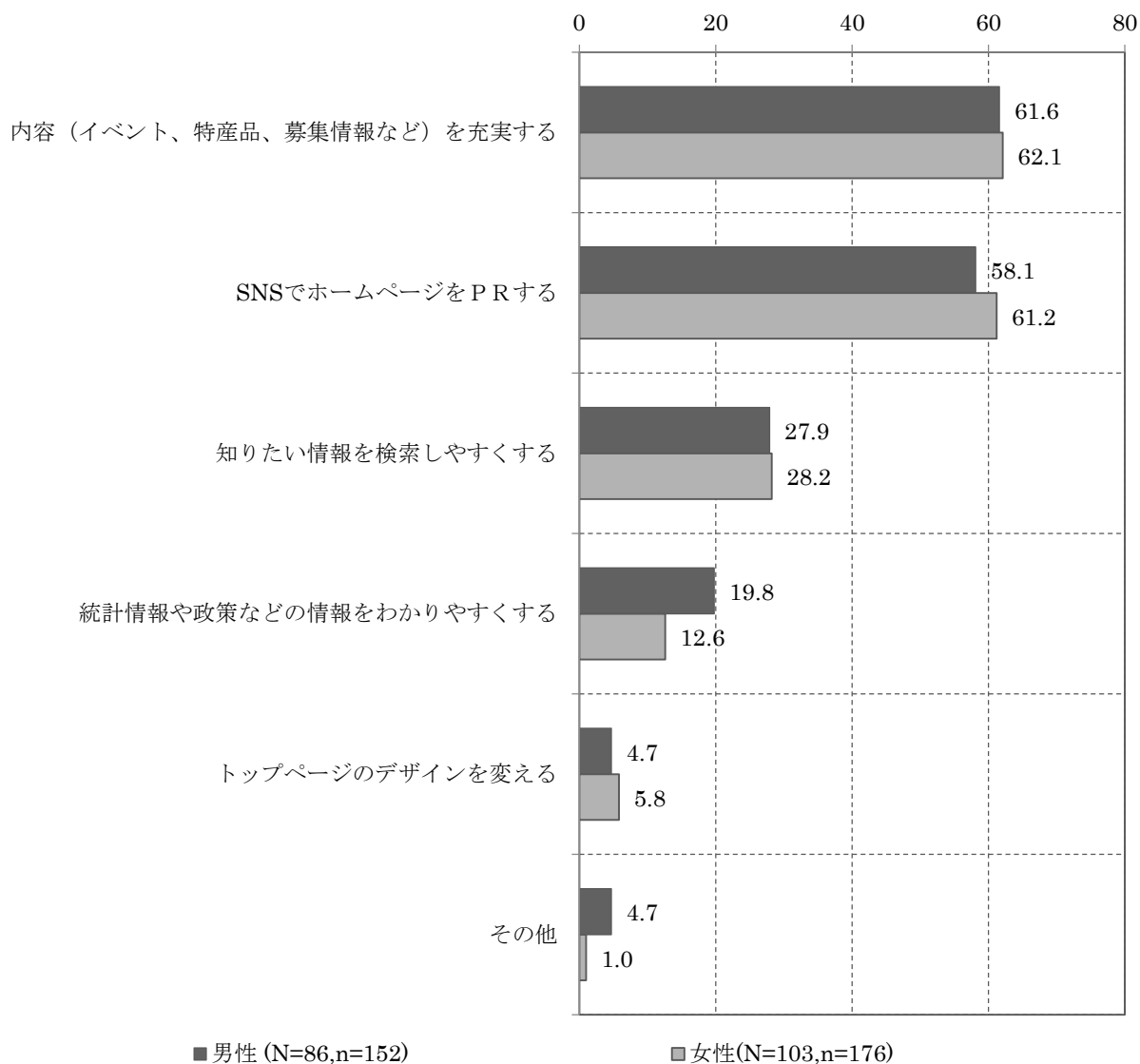
- ・Facebook、TwitterなどのSNSでホームページをPRする
- ……SNSでホームページをPRする

※「その他」の内容

- ・天気予報や交通情報など県民のライフラインに関わることをトップ画面に載せる。
- ・各市区町村の広報チラシを、県のホームページでも閲覧できるようにする。
- ・会員登録できるようにしてポイントを付与する。ポイントは様々なものに利用できるようにする。
- ・デザインを全面改良してリンクをわかりやすくかつみやすく、扱いやすくする。
- ・イベント内容を若者向けにしてほしい。
- ・現状で十分機能していると思われる。

性別（図 14-3-2）で見ると、男女ともに「内容（イベント、特産品、募集情報など）を充実する」が高く、男性は61.6%、女性は62.1%となっている。

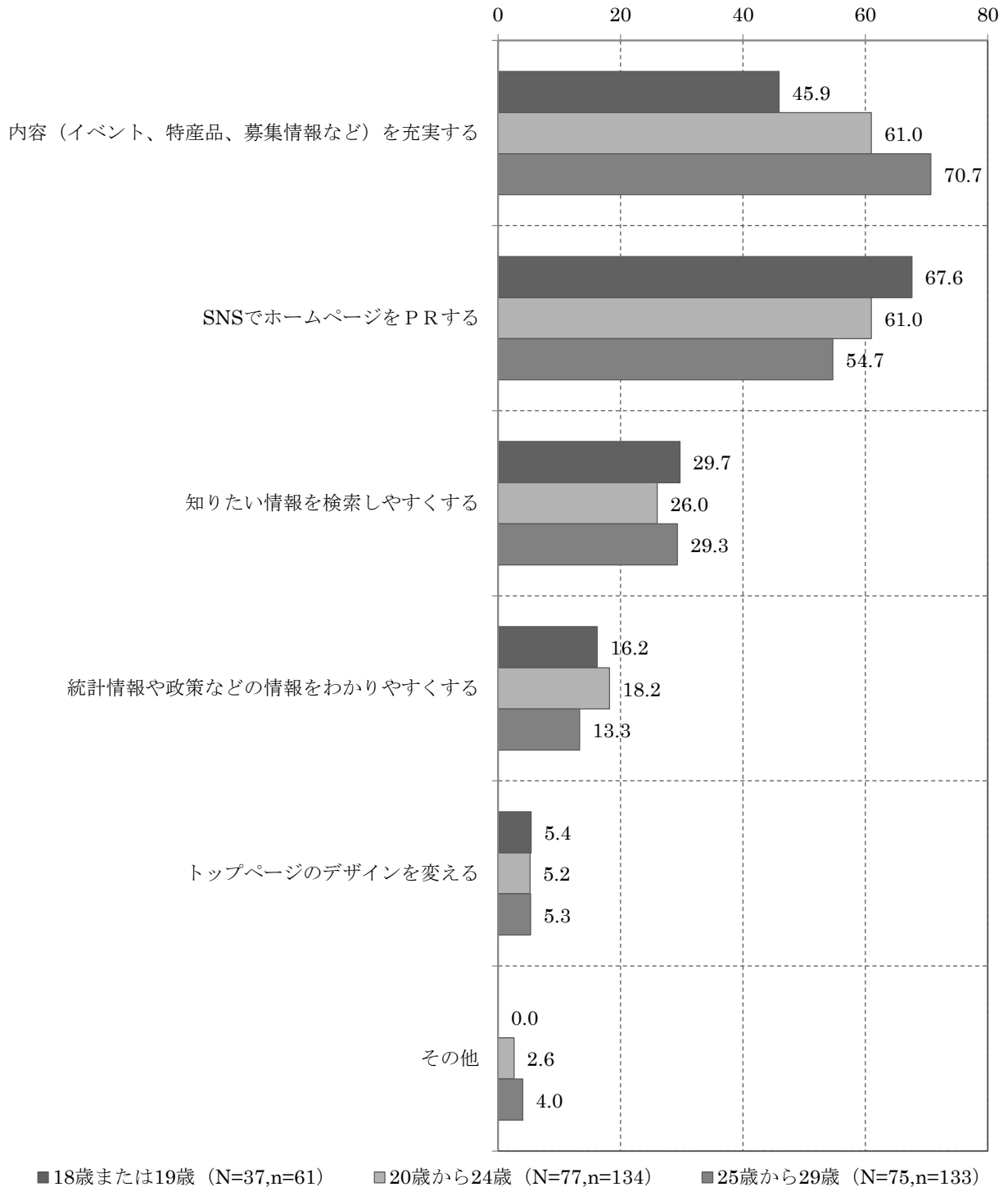
図 14-3-2 【性別】 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 14-3-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「SNS でホームページを P R する」が 67.6%と最も高くなっている。20 歳以上は「内容（イベント、特産品、募集情報など）を充実する」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 70.7%となっている。20 歳から 24 歳は「SNS でホームページを P R する」も 61.0%と最も高くなっている。

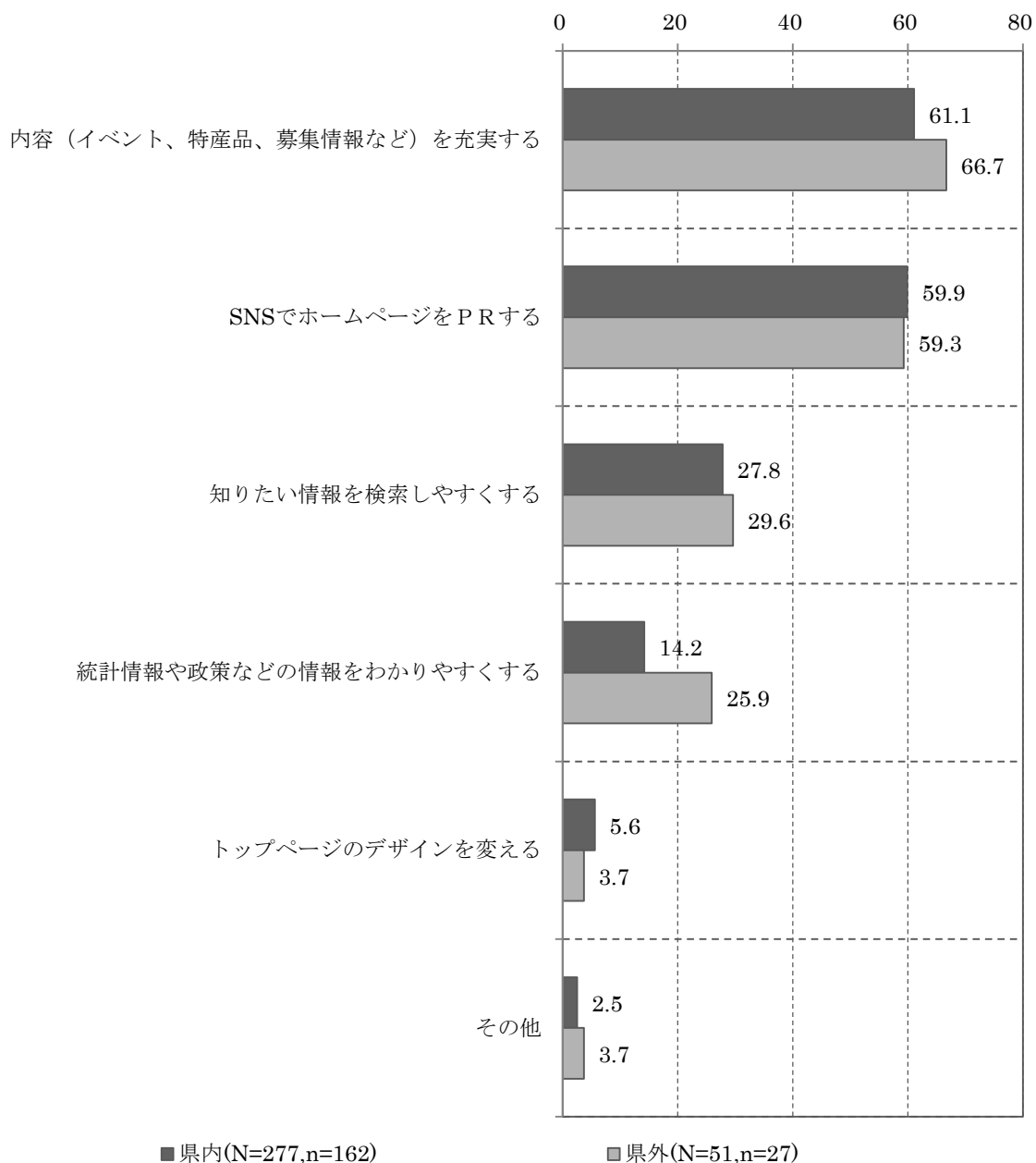
図 14-3-3 【年代別】 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 14-3-4）で見ると、県内、県外ともに「内容（イベント、特産品、募集情報など）を充実する」が最も高く、県内は 61.1%、県外は 66.7%となっている。次いで県内、県外ともに「SNS でホームページを P R する」が高く、県内は 59.9%、県外は 59.3%となっている。

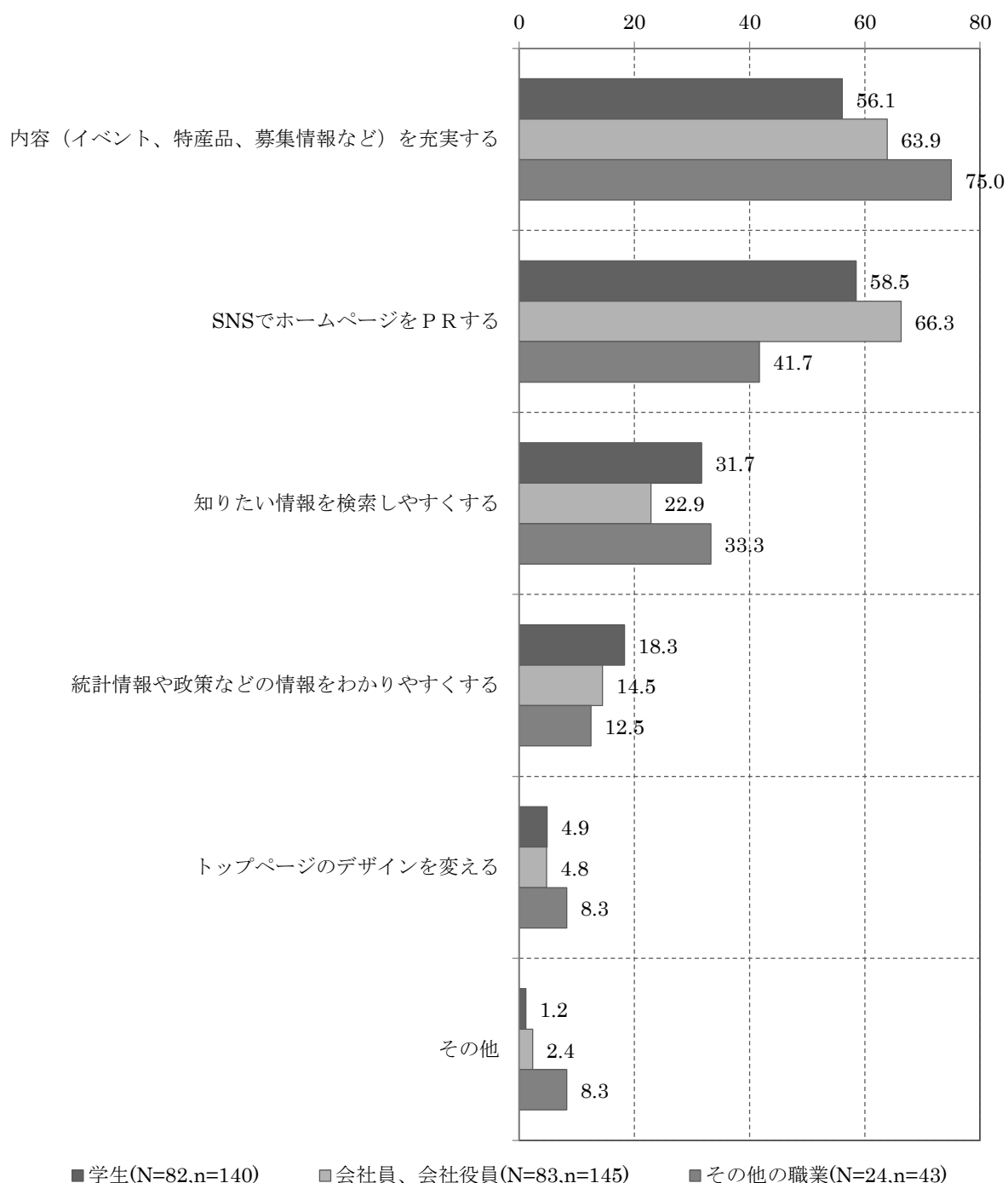
図 14-3-4 【居住圏域別】 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 14-3-5）で見ると、学生、会社員、会社役員は「SNS でホームページをPRする」が最も高く、学生は 58.5%、会社員、会社役員は 66.3%となっている。その他の職業は「内容（イベント、特産品、募集情報など）を充実する」が 75.0%と最も高くなっている。

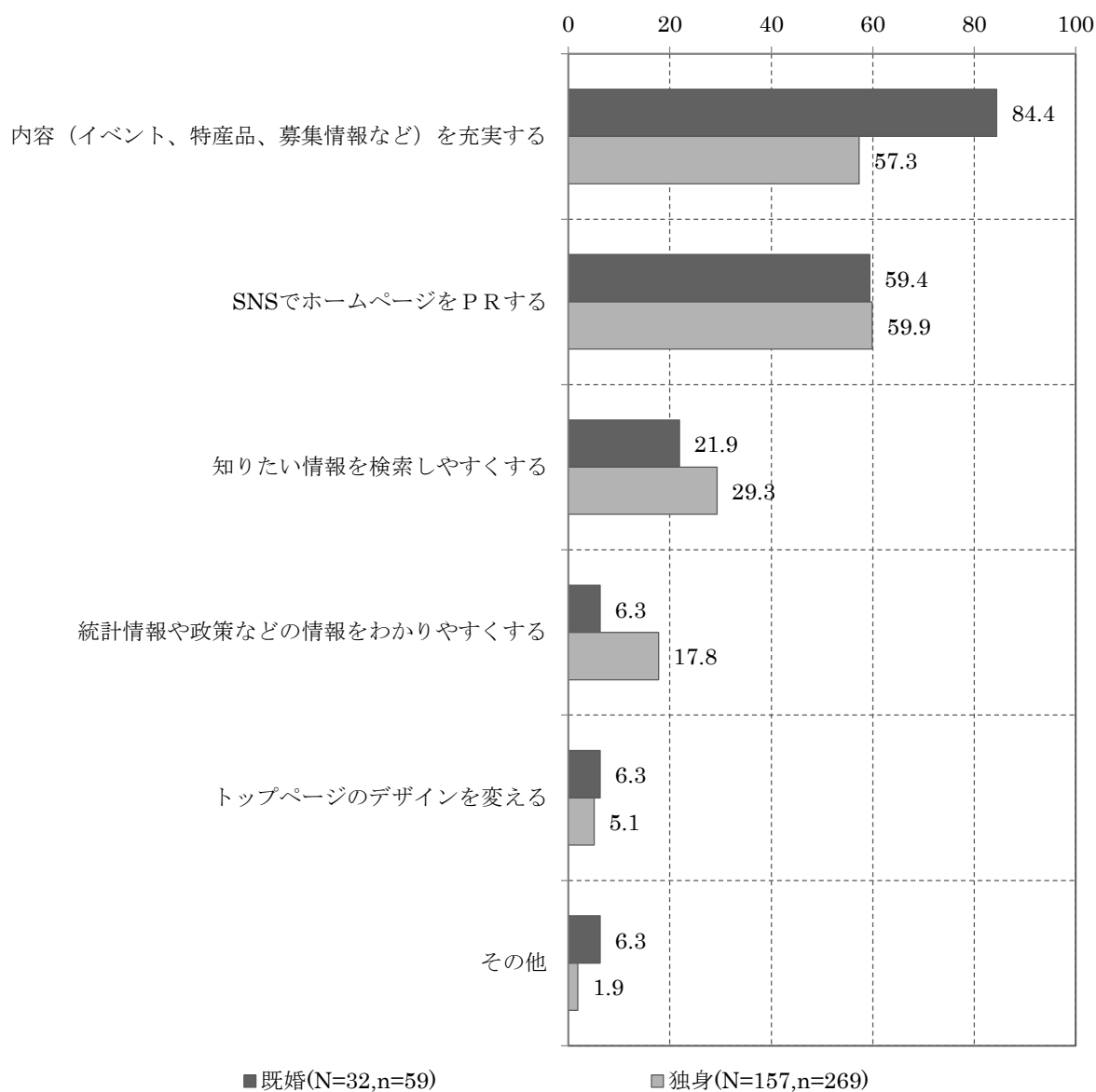
図 14-3-5 【職業別】 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 14-3-6）で見ると、既婚は「内容（イベント、特産品、募集情報など）を充実する」が 84.4%と最も高くなっている。独身は「SNS でホームページをPRする」が 59.9%と最も高くなっている。

図 14-3-6 【婚姻の状況別】 県公式ホームページの利用頻度向上に必要なこと



※ N=総回答数 n=回答者数

## 問15 岐阜県行政に対するご意見・ご要望

問15 岐阜県行政に対して取り組んで欲しいこと、改善して欲しいことなど、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

### 《主な意見》

#### 県政情報の発信

- ・住んでいる市については何となく分かるが、県となると訪れたことのない市町村も多く、子育てに関することや学業、就職もバラバラなのではっきり市町村としてやっていること、県としてやっていることをわかるようにして欲しい。

#### 広報

- ・どこにあるか分からない岐阜県を、アニメや、世界遺産登録の力も借りて、PRして欲しい。

#### 清流の国ぎふ大学生等奨学金

- ・岐阜県Uターン奨学金に関して、岐阜県に本社を持つ企業という業種に限られすぎる。支社であっても岐阜県内であればよい、という方向にしたほうが岐阜県に戻る人は増えるのでは。

#### 公共交通

- ・交通機関の充実が必要。県内はもちろんだが、岐阜県はいろいろな県と面しているため他県からのアクセスをよくすると岐阜県に立ち寄る機会が増え、岐阜県の良さをより多くの人に知ってもらえるのでは。

#### 子育て

- ・これからも働きながら住みやすい環境、子育てしやすい環境づくりに取り組み、若者世代が岐阜県を盛り上げていけるようにして欲しい。

#### 企業誘致

- ・大学や大企業を誘致し、進学、就職まで含め隣県である愛知県と共に一生涯のライフサイクルを完結できると県民が自信を持てる施策を期待する。

#### 観光振興

- ・関ヶ原古戦場がイベントを沢山実施しており、まだ自分は参加したことはないが、活気を感じる。他の市町村でも色々やって欲しい、県にはその後押しを期待する。

#### 都市計画

- ・土着の人間を定着させることともに、名古屋圏の周縁のベッドタウンとしての岐阜県という性格も考慮にいれ、計画的な都市計画を改めて行っていく必要がある。
- ・岐阜県全体として、栄えている地方が多く、東濃、西濃との繋がりが悪いことが人の流動性を妨げている。また、大きなアミューズメントがほとんどないに近いことも問題。もちろん伝統的な景観保護や、治安を守るためには、今のように落ちつきを持たなければいけないが、愛知の隣という立地をもっと有効的な使い方を模索すべき。

#### 教育

- ・岐阜の観光名所、名物について小学校や中学校で学ぶ機会をもっと増やして欲しい。